



新神田校下拠点避難所：新神田小学校

# 金沢市新神田校下地区防災計画

---

令和2年度版

「災害時要支援者の安否確認の充実」

新神田校下防災対策委員会

---

配布対象：町会長、各種団体長、コミュニティ防災士、防災委員ほか関係機関

(02.07.31 初稿)

(02.10.26 最終)

## ～ はじめに ～

我が国は「地震列島」「火山列島」「災害列島」とも呼ばれ、地震、津波、風水害、豪雪など極めて多様な自然災害が発生しやすい国土です。

石川県内においても、直下型地震の被害を受けた1799年（寛政11年）の金沢地震（M6）。最近の2007年（平成19年）の能登半島地震（M6.9）。2008年（平成20年）の浅野川水害、2018年（平成30年）1、2月の大雪は56豪雪（1981年：昭和56年）に次ぐ災害をもたらしたことは記憶に新しいところです。

金沢市には北東から南西に横切る長さ26kmの森本・富樫断層帯があり、M7.2程度の地震が30年以内に、ほぼ2～8%の確率で起きると予想され、日本の活断層のうちもっとも発生確率が高いグループに入っています。近い将来確実に起きると言うことです。

また、地球温暖化により最近の豪雨災害は顕著なものがあります。当地区は、犀川、伏見川に囲まれ、内水の氾濫も予想されるので1000年に一度の水害ハザードマップを理解して「まちなか訓練」に十分活用しなければなりません。



金沢市では災害対策基本法に基づき、地区防災計画制度導入について2018年（平成30年）から各校下に「それぞれの地域のレベルに応じた防災計画」の立案・導入を勧めています。

これを受けて、新神田校下では、これまで1996年（平成8年）から続けてきた23回を数える市民防災訓練の蓄積を地域の实情にマッチした防災計画に練り直し、策定するものです。

現在、新型コロナウイルス感染症が世界的な脅威として蔓延し、終息が見えません。本年・第24回目の市民防災訓練は中止としましたが、災害は待つてはくれません。

そこで今年度は、金沢市が作成した「避難行動要支援者名簿・活用ハンドブック」をより実践的に運用することとし、民生委員、まちぐるみ福祉活動推進員、防災委員と共に「災害時要支援者」の安否確認を実施する予定です。

避難所の運営についても、3密（密閉、密集、密接）を避ける工夫をし、国、県、市の避難所運営のあり方について速やかに学習し、実践していく予定です。

なお、この地区防災計画書は、校下の町会長、各種団体長、コミュニティ防災士、各町会の防災委員等で構成する「新神田校下防災対策委員会」の委員用に作成したもので、一般向きは、参考資料の最後に添付してあります。

令和2年11月26日

# 目次

## ～はじめに～

1. 計画の対象地区の範囲	
(1) 新神田校下 防災マップ	1
(2) 新神田校下 町会位置図	2
2. 基本的な考え方	3
3. 地区の特性	6
(1) 自然特性	7
(2) 社会特性	7
(3) 災害特性	9
(4) 防災マップ	15
(毎年、町会で実施する「まちなか訓練・図上訓練」の内容)	
4. 防災活動の内容	
(1) 防災活動の体制	
① 防災対策委員会の組織	25
② 令和元年度 市民防災訓練における組織	26
③ // 避難所運営委員会	27
④ 防災委員会と年間スケジュール	28
⑤ 一時避難場所と指定避難所	29
(2) 平常時の活動	
① 防災計画の内容	30
② 防災知識の普及・啓発	30
③ 避難行動要支援者名簿の活用	31
④ 令和2年度 要支援者・支援活動の流れ（新規）	32
⑤ 要支援者安否確認	35
⑥ 令和2年度 防災訓練・概要	36
⑦ // ・実施明細	37
⑧ 被災状況報告書（班長用）	38
⑨ // （民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員用）	39
⑩ // （防災委員用）	40
⑪ 本部情報収集実績表	41
⑫ かなざわ災害時等協力事業所	42
⑬ 災害時協力協定3者締結例	43
⑭ 自主防災倉庫資機材	44

⑮	指定避難所の防災備品一覧	45
⑯	非常持ち出し品チェックリスト	46
⑰	AED設置状況	47
⑱	// 操作手順	48
(3)	発災直前の活動	
①	防災役員の動き	49
②	新神田校下 豪雨災害タイムライン	51
③	新神田校下 マイ・タイムライン	52
(4)	災害時の活動	
①	避難誘導	53
②	救出救護活動	53
③	避難所開設、運営など	53
④	給食給水（炊き出し）、物資配分	56
⑤	災害時要支援者対策	57
⑥	情報収集、安否確認、伝達（広報）	57
⑦	他組織との連携	57
⑧	避難所運営委員会の班別アクションカード （総務班、総務班・施設管理、情報班、被災者管理班、 食料物資班、衛生救護班）	57
⑨	災害ボランティア受付の流れ	67
(5)	復旧・復興期の活動	72
(6)	市町等、消防団、 各種地域団体、ボランティア等との連携	72
5.	実践と検証	
(1)	防災訓練の実施・検証	
①	平成27年度(第19回)自主防災訓練の反省会の内容	73
②	平成28年度(第20回)                   //	76
③	平成29年度(第21回)                   //	79
④	平成30年度(第22回)                   //	81
⑤	令和元年度(第23回) 市民防災訓練の反省会の内容	83
(2)	防災意識の普及啓発	85
(3)	計画の見直し（Plan Do See）	86
6.	参考資料	91
	（規約、防災計画、要綱、タイムライン、マイ・タイムライン、一般向き広報誌）	

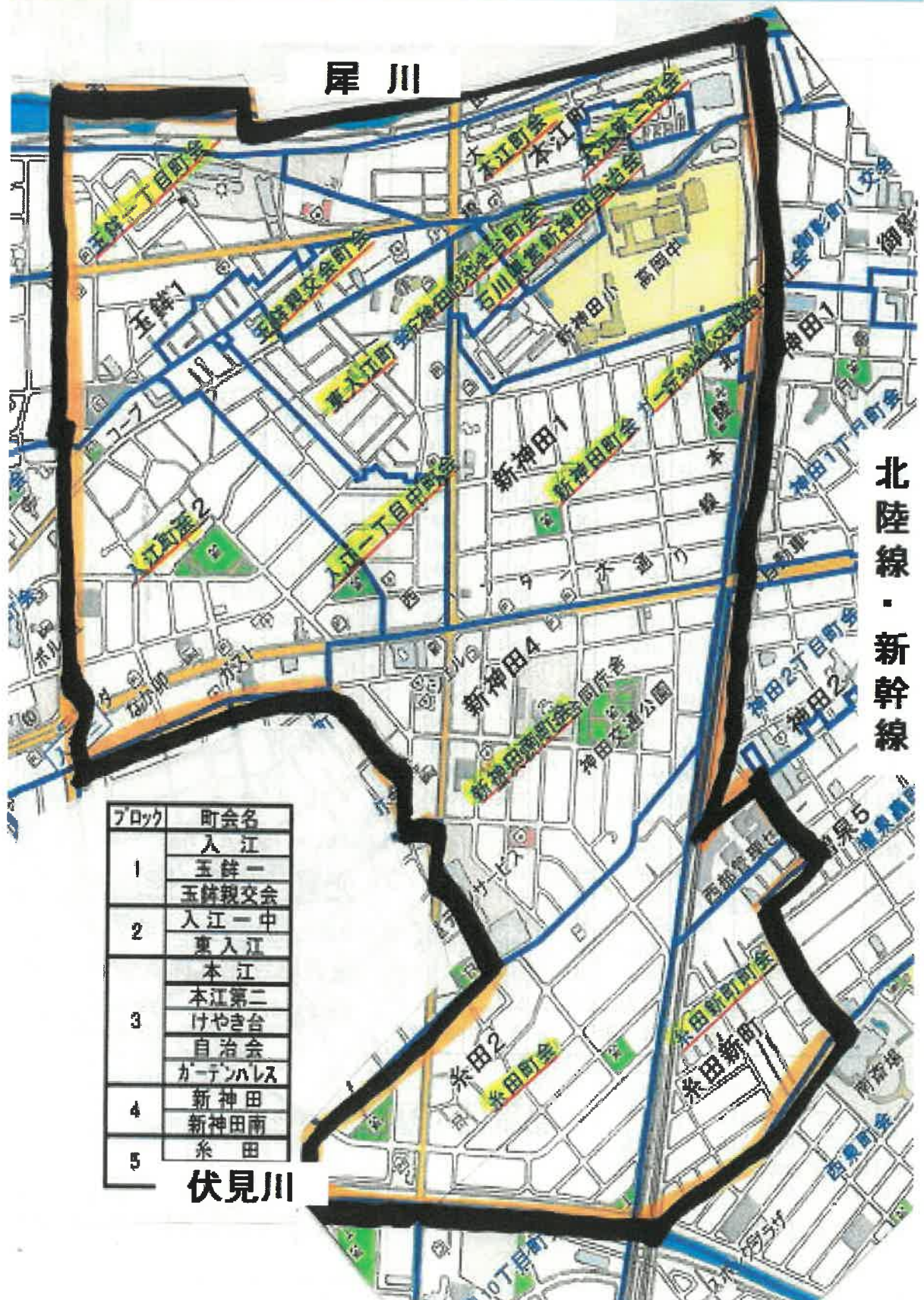
# 1. 計画の対象地区の範囲

## (1) 新神田校下防災マップ

(下記の範囲を対象地区とする。)



# (2)新神田校下 町会位置図



## 2. 基本的な考え方

### (1) 基本方針（目的）

当校下には、町会連合会会長、町会長、公民館長、地区社会福祉協議会会長、民生委員・児童委員会長、赤十字奉仕団長、各種団体長などからなる「新神田校下防災対策委員会」とコミュニティ防災士、各町会から選出した防災委員からなる「防災委員会」の2つを置いている。

それぞれ役割分担して校下訓「みんなはみんなでみんなのために尽くそう」を合い言葉に「住民は、地域の安全は自分たちで守る」の精神に基づき、自主防災活動を行うことにより、地震、火災、風水害、その他の災害による被害の防止と減災を図ることを目的としている。

直近の課題は、金沢市条例で裏付けた「金沢市避難行動要支援者名簿」による安否確認の充実を図る事が必要である。

### (2) 活動目標

具体的な活動目標は、次に掲げる事項とする。

- ① 災害・減災に関する知識の普及・啓発
- ② 災害に対する予防
- ③ 避難行動要支援者の安否確認
- ④ 防災委員の防災士資格取得などを含む活性化および支援
- ⑤ 災害発生時における情報収集、安否確認、避難誘導、  
初期消火などの応急対策
- ⑥ 前号に関する自主防災訓練
- ⑦ 防災資機材などの整備
- ⑧ その他、目的を達成するために必要な事項

### (3) 長期的な活動計画

検討課題を掲げ、その実践

- ① 校下の全体のタイムラインの周知・徹底
- ② 各自のマイ・タイムラインの周知・徹底
- ③ 検討課題の Plan Do Seeの実践

### (4) 防災対策委員会（規約、防災計画）、防災委員会（要綱）

- ① 防災対策委員会の規約
  - ② 防災対策委員会の防災計画
  - ③ 防災委員会の要綱
- 要約版は次ページ

なお規約等は、6. 参考資料を参照のこと

# 金沢市新神田校下 防災対策委員会 規約・防災計画・要綱の要約版

02.4.1

防災対策委員会 規約	<b>役員</b> ① 会長 1名 ② 副会長 若干名 ③ 班長 若干名 ④ 監事 若干名	<b>事業</b> ①災害・減災に関する知識の普及 ②災害に対する予防 ③防災委員の活性化および支援 ④災害の発生時における情報収集、安否確認、避難誘導、初期消火などの応急対策 ⑤前号に関する訓練 ⑥資機材などの整備 ⑦その他本会の目的を達成するために必要な事項
防災対策委員会 ↓ 防災計画	<b>防災計画の内容</b> ①防災会の組織および役割分担 ②防災知識の普及 ③災害の種別ごとに図上訓練などを行い危険の把握 ④防災訓練 ⑤情報収集、安否確認、伝達（広報） ⑥避難誘導 ⑦出火防止 ⑧救護 ⑨給食給水（炊き出し） ⑩災害時要支援者 ⑪災害ボランティア ⑫他組織との連携 ⑬防災資機材等の備蓄および管理	<b>防災会の組織・役割分担・役職</b> ①本部長（町連会長） ②副本部長（町連副会長、公民館長） ③事務局（町連事務局、公民館副館長、主事、コミュニティ防災士） ④実行委員長（町連副会長） ⑤本部班（防災委員長） ⑥総務班（公民館総務部長・広報部長・長寿会長） ⑦情報班（情報収集・安否確認・伝達（広報）） : 体育部長 ⑧被災情報収集・図上訓練班（被災状況のなどの図化） : 防犯委員長 ⑨救護班（負傷者の救護） : 赤十字奉仕団、社会福祉協議会 ⑩防災倉庫点検班（事前に防災倉庫の点検） : 女性防火クラブ 会長 ⑪避難所開設運営班（避難所の立ち上げ、運営、住民の避難誘導等）：社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会長 ⑫給食給水班（給食・給水活動（炊き出し）） : 児童館母親クラブ ⑬災害ボランティア受付班（被災者のニーズ 受付、災害ボランティアのマッチング）：社会福祉協議会、赤十字奉仕団委員長 ⑭物資配分班（避難所運営班と災害時に活動） : 子ども消防クラブ 会長



市民防災訓練 (=毎年行う新神田校下の自主防災訓練)		
<p>まちなか訓練 (町会の個別訓練)</p> <p>①情報収集、図上訓練、 安否確認 (避難行動要支援者)、 シェイクアウト、ひなん済張り紙、 被災状況張り紙、防犯パトロール</p> <p>②消火訓練</p> <p>③避難訓練</p> <p>④救出救護訓練</p> <p>⑤土のう積み訓練</p> <p>⑥給食給水訓練 (炊き出し訓練) 等 町会の力量に応じて種類を増やす。</p>	<p>本部訓練</p> <p>①新神田小学校で情報収集、安否確認、 伝達 (広報)、シェイクアウト、土のう積み、 災害ボランティア受付、避難所組織開設運営訓練、 簡易トイレ組立、炊き出し、衛星電話など、 まちなか訓練などを入れて総合的に行う。</p> <p>②新神田校下の町会を5ブロックに分けてある ので、毎年このうち1つのブロックに該当する 町会が本部訓練に参加する。</p> <p>③5年に1度、全町会が本部訓練に参加</p>	
<p>↓</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">防 災 委 員 会  要 綱</p>	<p>第2条 防災委員は各町会から1名 選出 町会長は兼務出来ない 防災士は自動的に委員会の 役員に</p> <p>第3条 防災委員は、出来るだけ長期にわたり地域活動が可能な町会員の中から町会長が推薦し、町連会長が委嘱する。</p> <p>第5条 委員長、副委員長を置く 会議は、訓練前後合わせて年間8回程度開催</p> <p>第7条 任期は3年</p>	<p>役割</p> <p>①県および市の実施する防災研修会、講演会などに参加し、得られた知識・情報を新神田校下の防災・減災活動に役立てる。</p> <p>②防災会の会長、副会長の要請に応じ、その職務を補佐・補完するなど、持っている知識・経験を十分活用する。</p> <p>③災害時には、素早い地元の安否確認などの情報を収集し、現地災害対策本部に連絡をする。更に、落ち着いたら避難所の開設・運営や在宅被災者の支援などを行う。</p> <p>④平常時には、まちなか訓練、図上訓練、安否確認訓練の実施、本部訓練の場合の住民の誘導などを行う。</p>

### 3. 地区の特性

新神田校下は、金沢の西南部に位置し、校下には犀川・伏見川の2本の川に沿って縄文時代より集落が形成されていった。

この川は幾度なく氾濫を繰り返し、多量の土石を押し流し、土着民はそのたびに土を掘り起こし、平地を築き田畑を形成し、その中洲に当たる平野を自分達の領地として農耕を営んできた。



犀川に沿って形成されていった集落が中村、増泉、御供田、入江、玉鉾、高畠であり、さらに伏見川に沿いに東力、保古などがある。

新神田は、何時の頃から中村校下の神田地区とともに、古くは「御供田」と呼ばれ、白山宮社の御供田（おそなえ田）があったことから神米造りの地域となり、地名も神田と命名された。

加賀藩政時代には肥沃な沢の中の里として、桑畑や田畑に多くの人が働き、葦毛や栗毛の駿馬も入江馬場にもみら

れた。

新神田校下は、明治、大正、昭和初期には、石川郡米丸村に属しており、米丸小学校の校下にあったが、米丸小学校が児童数2,000人を超える大規模校となったことに伴い、昭和56年（1981年）新神田小学校が開設された。

新神田、糸田、玉鉾、入江、本江地区などが新神田小学校の通学区域に編入され、ここに「新神田校下」が発足した。

当時の新神田校下の人口は、おおよそではあるが6,200人、世帯数は、約2,000世帯（3.1人/世帯）であり、新神田小学校の児童数は、664名であった。発足当時、地域住民の団結を図るスローガン（校下訓）として、「みんなは みんなで みんなのために尽くそう」でスタートした。今でもその句碑が公民館横に鎮座している。

爾来30数年、その名のとおり、もとはその大部分が田んぼが多く見られた当地区も、市中心部に近いこと、北陸自動車道、国道8号線に直結する「西インター通り（都市計画道路専光寺・野田線）」や金沢駅につながる「まめだ大通り」の開通、また犀川にかかる「大豆田大橋」や「若宮大橋」の架橋、北陸新幹線の開通など相次いで完成したことなどにより、近年では住宅

が軒を連ねるようになっている。

ちなみに令和2年10月1日現在における当地区の人口は7,460人、世帯数は3,660世帯(2,03人/世帯)となっており、町会の数は、14町会を数えている。

## (1) 自然特性

本地域の自然特性は、内陸部、河川沿いの地域特性がある。

項目	該当あり	該当なし	地域	想定災害種別
海岸線		○		
河川・浸水予想区域	○		犀川・伏見川沿い	浸水
内水・浸水予想区域	○		中村高富用水沿い	浸水
低海拔区域		○		津波・高潮
土砂災害特別区域		○		土砂災害
土砂災害特別警戒区域		○		土砂災害
液状化危険区域	○		全域	建物・道路
火山		○		噴石・土石流
断層	○		森本富樫断層	地震
木造建築密集地	○		一部密集地域有り	大規模延焼火災

## (2) 社会特性

当校下は、都市型と言うより郊外型の特徴があるが、地域の特性でも説明したとおり、農村型から発展した地域であり、農家住宅、県営住宅、マンション、アパート、戸建て住宅が混在している。

近年、少子高齢化の波もあり、それぞれ町会によって防災の意識は様々である。県営住宅の町会、マンションの町会、住宅が密集した町会、両河川に近い町会、農家住宅の町会、農地の区画整理からの町会などそれぞれの立地により様々な防災意識が必要である。

特に校下発足時は世帯当たり人口は、3.1人から現在は2.0人となり、少子高齢化が顕著となってきており、災害時の要支援者の安否確認が喫緊の課題となっている。

そこで、今年度は、令和2年3月に市が発行した「金沢市避難行動要支援者名簿活用ガイドブック」により民生委員、まちぐるみ福祉活動推進員、各町会の役員、班長、防災委員と共にコロナ禍の3密を避けながら、最低限の災害時要支援者の安否確認の充実を図る予定である(詳細は31頁以下)。

用語の説明：災害対策基本法の改正に伴い、平成27年4月1日から、高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など、災害時において特に配慮を要する人を「要配慮者」。そのうち災害等が発生、発生する恐れのある場合に、自ら避難することが困難、円滑かつ迅速な避難の確保などの支援を要する人を「避難行動要支援者」という。

次の表は、新神田校下の社会特性をまとめたものである。

項目	あり	なし	地域
旧市街地		○	
商業地域		○	
近隣商業地域	○		西インター大通り沿い
工業地域	○		(株)セーカン付近
準工業地域	○		本江消防訓練場付近
第1種住居地域	○		一般の住宅地
第2種住居地域	○		まめだ大通り沿い
防火地域・準防火地域		○	
鉄道・新幹線	○		JR北陸線、北陸新幹線
河川	○		犀川、伏見川
用水	○		中村高皇用水(入江・玉鉾・糸田・東力用水)
橋梁	○		大豆田大橋、若宮大橋、犀川鉄橋、西金橋、糸田橋
公園	○		神田交通公園、入江第1児童公園、入江町児童公園 新神田1丁目児童公園、新神田第4児童公園 糸田第1・2児童公園、本江町小公園
デイ・福祉施設等	○		こーぷあいあい、ケアホームベストライフ金沢 うめばちいりえ、老人ホームほがらか
病院(歯科医院含む)	○		安田内科病院、加藤整研外科医院、加藤小児科医院 うきた産婦人科医院、クラウン歯科クリニック
幼稚園等	○		第二かわい幼稚園
小学校	○		新神田小学校
中学校	○		高岡中学校
その他公共施設	○		金沢新神田合同庁舎、本江消防訓練場、北電石川体育館 金沢市西部共同調理場、西部州外プラザ JA金沢中央本店・米丸支店
銀行	○		北國銀行金沢西部支店、北陸銀行新神田支店 北陸信用金庫新神田支店
スーパーマーケット	○		コープ玉鉾
ドラッグストア	○		クスリのアオキ玉鉾店、キリン堂新神田店
コンビニ	○		ローソン新神田店、セブンイレブン入江1丁目店 ファミリーマート入江1丁目店・新神田店
マンション	○		新開ウエラコート、アパガーデンパレス
共同住宅	○		県営新神田共同住宅
ホテル	○		ビジネスホテル東楽

幅員3m以下の道路		○	
住宅密集地域		○	
外国人居住者	○		
観光者		○	
人口増減	○		核家族化と世帯数の増加
人口移動 昼夜間	○		昼夜の社会的な人口の増減あり

### (3) 災害特性

#### ① 地震

- 金沢市には、北東から南西に横切る長さ26kmの森本・富樫断層帯があり、



M7.2程度の地震が、30年以内にほぼ2~8%の確率で起きると予測され、日本の活断層でランクSのトップ級の断層帯である。

- 新神田校下は、森本・富樫断層帯から約2km離れており、直下には活断層はないものと予測されているが地震はないと言い切れるものではない。

液状化の心配は十分にある。(次頁参照)

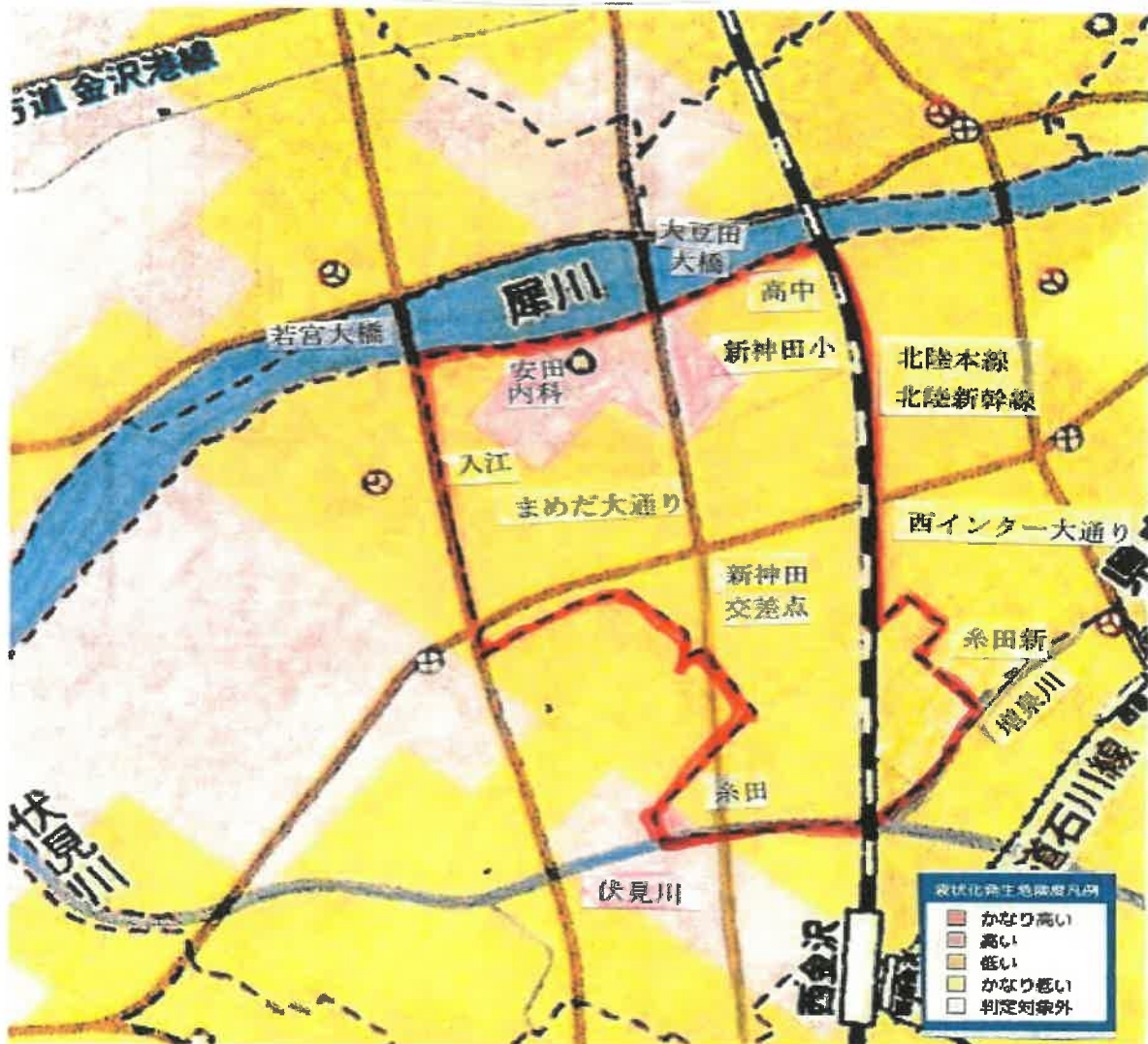
- 最近、発生予測もなかった熊本地震の例もある

ことから地震は必ず起こると考えておく必要がある。

- 新神田公民館のある新神田会館の建物(昭和62年築)は、現行の耐震基準を満たしており校下の指定避難所にも指定されている。

## 金沢市 液状化危険度予測図

### 新神田校下編



注：校下内は全体的に発生率は「低い」が、一部犀川・伏見川沿いに「高い」部分がある。

### ② 津波

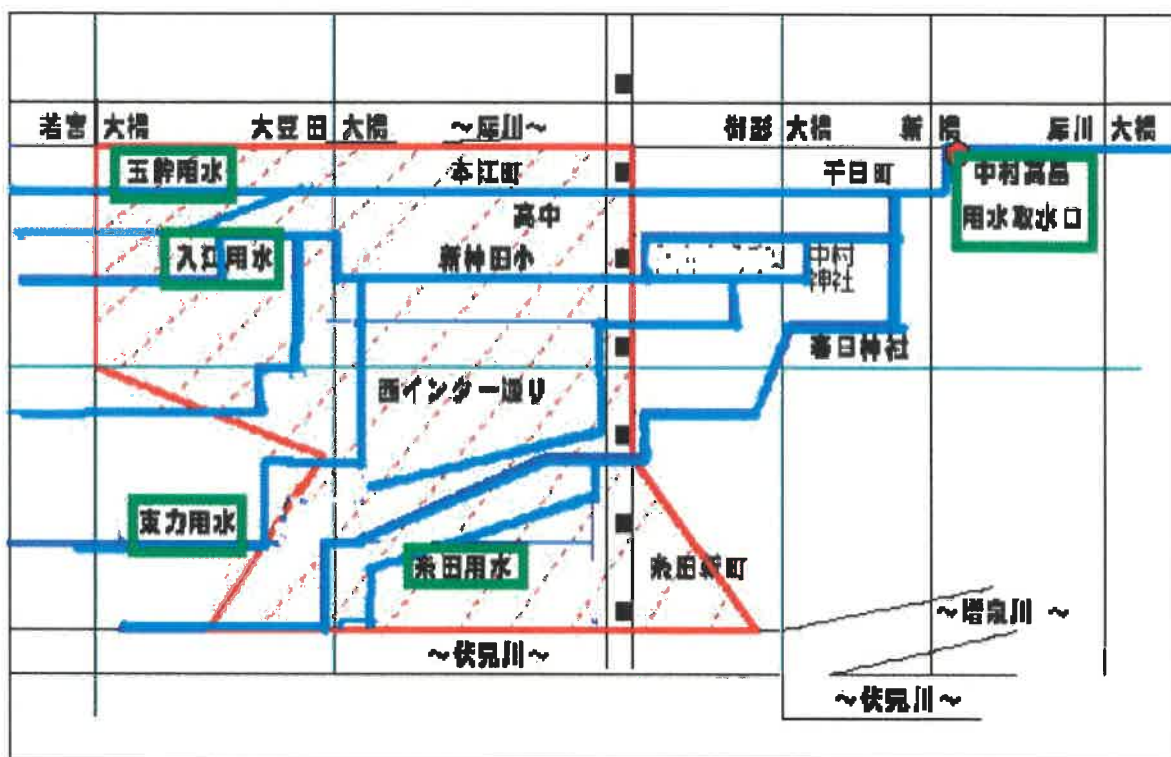
- ・ 津波が起こった場合、金沢港に最大3.7mの津波が24分で到達することが予測されている。
- ・ 当校下は標高は11mで金沢港から約4km離れているため浸水はないものと思われる。

### ③ 風水害

- ・ 当校下には犀川・伏見川が流れているが1000年に一度の大雨では確実に全域が浸水するので、事前に避難場所の確保（分散型避難の考え方など：89頁参照）をしておく必要がある。

- 当校下は、河川が氾濫しなくても、校下を流れる中村高畠用水（入江東力・玉鉾・糸田用水）が内水浸水する恐れが十分ある。

下図は、犀川、伏見川のほか校下内を流れる中村高畠用水の各用水位置図



- 今年度は、金沢市が作製した1000年に1度の水害ハザードマップにより「まちなか訓練」を深化させたい。

一服

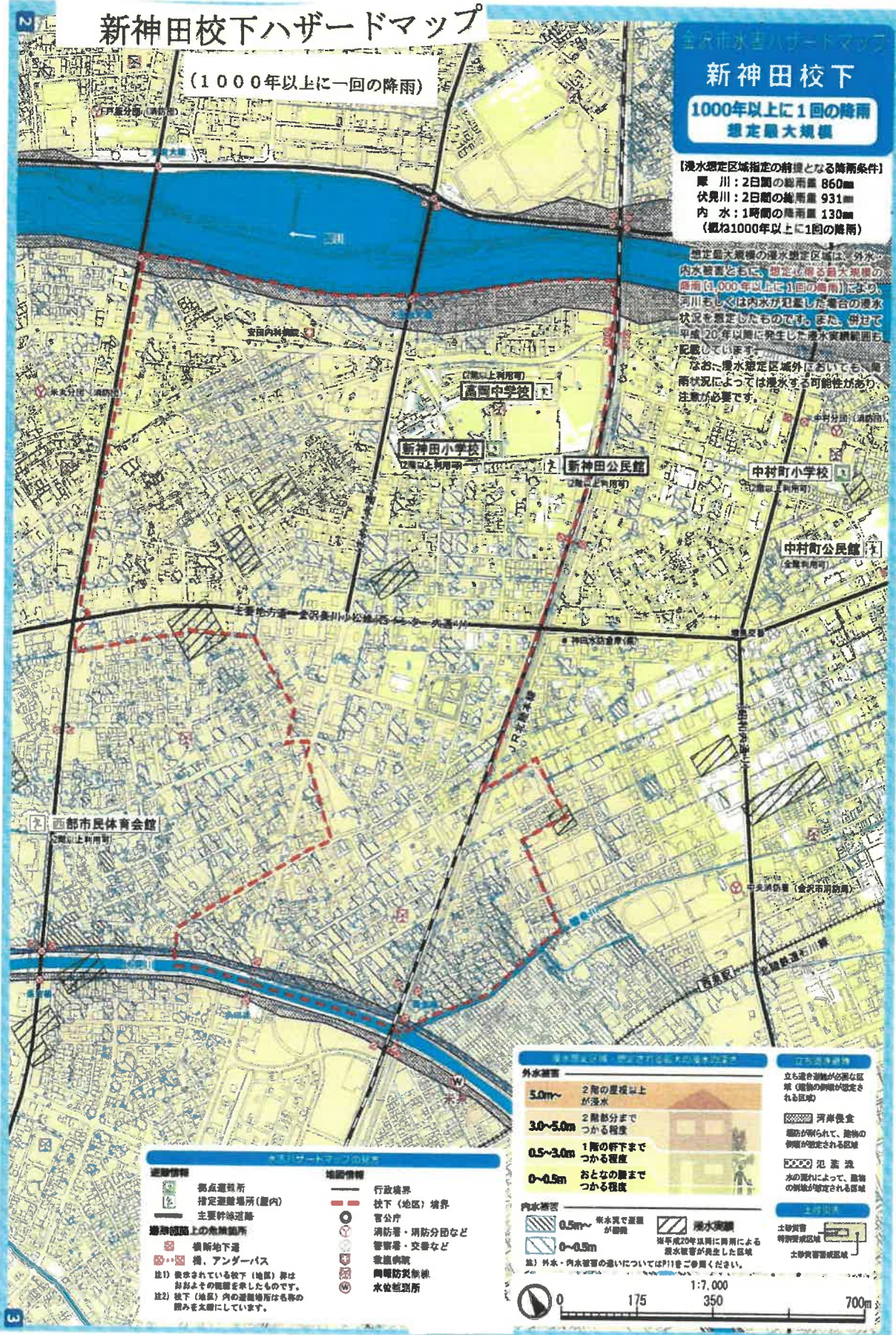
北陸新幹線が犀川鉄橋を通過、これから新神田校下へ入ります。



このあたり、犀川の川幅は狭く、大水での浸水が心配される箇所です。

手前の本江町会は、毎年「土のう積み」訓練を行っています。

# 1000年に一度の水害ハザードマップ



注：全体的には0.5~3m(1階の軒下まで浸水)、両河川沿いは河岸浸食の恐れありの予想



### 2.7.31 金沢市内水整備課からの説明会の様子（防災委員会の一環）



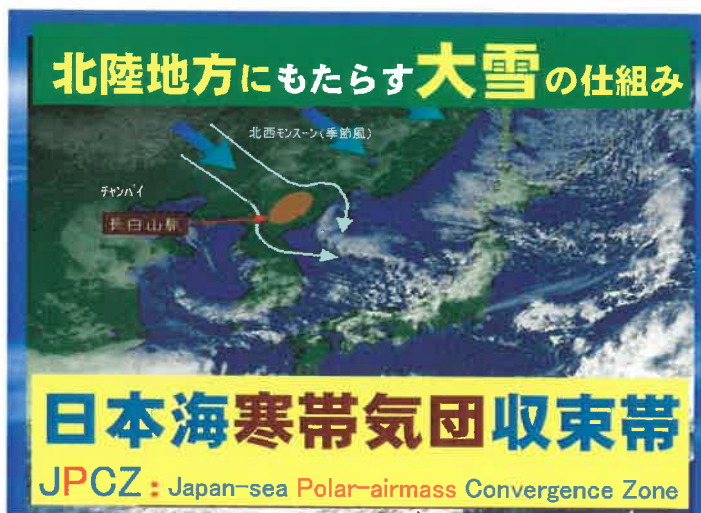
- 各町会の防災委員は、1000年に一度のハザードマップで町会の「まちなか訓練」で検討する。

注：コロナ禍で、窓を開け、イスの間隔を空け、全員マスク、終わればイスの消毒でした。兎に角、やっかいな世の中（With コロナ）で大変です。

#### ④ 土砂災害

- 当校下は土砂災害の警戒区域に含まれておらず、建物が土砂災害により被害を受けないとされている。

#### ⑤ 雪害



- 2018年（平成30年）の北陸地方の大雪の仕組みは「日本海寒帯気団収束帯」によるものとされており、警戒しなくてはならない。
- 今後も大雪対策は必要であり、せめて自分の周囲の除雪はもとより、隣近所の除雪には協力しなければならない。



- 空き家についても強い関心を持つ必要がある。屋根の大雪が、空き家の倒壊、滑り落ちる危険が指摘されていた。
- 空き家の相談は「金沢空き家再生ひきうけ隊」へ

**窓口：金沢市住宅政策課**

## ・ 金沢市の屋根雪下ろし援護のご案内

対 象 者	高齢者、障害のある世帯、母子家庭のうち 屋根雪下ろしの親戚等の援助が受けられない世帯
事前に市へ登録申請要	屋根雪下ろし対象世帯名簿に掲載された世帯
依 頼 方 法	民生委員児童委員へ依頼を
費 用	生活状況によりA・B・C世帯に分け、 費用負担が異なる。民生委員児童委員に相談要

### 窓口：金沢市生活支援課

## ・ 金沢市の屋根雪下ろしの問い合わせ先（一般世帯分）

屋根雪下ろしを行う業者さんをお探しの場合、屋根雪下ろしの専門業者さんにはございませんが、下記団体に加盟されている業者さんのなかには対応可能な業者さんもありますので、各団体へお尋ねいただくか、各団体のホームページに掲載されている加盟業者さんへ直接お尋ねください。

団体名	ホームページアドレス	電話
一般社団法人金沢建設業協会	—	076-244-1848
金沢市建築組合	<a href="http://kanaken.dreama.jp/">http://kanaken.dreama.jp/</a>	076-263-7058
石川県瓦工事盗同組合	<a href="http://www.kawara-ishikawa.jp/">http://www.kawara-ishikawa.jp/</a>	—
石川県造園業盗同組合	<a href="http://isizou.jp/">http://isizou.jp/</a>	076-291-8360

### 注 意 点

※土曜、日曜、祝日は、上記各団体先での電話対応ができません。

（平日のみ午前9時～午後3時まで対応）

※積雪状況により、対応できない場合もありますので、ご了承ください。

※屋根雪下ろしは、依頼先の業者さんとの直接契約になります。

価格や条件などは事前に業者さんにご確認のうえ、依頼してください。

## ⑥ 2次災害への対応

- 当校下は地震や風水害、雪害による直接の災害はもとより、これに伴う2次、3次災害（火災、停電、液状化現象、犀川・伏見川の河川氾濫、中村高畠用水の内水氾濫等）についても十分注意を要する。  
とくに、マンション居住者の場合、停電によりエレベーターが止まった場合の対応について考慮しておく必要あり。
- これらを視野に入れ、またコロナ感染対策も取り組み、災害発生時における最悪の事態を想定した対応を検討しておく必要がある。今後の検討課題として上げておいた。

## (4) 防災マップ

毎年、町会で実施する「まちなか訓練・図上訓練」の内容

- ① 町会の役員会などを利用して、地域の特徴を確認しながら  
避難行動要支援者（要支援者）をマッピング化する。

**「まちなか訓練」 図上訓練の方法**

**平常時 地域の代表者の役割**

**防災士・防災委員・町会長・班長・民生委員・まちぐるみ福祉活動推進委員・防犯委員さんなどが**

**平時地域の地形・災害の特性・知識**  
**(地震・水害・雪害の把握と、お年寄りなど**

**災害時の要支援者を把握しマッピング化**

- ② 「まちなか訓練」のメニュー

①訓練前日まで、②当日訓練、③一年通じての訓練に分けて実施する。

**各町会でする  
「まちなか訓練」の各種メニュー**

- ・危険度チェック・要支援者・市防災マップチェック  
→前日まで必須
- ・安否確認・情報収集訓練  
→当日必須
- ・シェイクアウト訓練、防犯パト  
→当日必須

- ・防災グッズの展示
- ・防災倉庫の点検
- ・AED操作訓練
- ・土のう積み訓練
- ・バケツリレー消火訓練
- ・炊き出し訓練
- ・消火栓の点検
- ・三角巾などの応急手当訓練

**通年の訓練**

- ③ 図上訓練は、2段階に分けて実施する。  
 1段階目の前半は、平時の自分たちの周囲の地形地物について道路、公園、河川などを共通理解する。

**図上訓練①：我が町の把握**

**第1段階 平時**→この間15分間

**黒：**道路、建物、町の特徴  
 (古い木造家屋、空き家、ブロック塀、  
 用水面より低地、行き止まり道路、狭隘道路など)

**緑：**公園、空地、駐車場、広見

**青：**河川、防火水槽、用水、消火栓、プール、  
 AEDの設置場所、災害時協力井戸、防災消雪井戸、  
 災害時協力事業所の設置、発電機・仮設トイレ・  
 投光器の手配可能調査

—金沢市防災マップ 新神田校下編のチェック—

- ④ 黒、緑、青マジックで白図に、地形地物をそれぞれ相談しながらマッピングする。

**図上訓練①**  
**第1段階**

**黒：**  
道路、建物、町の特徴

**緑：**  
公園、空地、駐車場、広見

**青：**  
川、用水、消火栓、防火水槽、プール、AED

- ⑤ 次に、1段階目の後半は、災害時について考える。  
それぞれ洪水、火災、地震などで避難の仕方は変わることをみんな  
情報共有する。

**図上訓練① 我が町危険度チェック**

**第2段階 災害時**→この間15分間

①洪水の浸水エリア (1000年に1度)

②火災の延焼危険エリア

③地震・雪害などによる  
倒壊家屋の多数出そうなエリア

- ・町会、班の集合場所
- ・市指定避難場所
- ・そこへの避難ルート

- ⑥ 2段階目の前半は、我が町の危険度チェック。赤のマジックで  
危険なブロック塀、住宅密集地で火災が発生すると危険な場所、  
浸水しやすいエリアなどをマッピングする。

**第2段階 危険度チェック**



赤：災害時の我がまち

**「地域の絆」を深める訓練です**

- ⑦ 2段階目の後半は、「金沢市・避難行動要支援者名簿 活用ガイドブック」により要支援者マップを作成する。

**図上訓練②**

事前準備 防災委員・町会長・班長・民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員などが災害時要支援者を把握マップ化



参加者同士が地図で確認・教え合う

- ⑧ 要支援者の内容を、赤色、黄色、青色に分け区分表示する。

**防災避難支援マップの作成**

避難支援等関係者の間で話し合い、避難行動要支援者などの対象者を、支援区分別に色分けして表示します。

支援区分（例）

区分	色	対象者の目安
A	赤色	寝たきりなど自力での避難ができない方
B	黄色	杖などを利用することで自力避難できる方
C	青色	自力で避難ができる方

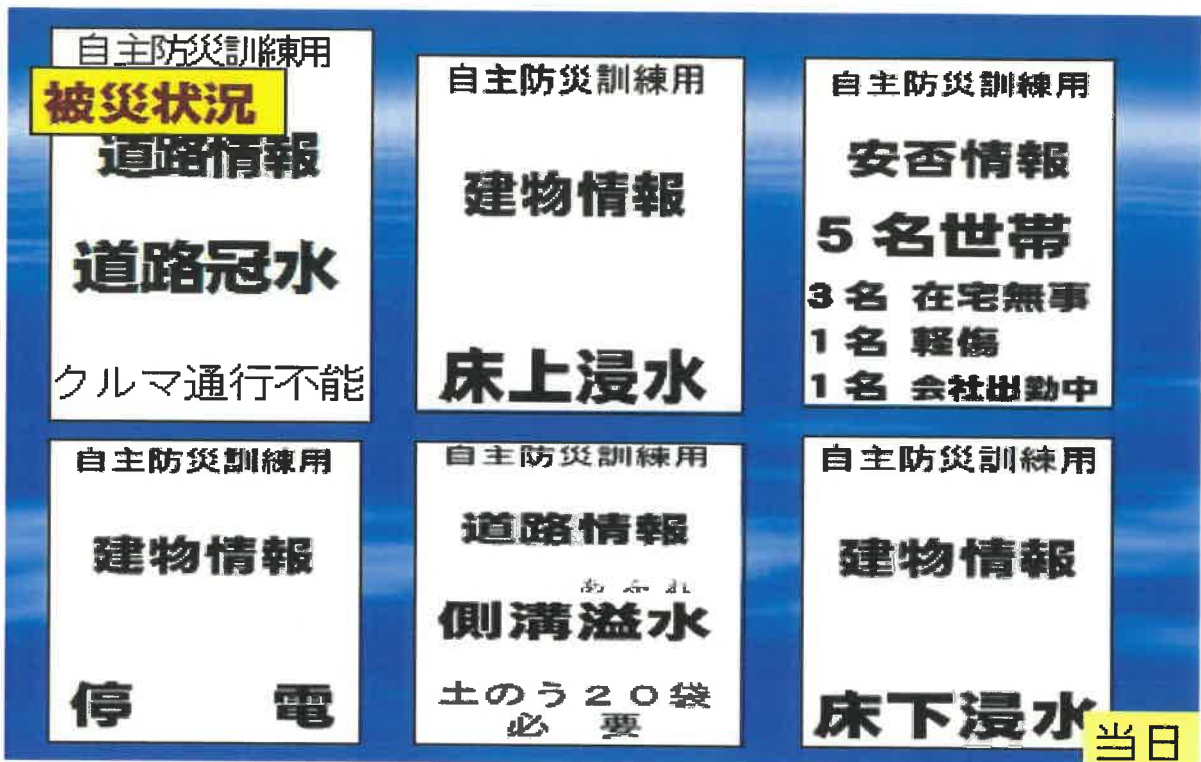
**要支援者情報マップ**



このマップは、当日の安否確認訓練に使います。

⑨ 被災状況の情報収集のため、玄関前に任意に張り出して貰う。

避難訓練時に「班長」が情報収集する。



⑩ 避難時に「ひなん済」を玄関前に張り出して貰う。避難訓練時に「班長」

が確認する。

### 避難行動要支援者名簿を防災訓練に活用…新神田

平成24年から要配慮者を対象とした訓練を開始し、参加率は徐々に高まって、令和元年には71%の世帯について参加の確認ができています。

**訓練の案内** 名簿登録者のうち、町会加入者は町会関係者から案内  
町会未加入者は民生委員等が自宅まで持参

**訓練当日** ① 訓練参加者は避難済の用紙（下記参照）を自宅前に掲示  
② 民生委員やまちぐるみ福祉活動推進員が各家庭を回り、  
掲示の有無を確認

※参考 安否確認板のデザイン=自宅前に掲示することで安否確認が効率的に行える

氏名	人数	名
住所		

- ⑪ 民生委員などが先に調査した要支援者宅を訪問し、  
「在宅玄関先まで避難」を確認する。



写真は、高知県黒潮町の例。 新神田校下も今年度、3密を避けながら取り入れる予定。

- ⑫ 被災状況を「班長」が確認する。「在宅避難」でも張り出す。

被災状況・防パト

自主防災訓練用

**安否情報**

**2名世帯**

1名 在宅無事

1名 重傷  
病院搬送中

班長・民生委員等が情報収集・確認

防犯委員が空屋の防犯パトも同時に行う

当日

空き巣対策のため、後で防犯委員がパトロールする。



- ⑬ 避難時に玄関前に張り出して貰った情報（ひなん済、被災情報）を、  
班長が見回り、（班長用）に集計する。

被災状況報告 & 安否確認			
2020年度 新神田校下 市民防災訓練			資料⑤-1
被災状況報告書 (班長用)			
～町会加入者調査表～			
想定日時	2020年6月28日(日) :午前6時50分発災	災害想定 : 1000年に一度の水害 (犀川、伏見川決壊)発生	
通報地域	町会 班	通報責任者(班長)	
被災状況の報告			
・避難行動要 支援者の状況 (町会加入者)	事前に登録(申請)の あった要支援者の世帯 世帯	そのうち「玄関先ひなん」 を確認した世帯 世帯	要支援者の安否確認 世帯
「ひなん済」 張り紙の確認	貼付した世帯(参加世帯) 世帯	非貼付世帯 世帯	計 ひなん済張り紙
・負傷者	軽傷 人	重傷 人	病院搬送 人
・道路の状況	道路亀裂・陥没 車通行不能 箇所	水道管破裂・水 被災状況 箇所	
・家屋の状況	建物全壊 戸	建物一部損壊 戸	
・停電の状況	あり 戸	あり 戸	町会全世帯
・その他:橋、北陸線、河川の被害状況 避難場所の報告など適宜記入しなす。			
			当日

- ⑭ 市の防災避難支援者マップの町会に加入していない人達を、民生委員・  
まちぐるみ福祉活動推進員が、玄関先までの避難を確認する。

2020年度 新神田校下 市民防災訓練			
被災状況報告書			
民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員用			
～町会未加入者調査表～			
想定日時	2020年6月28日(日) :午前6時50分発災	災害想定 : 1000年に一度の水害 (犀川、伏見川決壊)発生	
通報地域	町会	通報責任者(民生委員及びまちぐるみ福祉活動推進員) 名前:	
避難状況の報告			
・避難行動 要支援者の状況 (町会未加入者)	事前に登録(申請)の あった要支援者の世帯 世帯	そのうち「玄関先ひなん」 を確認した世帯 世帯	未確認世帯 世帯

- ⑮ 防災委員が班長、民生委員などが集めた情報を町会単位でまとめる。  
 今年は、コロナ禍のため3密を避け、シェイクアウト、防犯パトロールは外したものの、結局中止となったが、次回から復活させたい。

2020年度 新神田校下 市民防災訓練						
被災状況報告書 (防災委員用) <small>民生委員等含む</small>						
被災状況の報告被災状況の報告						
想定日時	2020年6月28日(日) 午前6時50分発生	災害想定, 1000年に一度の水害発生				
通報地域	町会	訓練参加人数	男	女	子ども	合計
通報責任者						
・避難行動要支援者の状況(合計)	事前に登録(申請)のあった要支援者の世帯 世帯	そのうち「玄関先ひなん」を確認した世帯 世帯	未確認世帯 世帯			
「ひなん済」張り紙の確認	貼付した世帯(参加世帯) 世帯	非貼付世帯 世帯	計 世帯			
・負傷者	軽傷 人	重傷 人	病院搬送 人			
・道路の状況	道路亀裂・陥没 車通行不能 箇所	水道管破裂・水浸し 箇所				
・家屋の状況	建物全壊 戸	建物一部損壊 戸				
・停電の状況	あり 戸	あり 町会全世帯				
・その他: 橋、北陸線、河川の被害状況 避難場所の報告など						

- ⑯ 「まちなか訓練発表会」: 各町会の防災委員が、通年で実施した「まちなか訓練」の内容を報告している。毎年続けている。

(平成29年) 9月6日 (水曜日)

**「まちなか訓練」発表会  
H28年9月から実施**

**町会が防災の取り組み発表**

新神田公民館

金沢市新神田校下防災委員会の「まちなか訓練&図上訓練発表会(本社後援)」は5日、同市新神田公民館で開かれ、14町会の防災員約20人が各町会の取り組みと課題を発表した。

各委員は6月25日に行われた同校下のまちなか訓練と、各町会で行った図上訓練の実施状況を説明した。要援護者の住居を町会内で共有できたとの意見があった。一方で、訓練に参加する住民が少ないとの課題も上がった。



- ⑰ 報告会には様々な報告があり、課題があれば後日、県・市の出前講座で情報を共有している。地元の消防団の皆様には最初から参画を頂いている。

H27. 9から毎年続けている

## 防災委員によるDIG発表会



地元米丸消防分団の協力

- ・ 個別住宅の多い町会、
- ・ マンション住宅町会、
- ・ 河川に近い町会、
- ・ 用水の多い町会などから

**地域の特성에応じた訓練内容の発表会**をしている。

初めて知ることが多く今後の参考になった。

**後日、河川用水について県市から出前教室**をして貰った。

**DIG：図上訓練**  
Disaster Imagination Game

- ⑱ ある年の「まちなか訓練」発表会の内容

### 〇〇年度 第7回 防災委員会（例）

#### まちなか訓練発表会の要旨

〇〇年9月5日（火）

入江町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6/17図上訓練、情報収集などをを行った。要支援者13世帯、15人は班長が管理把握している。</li> <li>・ 低地の介護施設（グループホーム・レイボ -2）前が2回浸水。土のうは手配済み。</li> <li>・ アンケート調査を初実施。来年も続けて防災意識を高めたい。</li> </ul>
玉鉾1町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欠席</li> </ul>
玉鉾親交会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 張り紙はアパート以外全て貼ることが出来た。</li> <li>・ 6/17図上訓練を行った。8/27の町会の夏祭りで炊き出し訓練を実施。</li> <li>・ AEDは「コブ たまぼこ」のほか「北信」、「不動産事務所」での設置を確認。消火栓5カ所も確認。</li> <li>・ 玉鉾用水が校下の末端を通り、いつも図上訓練で危険浸水箇所をチェックしている。今年は玉鉾用水の浸水は無かった。</li> <li>・ 非常持ち出し袋の必要性を啓発すべき。</li> </ul>
入江1中町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/13図上訓練実施、10班あるが要援護者の完全把握がなされていない。</li> <li>・ 2本の用水があるが、浸水はしなかった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AEDを設置したいが未だである。まちなか訓練を徹底している。</li> <li>• 6/25ひなん済み貼付率は75パーセント、アップしている。班長は協力的だった。</li> <li>• 7/29の夏祭りでは炊き出し訓練、防災倉庫の中味を点検した。</li> </ul>
東入江町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5/30図上訓練を民生委員を含めて確認した。</li> <li>• 6/25防災訓練の当日はバーベキュー大会、「大災害があってもへいちゃらの町会」を目指して7kgの炊き出し訓練、張り紙の徹底を図った。</li> </ul>
本江町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5/22図上訓練は「本江町防災訓練対応マニュアル（2年目）」を作成し徹底している。基本的な考え方として、想定できる訓練は100%実施を目標にしている。</li> <li>• 要支援者の把握は班長に積極的に調べさせている。</li> <li>• ひなん済みの張り紙も95%にアップ。今後も徹底したい。</li> </ul>
本江第2町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本江小公園に防災倉庫があり、ヘルメット、消火ホース、ジャットを常備。火災予防に消火器を設置した。</li> <li>• 近くの駐車場に避難集合している。</li> </ul>
けやき台町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 6/8図上訓練を実施。</li> <li>• 8/19夏祭りでミニ炊き出し訓練を実施した。</li> </ul>
自治会町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 欠席</li> </ul>
ガーデンパルク町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 4/21図上訓練を実施。</li> <li>• 6/25防災訓練の当日は、25名（うち女性・子どもで15名参加）、もっと大人の参加が課題。</li> <li>• 7/29は火災予防訓練を実施した。</li> </ul>
新神田町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 欠席</li> </ul>
新神田南町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5/22図上訓練、6/25まちなか訓練を実施。</li> <li>• 伊藤忠エネクス・ホームライフ中部北陸支店さんの炊き出し訓練は4年目。お世話になっている。50名の参加</li> <li>• 今年は、若い世帯の人達の参加が見られた。良かった。</li> <li>• ひなん済み貼付率がダウン、意識も低下しているかも？今後は防災意識を高めたい。</li> </ul>
糸田町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図上訓練での地図を小型化して見やすくした。</li> <li>• 6/29の土のう積み訓練のため、5月末、6/19の市内水と協議をして、当日は皆んなが積極的に参加してくれて有意義だった。個々の防災意識が芽生えている事が分かった。</li> <li>• 8/6の夏祭りで炊き出し訓練を実施した。皆んなの意識が高まっていることを感じた。</li> </ul>
糸田新町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図上訓練など資料で説明。緊急連絡網の実施。</li> <li>• ひなん済みの張り紙アップ。今後も徹底したい。</li> </ul>

## 4. 防災活動の内容

### (1) 防災活動の体制

#### ① 防災対策委員会の組織

(構成員：町会長、各種団体長などで構成)

(1) 本部長	町連会長
(2) 副本部長	町連副会長、公民館長
(3) 事務局	町連事務局、公民館副館長、公民館主事、コミュニティ防災士
(4) 実行委員長	町連副会長
(5) 本部班	防災委員長
(6) 総務班	公民館総務部長・広報部長・長寿会長
(7) 情報班	体育部長：情報収集・安否確認・伝達（広報）
(8) 被災情報収集・ 図上訓練班	防犯委員長：被災状況などの図化
(9) 救護班	赤十字奉仕団 社会福祉協議会会長：負傷者の救出救護
(10) 防災倉庫点検班	女性防火クラブ 会長 ：事前に防災倉庫の内容を点検→当日報告
(11) 避難所開設・ 運営班	社会福祉協議会会長、民生委員・児童委員協議会会長 ：避難所の立ち上げ、運営、住民の避難誘導等
(12) 給食給水班	児童館母親クラブ会長：給食・給水活動（炊き出し）
(13) 災害ボランティア受付 班	地区社会福祉協議会、（市社協、県社協） 赤十字奉仕団委員長 ：被災者のニーズ受付、災害ボランティアのマッチング
(14) 物資配分班	子ども消防クラブ 会長：避難所運営班と共に災害時に活動

② 令和元年度の市民防災訓練における組織

簡易版（構成員：町会長、各種団体長などで構成）

令和元年度 新神田校下

避難所運営本部組織



### ③ 令和元年度の新神田校下避難所運営委員会 新神田校下避難所運営委員会

② 金沢市:避難所運営マニュアル準拠

新神田バージョンに変更

担当班を合体:5班体制とする

2019/8/8現在

① 総務班	2人	班長:扇子、石黒、班員:公民館委員	7枚						
<ul style="list-style-type: none"> <li>市災害対策本部との連絡調整</li> <li>避難所の管理運営全般</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>報道機関対応</li> <li>テレビ・ラジオの設置</li> <li>石黒対応</li> <li>外国人への対応</li> <li>避難所多言語対応冊子の活用</li> <li>学生、子ども消防の対応</li> </ul>							
事務局 衛星電話のチェック 居住空間設置・割り振り、各種案内表示の掲示 女性専用室等の張り紙・周知 避難所ルールづくり		企業局給水訓練用給水パネル設置 <small>(小学校防災倉庫)</small> トイレに関する対応・管理 ごみ集積場に対する対応・管理 室内生活環境の清掃管理 女性避難者のあり方コーナー							
(施設管理)	5人								
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の管理、防火・防犯パトロール</li> <li>洗濯・物干場の設置・管理(男女別)</li> <li>風呂やシャワーの利用・男女別計画</li> <li>手話通訳体験コーナーの設置・運営</li> </ul>									
(ボランティア)	0人								
<ul style="list-style-type: none"> <li>総務班と連携し、ボランティアの受け入れなど調整する。</li> <li>被災現場のニーズ調査、活動内容など把握に努める。</li> </ul>									
② 情報班	4人	班長:山下、班員:体育部	4枚						
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報掲示板の設置、総合受付からの情報収集</li> <li>避難者へ伝達する情報の管理・提供</li> <li>テレビ、ラジオ等からの様々な外部(県、市等)情報収集・お知らせ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣避難所と相互情報共有</li> <li>生活情報(物資配給、入浴、給水)</li> </ul>							
③ 被災者管理班	8人	班長:千田、班員:女性防火クラブ	8枚						
<ul style="list-style-type: none"> <li>避難者名簿の作成・管理</li> <li>避難者受付・集計</li> <li>子どもたちへの保育等</li> </ul> (遊び場、勉強部屋)の支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>安否確認問い合わせへの対応</li> <li>郵便物・宅配便等の取り次ぎ</li> <li>入退所管理</li> </ul>							
④ 食料物資班	15人	班長:加藤、班員:母親クラブ、町会参加者ほか	15枚						
<ul style="list-style-type: none"> <li>食料・物資の配給等</li> <li>食料の炊飯(300食)</li> <li>食料制限等、災害時要配慮者に対する配慮</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>食料・物資の要請、受け入れ、管理</li> <li>物品の受け払い</li> </ul>							
⑤ 衛生救護班	10人	班長:楠木、班員:山岸団長ほか赤十字奉仕団員	10枚						
<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所内の清掃、整理整頓</li> <li>高齢者、障害のある人などへの介護支援</li> <li>負傷者への対応</li> <li>応急手当、トリアージ、医療機関への連絡</li> <li>ペット対策</li> <li>同行避難を呼び掛け、屋内の持ち込みは原則禁止</li> <li>ペット台帳、糞の始末、飼育用品の原則自助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>衛生管理・食中毒予防等</li> <li>避難者の感染症・健康管理</li> <li>手洗い、うがいの励行</li> </ul>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>本部長・副本部長</td> <td>3枚</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>2枚</td> </tr> <tr> <td>本部班</td> <td>1枚</td> </tr> </tbody> </table>	本部長・副本部長	3枚	事務局	2枚	本部班	1枚
本部長・副本部長	3枚								
事務局	2枚								
本部班	1枚								

ピプス: 50枚

#### ④ 防災委員会と年間スケジュール

##### 2019年度 新神田校下 防災委員 & 年間スケジュール (例)

町会等	防災委員氏名	①	I	②	③	II	④	⑤	III	⑥	
		5/8 (水) 防災委員会	5/23 (木) 防災士役員会 役割分担	6/19 (水) 防災委員会	7/10 (火) 防災委員会	8/8 (木) 防災士役員会	8/21 (水) AED & 防災対策委員会	8/25 (日) 本番訓練	1/17 (金) 防災士役員会	3/13 (金) 防災委員会 (最終)	
系田新	○	14各町会から1名の防災委員を選出 任期は3年 (中には防災士もいる)  2019年度は8月に金沢市の市民防災訓練があったため、 例年の10月に行う「まちなか訓練発表会」を中止した  通年の①～⑥の会議であったが、⑥の会議はコロナで中止								コ ロ ナ で 中 止	
系田	○										
新神田南	○										
新神田	○										
本江(防災士)	○										
本江第2	○										
入江	○										
入江1中	○										
東入江	○										
玉銚1	○										
玉銚親交会	○										
けやき台	○										
ガーデンパルク	○										
自治会	○										
赤十字 奉仕団委員長	○	各組織の長もメンバーとして参加している									
母親クラブ 会長	○										
民生児童委員 会長	○										
社会福祉協議会 会長	○										
米丸消防分団	○○	地元、米丸消防分団の皆様にも 計画段階から参加して頂いている									
防災委員長 (防災士)	○	元公民館長	防災委員会には、コミュニティ防災士も参加  防災委員会の前には必ず、 防災士役員会をして意思統一している  計28名								
防災副委員長 (防災士)	○	町連副会長									
事務司次長 (防災士)	○	公民館長									
	○	少連委員長									
	○	民生委員									
	○	公民館副館長									
○	元育友会長										
防災対策会長 (防災士)	○	町連会長									

注：令和2年度は ①4/15 : 書面による防災委員会 ②7/31 : 1000年が「ド・マップ」説明会  
 ③10/21 : 地区防災計画書案 役員会 ④11/26 : 地区防災計画お披露目委員会



## ⑤ 一時避難場所と指定避難所

### ・一時(いっとき)避難(集合)場所

ブロック	町会名	一時避難場所
1	入江	入江町会館
	玉鉾一	杉本運輸前
	玉鉾親交会	杉本運輸前
2	入江一中	入江町児童公園
	東入江	東入江会館
3	本江	本江町会館
	本江第二	本江町小公園
	けやき台	三角公園
	自治会	団地集会所
	がーテンパレス	1階フロント前
4	新神田	新神田第4児童公園
	新神田南	神田交通公園
5	糸田	糸田第1児童公園
	糸田新	糸田新町会館

### ・指定避難所

新神田校下には、指定避難所は3カ所ある。

新神田小学校(拠点避難所)  
高岡中学校  
新神田公民館

それぞれ長所・短所があるので、常日頃の防災委員会の中でワークショップをしながら啓発している。

**MAX 避難所のワークショップ質問票①**

①新神田校下の指定避難場所を考えます。

- ・新神田小学校の体育館は2階にあり、衛星電話も設置してあります。1階のピロティでは救援物資の配布が出来ますが、高齢者は2階へ行くことが出来ますか。仮設トイレを2階に設置出来ますか。
- ・高岡中学校は1階に体育館があります。高齢者を含めた避難は連当と思いますが、何時もの小学校の訓練場所と違います。
- ・公民館を含めてどのような使い方をしたら良いですか？

Aグループ



・最近では、コロナ感染が流行しているため、分散型避難の考え方が大事となっている。

・3カ所のほかには北陸電力体育館なども視野に入れ、協議・調整しながら周知して行く必要がある。

用語説明 避難場所：地震など地域全体が危険になったとき一時的に避難する場所。大規模な公園や緑地などが指定。  
一時(いっとき)避難(集合)場所：近隣の人が一時的に集合する場所。  
指定避難所：地震などにより被害を受けた方などが一定期間避難生活をする場所。小中学校や公民館。

## (2) 平常時の活動

当地区には、新神田校下防災対策委員会「以下（防災会）という。」を置き、自主防災活動に必要な事項を定めている。

### ① 防災計画の内容

- ・ 防災会の組織および役割分担に関すること
- ・ 防災知識の普及に関すること
- ・ 災害の種別ごとに、各町会の防災委員を中心に「まちなか訓練」での図上訓練などを行い危険の把握に関すること
- ・ 避難行動要支援者の安否確認の充実
- ・ 防災委員の防災士資格取得などを含む活性化および支援
- ・ 自主防災訓練に関すること
- ・ 情報収集、安否確認、伝達（広報）に関すること
- ・ 避難に関すること
- ・ 出火防止に関すること
- ・ 救護に関すること
- ・ 給食給水（炊き出し）に関すること
- ・ 災害時要支援者に関すること
- ・ 災害ボランティアに関すること
- ・ 防災資機材等の備蓄および管理に関すること
- ・ 他組織との連携に関すること

防災出前講座



### ② 防災知識の普及・啓発

住民の防災意識を高揚するため、次により防災知識の普及啓発を行う。

- ・ 防災知識および防災計画に関すること
- ・ 地震、火災、風水害、雪害等についての知識に関すること
- ・ 各家庭における防災上の留意事項に関すること
- ・ 地震発災後72時間(助かる命の限界)における活動の重要性に関すること
- ・ 食糧等を3日分確保することの重要性に関すること
- ・ その他 防災・減災に関すること。
- ・ 広報誌、パンフレット、リーフレット、ポスター、ホームページでの啓発
- ・ 子どもを育む会、講演会、研修会などでの啓発
- ・ 防災訓練時のパネルなどの展示

### ③ 避難行動要支援者名簿の活用



今年度は、新型コロナ感染が蔓延したため、6月末の防災訓練は中止とした。

しかし、金沢市が作成したガイドブックにより、「まちなか訓練」の中で、要支援者の安否確認訓練を3密を避けながら実施する予定である。




#### 防災避難支援マップの作成

避難支援等関係者の間で話し合い、避難行動要支援者などの対象者を、支援区分別に色分けして表示します。

#### 支援区分（例）

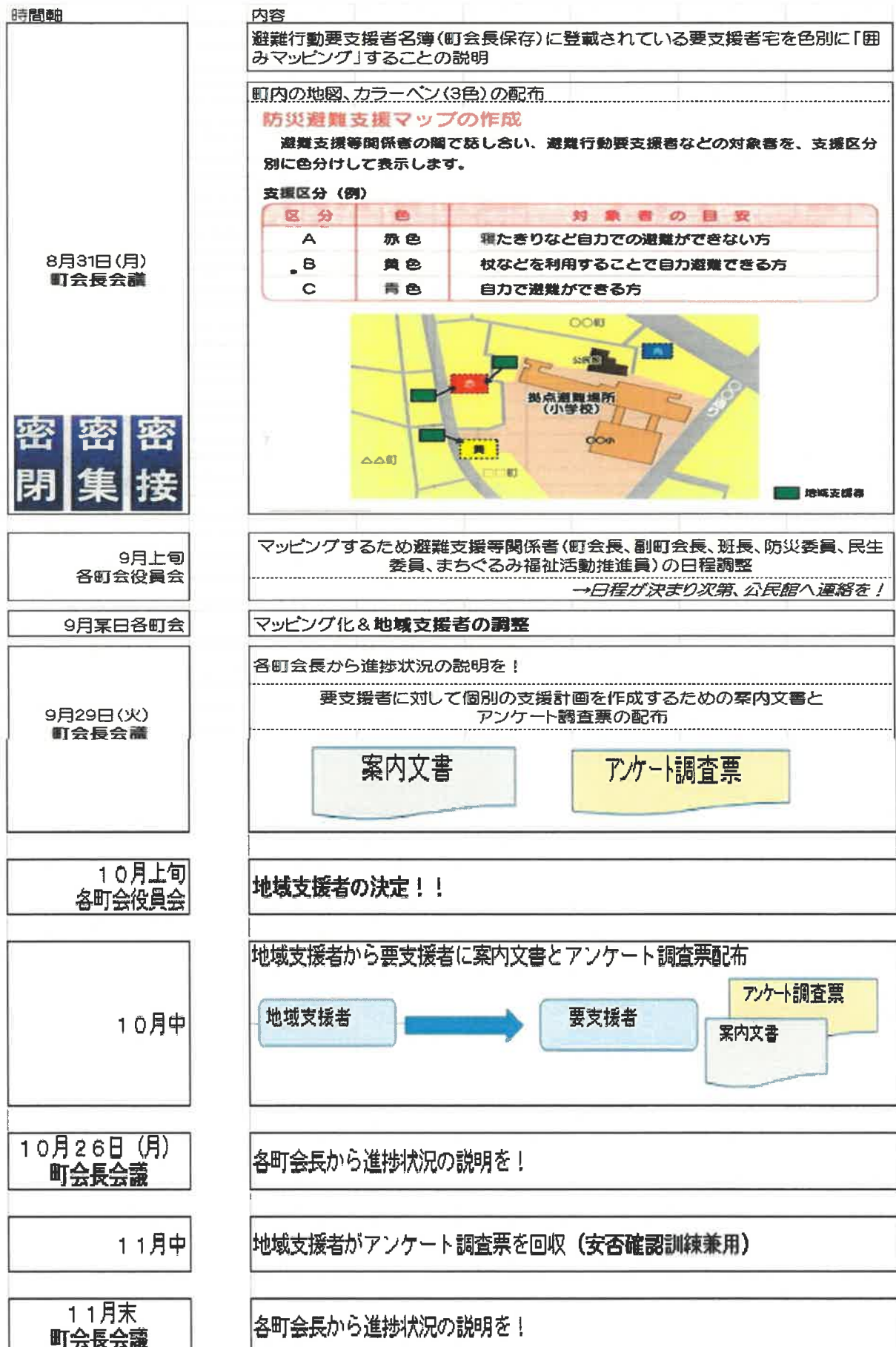
区分	色	対象者の目安
A	赤色	寝たきりなど自力での避難ができない方
B	黄色	杖などを利用することで自力避難できる方
C	青色	自力で避難ができる方



33頁参照  
 地域支援者

## ④ 令和2年度 要支援者・支援活動の流れ（新規）

### ・活動のフロー



令和2年10月26日

新神田校下の  
避難行動要支援者の皆様へ

新神田校下防災対策委員会  
会長 浅野 正

**避難行動要支援者名簿に登載された皆様の支援について  
(取り組み開始のお知らせ)**

金沢市では、「避難行動要支援者名簿」を活用し、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指しています。

今年度新神田校下では、名簿に登載された皆様、一人ひとりに合った個別の避難支援計画を作成することになりました。

しかし、コロナ感染が終息しない中での調査。3密を避けるため最小限の調査しか出来ません。

今回は、この「取り組み開始案内文書」と「アンケート調査票」を事前にお配りしますので、後日、**地域支援者**が回収に伺います。

よろしく、この趣旨をご理解の上、ご記入をお願い致します。

11 月 日( ) 時ごろ 回収に伺います。

**\* 地域支援者とは**

避難支援等関係者(町会長、副町会長、班長、防災委員、民生委員、まちぐるみ福祉活動推進員など)に、いざとなった場合の向こう三軒両隣の近隣の住民も含まれます。

お聞きした内容は、秘密保持を徹底し、災害時の支援や平常時の見守り活動以外に利用することはありません。！！

・要支援者からのアンケート

回収後→個別避難支援計画(避難行動要支援者台帳)作成！！

令和2年度 新神田校下

避難行動要支援者・アンケート調査票

令和2年11月実施

新神田校下防災対策委員会

《本人事項》

フリガナ				男・女
氏名				
住所	金沢市	生年月日	大正 昭和 平成	年 月 日
固定電話	— —	Fax	— —	
携帯電話	— —			
世帯状況 (いずれかに○)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひとり暮らしの高齢者</li> <li>・ 高齢者のみ世帯</li> <li>・ その他( )</li> <li>・ 寝たきり高齢者</li> <li>・ 障害のある方</li> </ul>			
支援区分 (いずれかに○)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寝たきりなので自力で避難ができない方</li> <li>・ 杖などを利用することで自力避難できる方</li> <li>・ 自力で避難できる方</li> <li>・ その他特記事項 ( )</li> </ul>			

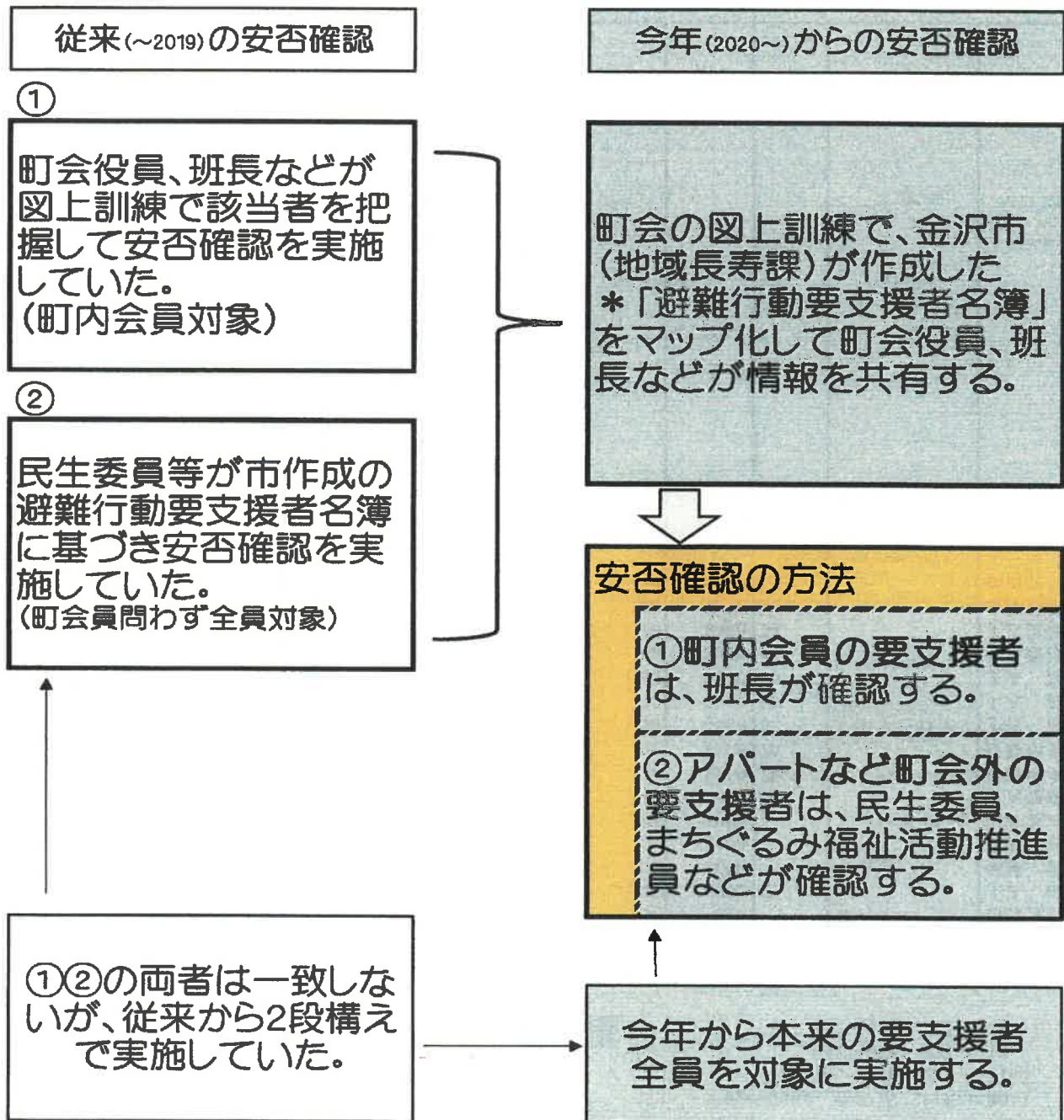
《緊急時の家族などの連絡先》

①	氏名	続柄	固定電話
	住所		携帯電話
②	氏名	続柄	固定電話
	住所		携帯電話
③	かかりつけ医	病院名など	連絡先Tel
④	通所先など(頻度)		連絡先
	記入例:○○デｲﾀｰﾋﾞｽ (週2回 月・水など)		(通所先、○○ケアマネｼﾞﾀﾞｰなど)
	通所先		Tel
	頻度		— —

⑤ 要支援者安否確認

2.4.15

新神田校下「まちなか訓練」における  
 金沢市作成の「避難行動要支援者名簿」による  
 安否確認の実施 (新規)



\*「避難行動要支援者名簿」の対象は、高齢者や障害者、要介護3以上の認定を受けている人、自分から支援が必要と申し出た人で、金沢市条例で裏付けたもの。

\* 安否確認は、「玄関まで避難」とする。

\*「高知県黒潮町浜町地区」「岩手県大槌町渡地区」の玄関先までの日本一短い避難訓練の例を参考にす  
 る。

# ⑥ 令和2年度防災訓練・概要（コロナのため中止）

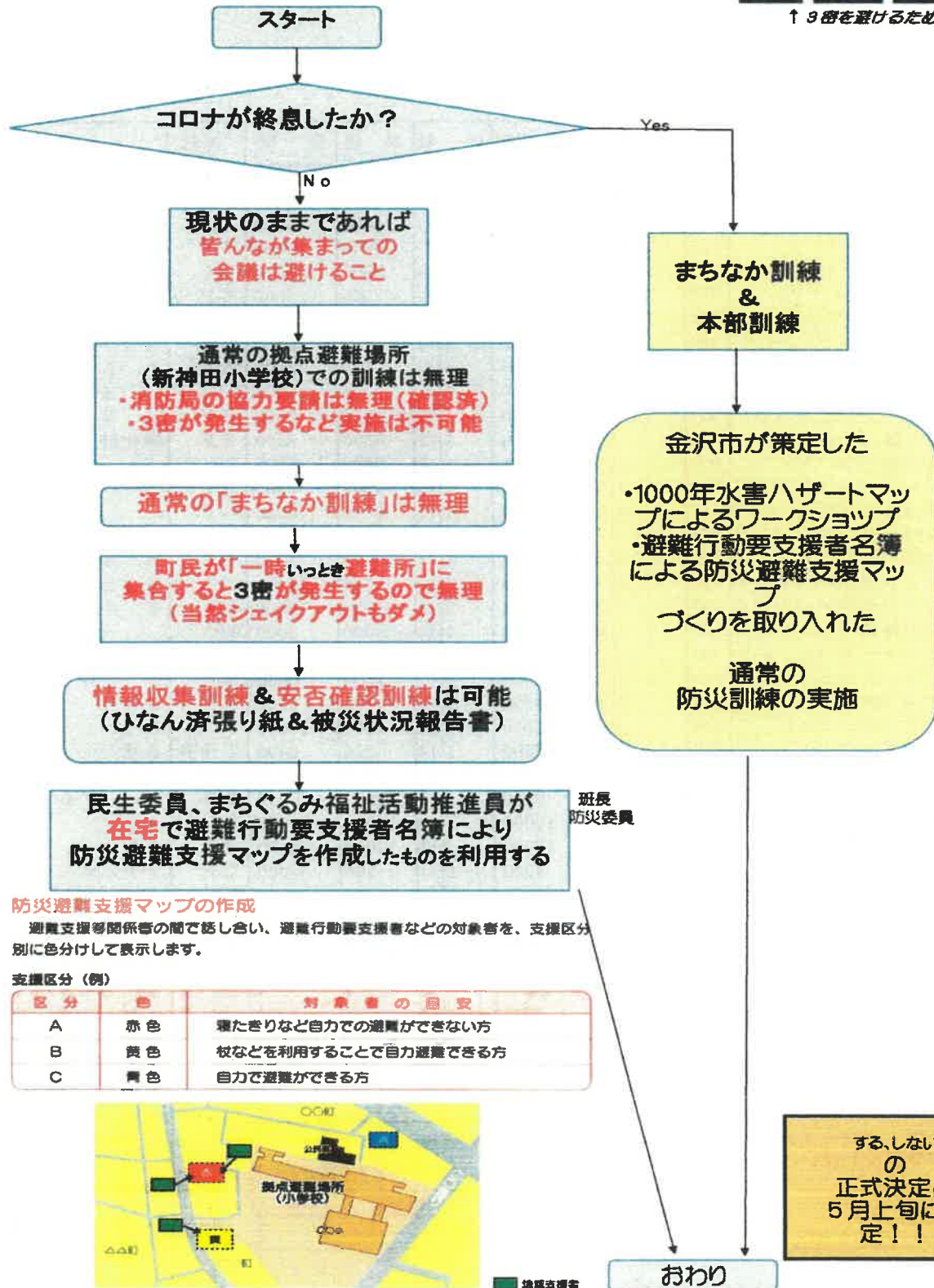
令和2年度 新神田校下市民防災訓練の押さえ

20. 4. 15

外部要因 : コロナによる先が見えない状況  
 金沢市策定 : 1000年に一度の水害ハザードマップ  
 // : 避難行動要支援者名簿活用ガイドブック

**密閉 密集 密接**

↑ 3密を避けるために



### 防災避難支援マップの作成

避難支援等関係者間で話し合い、避難行動要支援者などの対象者を、支援区分別に色分けして表示します。

支援区分 (例)

区分	色	対象者の目安
A	赤色	寝たきりなど自力での避難ができない方
B	黄色	杖などを利用することで自力避難できる方
C	青色	自力で避難ができる方

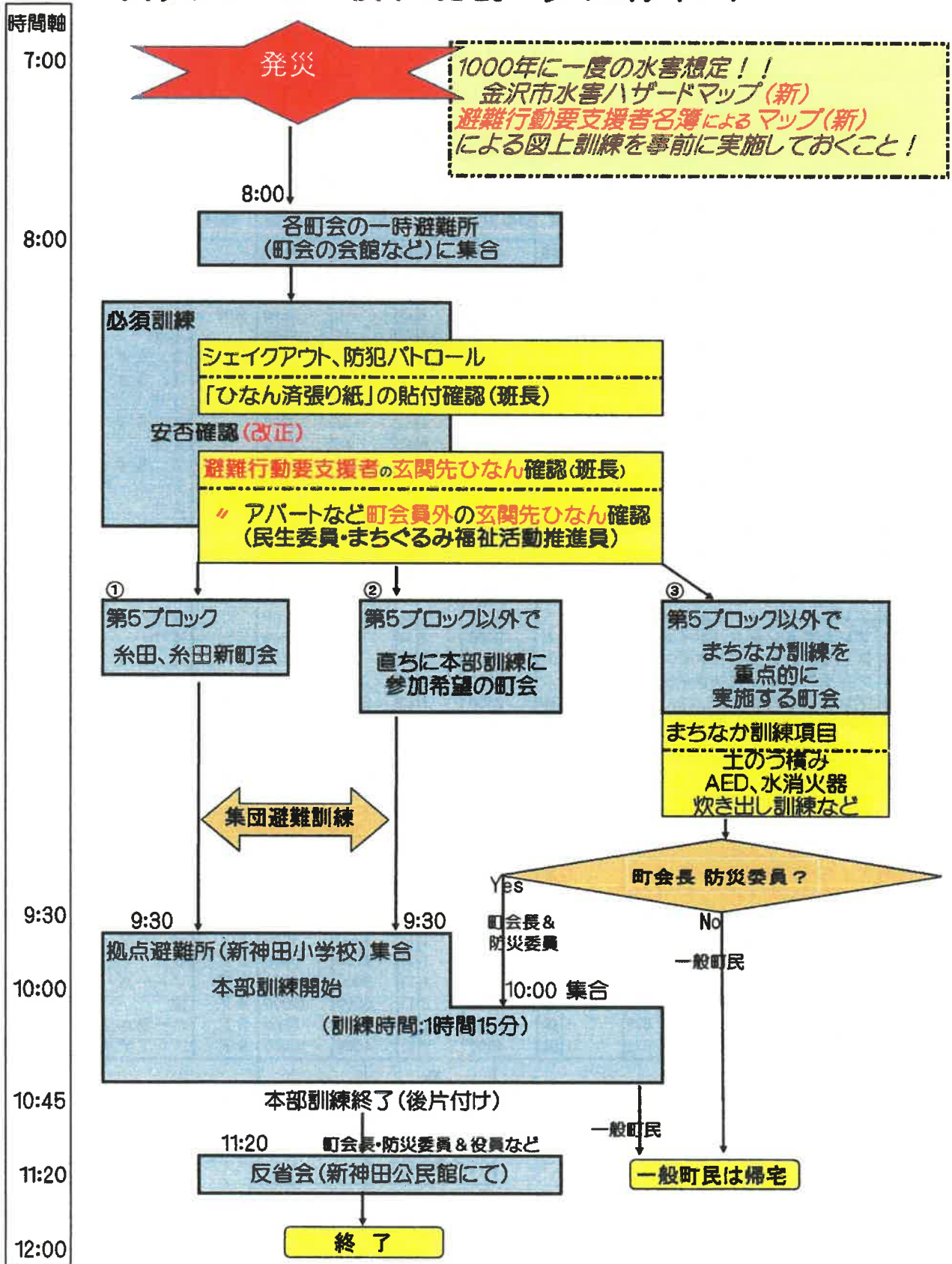


する、しない  
の  
正式決定は  
5月上旬に決  
定!!



⑦ 令和2年度防災訓練・実施明細（コロナのため中止）

令和2年6月28日(日)第24回 新神田校下市民防災訓練 通常分  
スケジュール 校下3分割 タイムチャート



⑧ 被災状況報告書（班長用）

2020年度 新神田校下 市民防災訓練

# 被災状況報告書（班長用）

～町会加入者調査表～

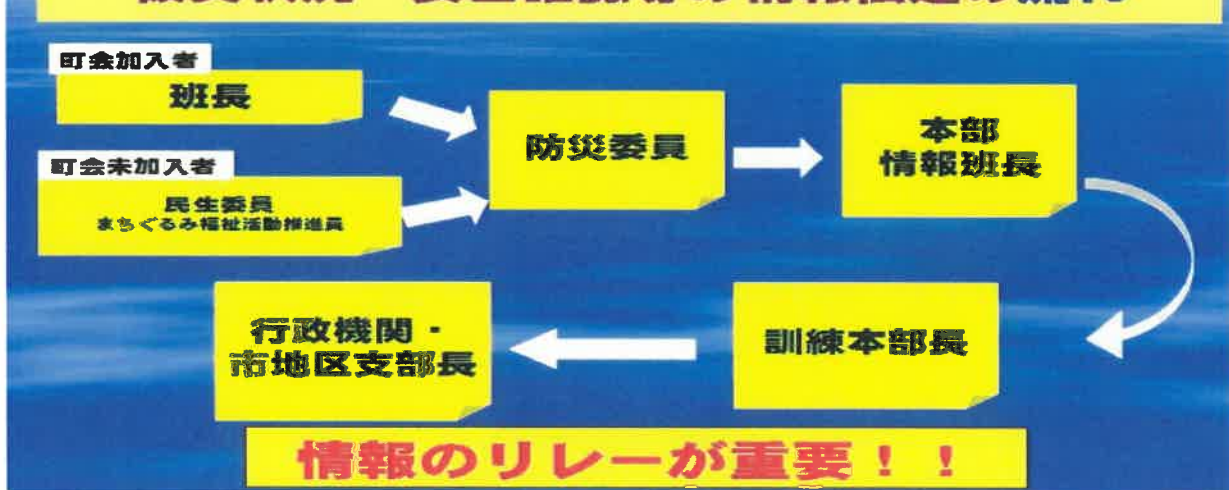
想定日時	2020年6月28日(日) :午前6時50分発災	災害想定 : 1000年に一度の水害 (犀川、伏見川決壊)発生
通報地域	町会 班	通報責任者(班長)

被災状況の報告

・避難行動要 支援者の状況 (町会加入者)	事前に登録(申請)の あった要支援者の世帯 世帯	そのうち「玄関先ひなん」 を確認した世帯 世帯	未確認世帯 世帯
「ひなん済」 張り紙の確認	貼付した世帯(参加世帯) 世帯	非貼付世帯 世帯	計 世帯
・負傷者	軽傷 人	重傷 人	病院搬送 人
・道路の状況	道路亀裂・陥没 車通行不能 箇所	水道管破裂・水浸し 箇所	
・家屋の状況	建物全壊 戸	建物一部損壊 戸	
・停電の状況	あり 戸	あり 戸	町会全世帯

・その他:橋、北陸線、河川の被害状況 避難場所の報告など適宜記入します。

## 被災状況・安否確認等の情報伝達の流れ



**情報のリレーが重要！！**

⑨ 被災状況報告書（民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員用）

2020年度 新神田校下 市民防災訓練

被災状況報告書

民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員用

～町会未加入者調査表～

想定日時	2020年6月28日(日) ：午前6時50分発災	災害想定：1000年に一度の水害（犀川、 伏見川決壊）発生
通報地域	町会	通報責任者（民生委員及びまちぐるみ福祉活動推進員） 名前：

避難状況の報告

・避難行動要 支援者の状況 (町会未加入者)	事前に登録（申請）の あった要支援者の世帯 世帯	そのうち「玄関先ひなん」 を確認した世帯 世帯	未確認世帯 世帯
------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	-------------

この書類の流れ

\* 民生委員、まちぐるみ福祉活動推進員は、発災後直ちに、自分の町会未加入者で、事前に登録・申請のあるアパートなどに住んでいる方を見回って被災状況を把握します。

\* とくに、今年から避難行動要支援者の安否確認として、玄関先まで出て貰う「玄関先ひなん」を行い、顔を見て確認します。

\* 防災委員は、民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員からのこの用紙を貰い、防災委員用にまとめて本部の情報班長に報告します。

\* 本部の情報収集&図上訓練班は、それを図面に落とします。

⑩ 被災状況報告書（防災委員用）

2020年度 新神田校下 市民防災訓練

**被災状況報告書（防災委員用）** 民生委員等含む

被災状況の報告

想定日時	2020年6月28日(日) 午前6時50分発生	災害想定：1000年に一度の水害発生				
通報地域	町会	訓練	男	女	子ども	合計
通報責任者		参加				
		人数				

被災状況の報告

・避難行動要 支援者の状況 (合計)	事前に登録（申請）の あった要支援者の世帯 世帯	そのうち「玄関先ひなん」 を確認した世帯 世帯	未確認世帯 世帯
「ひなん済」 張り紙の確認	貼付した世帯（参加世帯） 世帯	非貼付世帯 世帯	計 世帯
・負傷者	軽傷 人	重傷 人	病院搬送 人
・道路の状況	道路亀裂・陥没 車通行不能 箇所	水道管破裂・水浸し 箇所	
・家屋の状況	建物全壊 戸	建物一部損壊 戸	
・停電の状況	あり 戸	あり 町会全世帯	
・その他：橋、北陸線、河川の被害状況 避難場所の報告など			
* 防災委員は、各班長、民生委員・まちぐるみ福祉活動推進委員から調査表を貰い、 この防災委員用にまとめ、これを本部の情報班長に報告します。 * 本部の情報収集&図上訓練班は、それを掲示&図面に落とします。			

① 本部情報収集実績表

令和元年度 新神田校下・市民防災訓練		令和元年8月25日実施																													
図上訓練、安否・ひなん済張り紙確認 & 本部情報収集 実績表(区舎会用)		当日 新神田校下・市民防災訓練																													
ア 町	事前図上訓練日	本部訓練参加人数				民生委員が把握している 保護者の状況				図上訓練で把握した 要配慮者の状況				「ひなん済」張り紙の確認																	
		町会 世帯 数	本部 参加 人数	リョク 着 人数	割合	災害 発生 時 に 居 た 世 帯 数	うち 災害 発生 時 に 居 た 世 帯 数	うち 災害 発生 時 に 居 た 世 帯 数	うち 災害 発生 時 に 居 た 世 帯 数	未 保 護 者 数	保 護 者 確 認 率 (%)	29年 度	30年 度	元年 度	安否確認率 (%)	29年 度	30年 度	元年 度	配布 世帯 数	町会 世帯 数に 対し た割合	貼付 した 世帯 数	未 貼付 世帯 数	24年 度	25年 度	26年 度	27年 度	28年 度	29年 度	30年 度	元年 度	
入江	8/18	136	20	35	34	38	13	13	0	38%	100%	100%	100%	18	18	18	100%	88%	100%	135	99%	79	56	72%	78%	70%	68%	65%	76%	75%	59%
1 玉鉾1	7/6	133	20	28	28	22	5	4	1	75%	100%	80%	0%	3	0	0	0%	0%	0%	133	100%	110	23	65%	70%	67%	57%	53%	68%	67%	85%
玉鉾線交差	6/18	120	15	22	22	28	7	6	1	100%	100%	86%	7	7	7	100%	100%	100%	88	73%	71	17	72%	77%	71%	77%	88%	91%	81%	81%	
2 入江中	6/7	118	15	25	25	23	5	5	0	71%	100%	100%	5	5	5	100%	100%	100%	111	94%	75	36	74%	69%	66%	53%	70%	86%	83%	68%	
東入江	6/30	200	30	43	31	73	23	19	4	44%	81%	83%	2	2	2	100%	100%	100%	193	97%	137	56	58%	60%	64%	56%	62%	62%	76%	71%	
本江	5/12	130	45	53	43	48	6	6	0	100%	100%	100%	22	22	22	100%	100%	100%	130	100%	129	1	82%	73%	75%	66%	79%	93%	96%	99%	
本江第2	7/21	30	5	10	10	14	4	4	0	100%	100%	100%	4	4	4	83%	###	100%	25	83%	20	5	95%	90%	90%	75%	75%	83%	67%	80%	
3 げやき台	7/4	57	5	8	8	17	7	7	2	78%	100%	78%	8	6	6	61%	100%	75%	54	95%	29	25	53%	55%	45%	28%	52%	62%	63%	54%	
自治会		135	10	15	15	21	33	15	7	38%	50%	78%	0	0	0	100%	###	###	0	0%	0	0	80%	53%	56%	46%	59%	89%	50%	###	
4 新神田	4/13	65	10	14	14	25	19	3	3	100%	100%	100%	3	3	3	100%	100%	100%	63	97%	49	14	67%	27%	55%	66%	65%	66%	70%	78%	
新神田	8/21	250	35	42	34	30	37	41	11	68%	71%	56%	25	25	25	68%	71%	0%	56	22%	28	28	78%	56%	55%	53%	49%	53%	53%	50%	
新神田南	6/11	160	25	39	28	34	40	7	3	60%	63%	43%	5	3	3	78%	80%	60%	160	100%	55	105	67%	56%	50%	41%	46%	42%	53%	34%	
糸田	6/2	290	35	35	28	41	40	44	18	47%	61%	28%	22	5	5	72%	61%	23%	290	100%	135	155	55%	50%	58%	40%	45%	39%	48%	47%	
5 糸田新	6/2	237	30	30	25	37	31	41	15	68%	44%	67%	20	13	13	33%	33%	65%	231	97%	137	94	55%	54%	70%	58%	62%	58%	59%	59%	
外国人				14	13	8	21	46		初回リョク着用率																					
学生				15	15	0	12	0		85%																					
地区外など				20	9	20	19	0																							
合計		2061	300	448	382	581	673	492	149	107	43	61%	79%	72%	144	88	76%	70%	1669	81%	1054	615	68%	60%	62%	54%	59%	64%	64%	63%	

注：初実施：リョク着用率85%、 ひなん済張り紙60%前半推移 今後のてこ入れ必要

⑫ かなざわ災害時等協力事業所

金沢市防災マップ 新神田校下編  
かなざわ災害時等協力事業所一覧

30.3.13

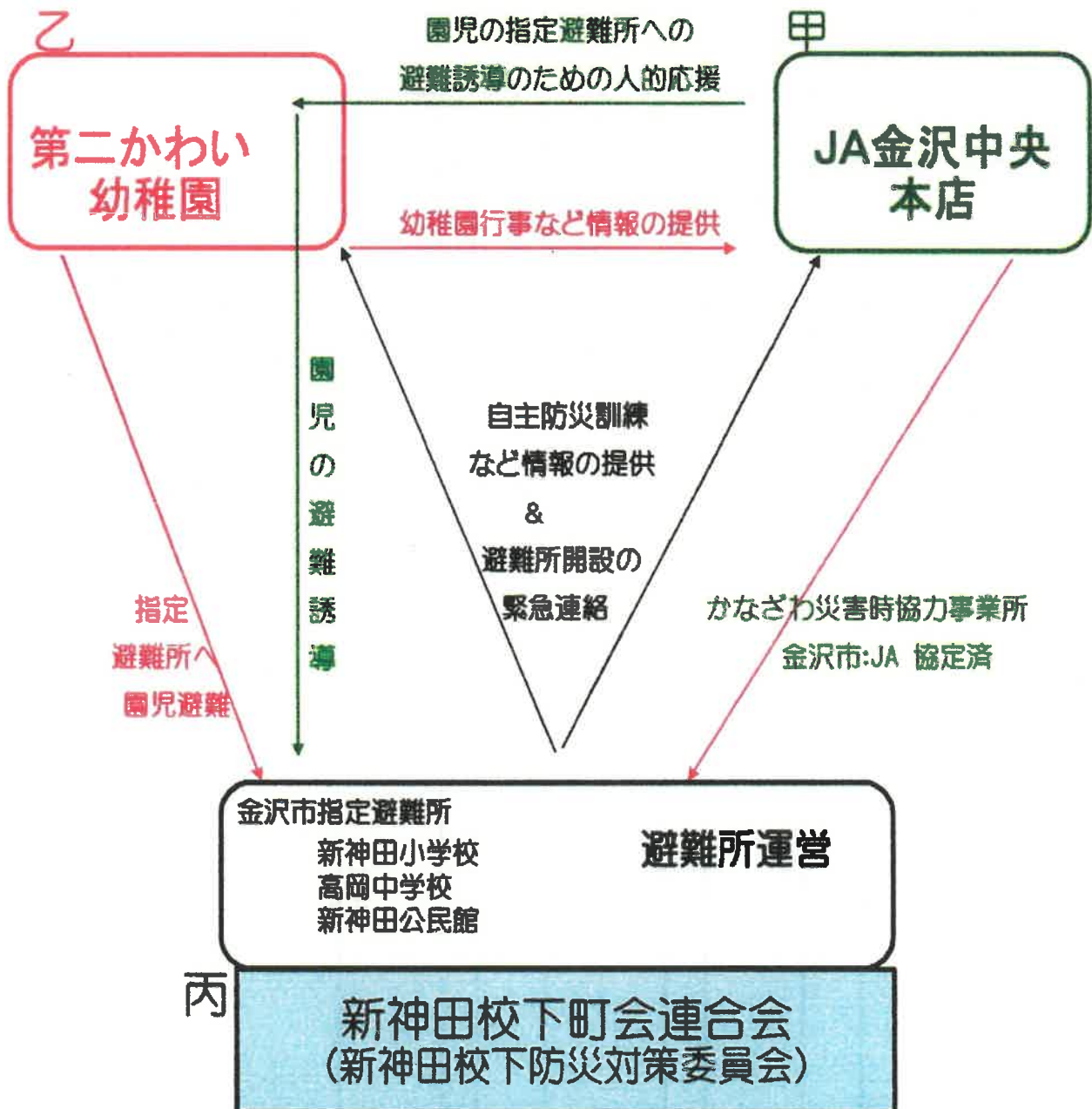
町	防災施設		名称	所在地	情報 & 支援内容
	マーク	種別名			
入江		災害時協力事業所	高田建設株式会社	金沢市入江 2丁目170番地  291-0920	人材協力 (救助・救出等の現場に関する活動)、 (作業員/2人派遣可) 資機材等に関する支援 (災害対応活動に必要な資材の提供) (資材/ブルーシート30枚、土のう袋300枚、資材運搬車両/軽トラ2台、資材仮置き施設/100坪(上安原町地内))
玉1		救護病院	安田内科病院	金沢市大豆田本町 862 291-2911	内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、リハビリテーション科 応急措置的応援(医薬品の提供、ケガの受け入れ)
東入江		災害時協力事業所	金沢中央農業協同組合本店	金沢市入江 1丁目1番地  291-5000	人材協力(避難所の運営活動2名)
新神田		未登録	北陸銀行新神田支店	金沢市新神田 1丁目9-22 291-3451	AED講習など定期的に実施
新神田南		災害時協力事業所	西日本電信電話株式会社金沢支店 入江交換所  連絡不要	金沢市新神田 5丁目61  災害時のみ 291-3451	避難所施設協力 (避難所運営要員として自治体等の求める人員数に最大限応え派遣) 資機材等支援 (避難場所等への臨時電話の設置)
新神田南		災害時協力事業所	株式会社北國銀行 金沢西部支店	金沢市新神田 5丁目3  291-1991	物品協力 (サビ入品提供) その他支援 (情報の収集と提供)
新神田南		災害時協力事業所	金沢中央農業協同組合米丸支店	金沢市新神田 5丁目26  291-2215	人材協力(避難所の運営活動1名) 物品協力(食料品/米60kg、日用品/ 軍手・タコ・ティシュー(在庫品)) 避難所施設協力(仮設トイレの置場の設置(駐車場))
新神田南		未登録	伊藤忠エネクス・ホームライフ 中部北陸支店	金沢市新神田 4丁目5-31  291-1011	新神田南町会と防災協定締結済 防災グッズの提供等炊き出し訓練、 その他太陽光発電など
糸田新		災害時協力事業所	中川瓦商店	糸田新町 11-12  241-2441	人材協力 (屋根応急処置活動(シート張り等・人派遣可)) 資機材等に関する支援 (トラック1台) 協力可能な時間帯: 9時~17時
糸田新		災害時協力事業所	株式会社大地電業所	金沢市糸田新町 3番10号  242-2458	避難所施設協力 (避難所となる施設の提供、駐車場の貸与 (10数台分)) 資材等支援協力 (建設重機の支援 高所作業車2台 作業員2人派遣可)
本江		救護病院	加藤整形外科	金沢市本江町3 番18号 291-2777	応急措置的応援

⑬ 災害時協力協定3者締結 (例)

JA金沢中央・第二かわい幼稚園・新神田校下町会連合会の「災害時における相互支援に関する協定書」の締結について

平成30年5月7日

～ 概念図 ～



(注) 金沢市指定避難所の開設は金沢市ですが、避難者が地元住民であるため、地元の自治組織が避難所を運営することになります。

⑭ 自主防災倉庫資機材

新神田校下 自主防災倉庫資機材

内 訳

場所 糸田、新神田南、入江、入江1中、新神田小

点検月日

年

月

日

項目	内 容	個数	点 検
情報連絡用	ハンドマイクTR-920	1個	
	ハンドマイクTR-210	1個	
	携帯ラジオ	1個	
	ヘルメット	8個	
初期消火用	消火器10型	2本	
	防火バケツ	3個	
	とび口(6尺)	2本	
水防用	ツルハシ	2本	
	剣先スコップ	3本	
	トラロープ 12mm x 100m	1個	
	掛矢130φ	3個	
	くい(10本)	1組	
救出活動用	万能斧RCバール(大)530x210mm	2個	
	2連はしご	1個	
	のこぎり	2個	
	なた(ケース入り)180mm	2個	
	オイルジャッキ 6t	1個	
	ペンチ	2個	
	ハンマー(10ポンド)	2個	
救護用	担架(2つ折り)	2個	
	救急医療セット(20人用)	1個	
	毛布	3個	
	防水シート 3.6mx5.4m	2個	
	腕草	8個	
避難用	強カライト YBIO20 電池付き	5個	
	標旗(柄3m・旗1.5m)	1組	
	メガホン	10個	
	警笛	10個	
給食給水用	防災用かまどセット	1個	
	固形燃料(5kg)	1個	

\*点検して、物があれば○印 無ければその無い個数を記入する。

注：新神田校下に5カ所の防災倉庫を設置している。内容は、30数年変えていないので、今回のコロナ感染対策もあり、防災資機材を早急に見直す予定である。



## ⑮ 新神田校下指定避難所の防災備品一覧

### ★新神田小学校

西階段下倉庫	Wi-Fi災害時公衆電話	1	台
	組み立て式簡易トイレ	10	台
	対流式ストーブ	4	台
	給水タンク	1	台
	日用品セット	20	セット
	ブルーシート	10	枚
	携帯ラジオ	1	台
	携帯コンロ・カセットボンベ式	1	台
	発電機・カセットボンベ式	1	本
	カセットボンベ	9	本
	移動式炊飯器B・大なべ製100	1	台
体育館倉庫	毛布	200	枚

### ★高岡中学校

防災倉庫	組み立て式簡易トイレ	10	台
	対流式ストーブ	4	台
	毛布	200	枚
	日用品セット	50	セット
	ブルーシート	10	枚
	携帯ラジオ	1	台
	携帯コンロ・カセットボンベ式	1	台
	発電機・カセットボンベ式	1	本
	カセットボンベ	9	本
	移動式炊飯器B・大なべ製100	1	台

### ★新神田公民館

憩いの間の押入	組み立て式簡易トイレ	5	台
	毛布	20	枚
	日用品セット	10	セット
	携帯ラジオ	1	台

### 日用品セットの内容

#### 日用品セット

品目	個数	品目	個数
1 タオル	4本	14 カミソリ	1個
2 コップ	1組	15 歯みがき	1個
3 ポケットティッシュ	1組	16 歯ブラシ	1組
4 洗剤	1組	17 石鹸	1個
5 物干しロープ	1個	18 毛抜	1本
6 洗濯バサミ	1組	19 サバイバルツール	1個
7 裁縫セット	1組	20 スプーンフォークセット	1組
8 救急絆創膏	1組	21 ゴム手袋	1双
9 巻軸包帯	1個	22 軍手	1双
10 ガーゼ	2枚	23 ゴミ袋	1組
11 生理用品	1組	24 ボールペン	1本
12 鏡	1個	25 メモ用紙	1冊
13 櫛	1本	26 天チャックポーチ	1枚
収納箱 (セーフティボックス)	1個		

- ・ 1年に一度、上記の防災備品を金沢市の地区支部員とともに確認している。
- ・ 日用品セットの内、生理用品、歯磨きが経年劣化してる場合の補充責任者、検討を要する。

⑩ 非常持ち出し品チェックリスト

	品目	備考
一般的な持ち出し品	非常用持ち出し袋	<input type="checkbox"/>
	飲料水	<input type="checkbox"/> 熱中症対策として多めに用意
	食糧	<input type="checkbox"/> 乾パン、缶詰、インスタント食品、調味料等
	現金	<input type="checkbox"/>
	キャッシュカード、通帳、印鑑	<input type="checkbox"/>
	健康保険証	<input type="checkbox"/>
	懐中電灯	<input type="checkbox"/>
	ラジオ	<input type="checkbox"/>
	電池	<input type="checkbox"/>
	毛布	<input type="checkbox"/>
	洗面用具	<input type="checkbox"/>
	調理器具	<input type="checkbox"/>
	食器	<input type="checkbox"/> 割り箸、紙皿、紙コップ等
	衣類	<input type="checkbox"/> 下着、靴下、上着、防寒着等
	軍手	<input type="checkbox"/>
	応急医薬品	<input type="checkbox"/> 絆創膏、ガーゼ、包帯、消毒液等
	常備薬、お薬手帳	<input type="checkbox"/>
簡易トイレ	<input type="checkbox"/>	
感染予防のための物資	マスク	<input type="checkbox"/>
	体温計	<input type="checkbox"/>
	アルコール消毒液	<input type="checkbox"/>
	ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/>
	ペーパータオル	<input type="checkbox"/>
	石鹸	<input type="checkbox"/>
	手拭きタオル・ハンカチ	<input type="checkbox"/>
	オーラルケア用品 (うがい薬等)	<input type="checkbox"/>

※避難所にマスクや消毒液、体温計があるとは限りません

※いつでも持ち出せるようにしておきましょう

注： 備蓄には「ローリングストック」という考え方がある。普段から、レトルト食品などを多めに買っておき、食べたなら追加する方法。こうすれば、常に相当な量が備蓄出来ていることになる。置き場所は、玄関や納戸などに分散して保管することが望ましい。

# ⑰ A E D 設 置 状 況

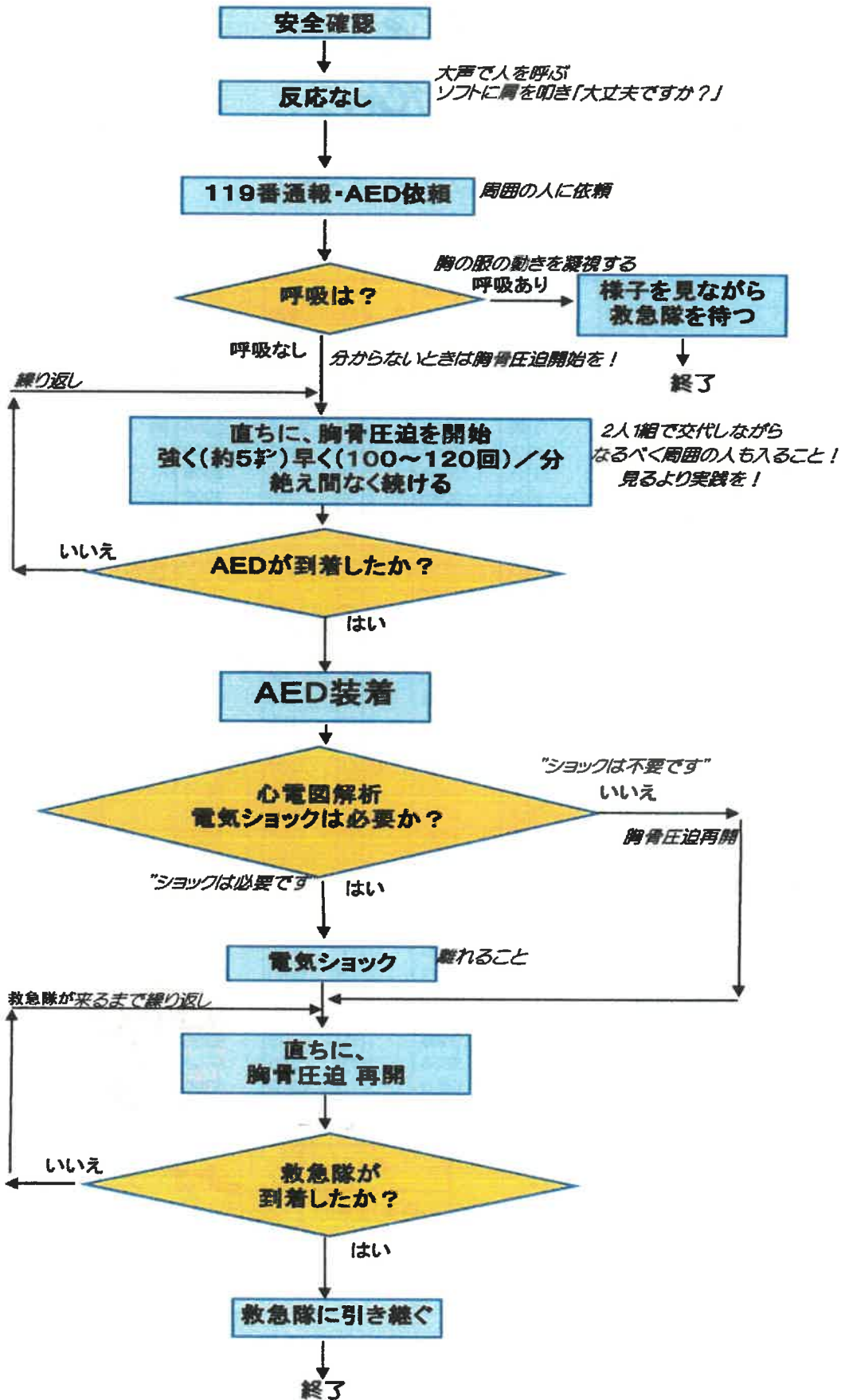
平成30年6月24日 聞き取り



⑱ AED操作手順

AED操作流れ図

新神田校下 01.8.21  
BY:Hata

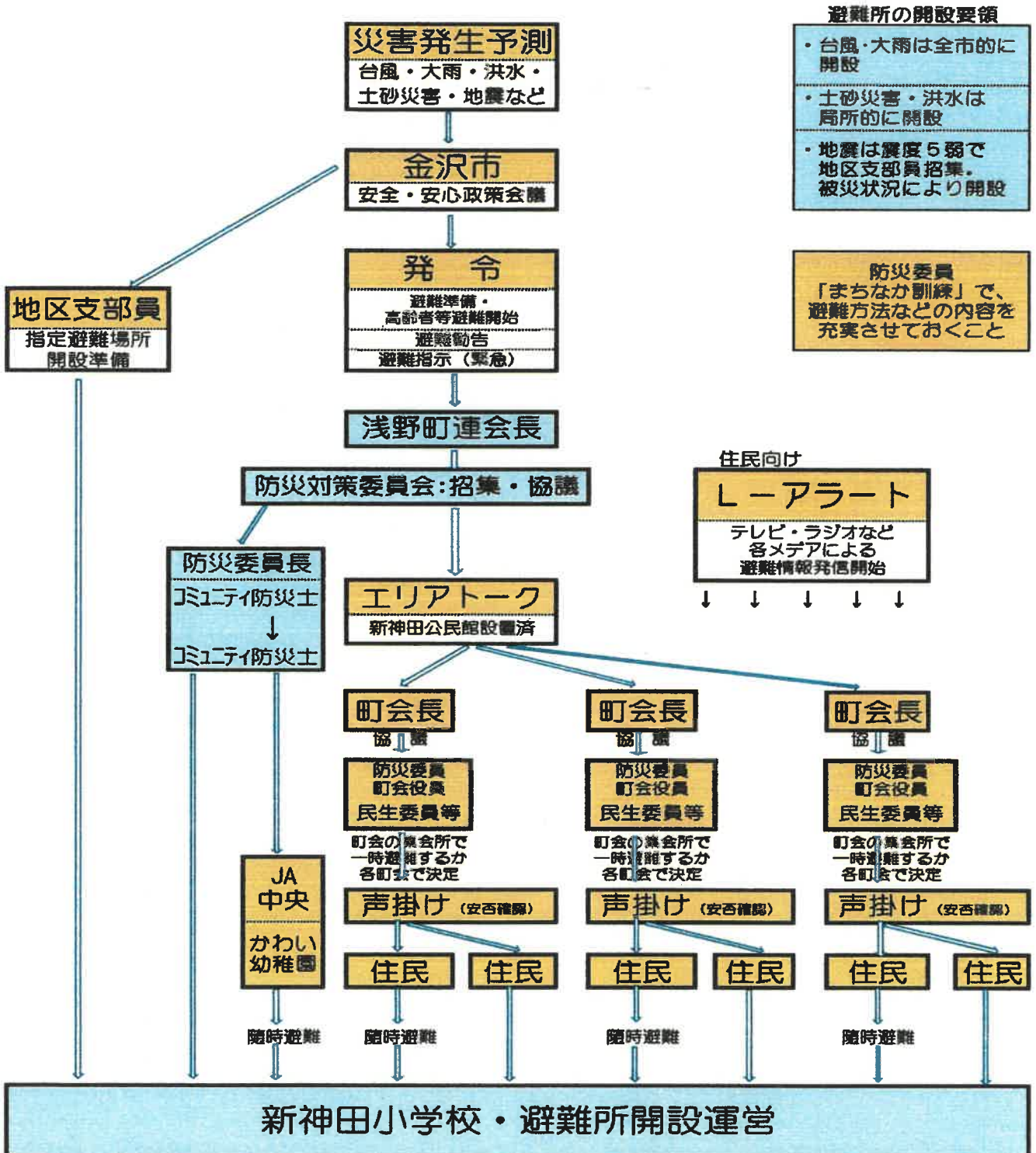


### (3) 発災直前の活動

#### ① 防災役員の動き

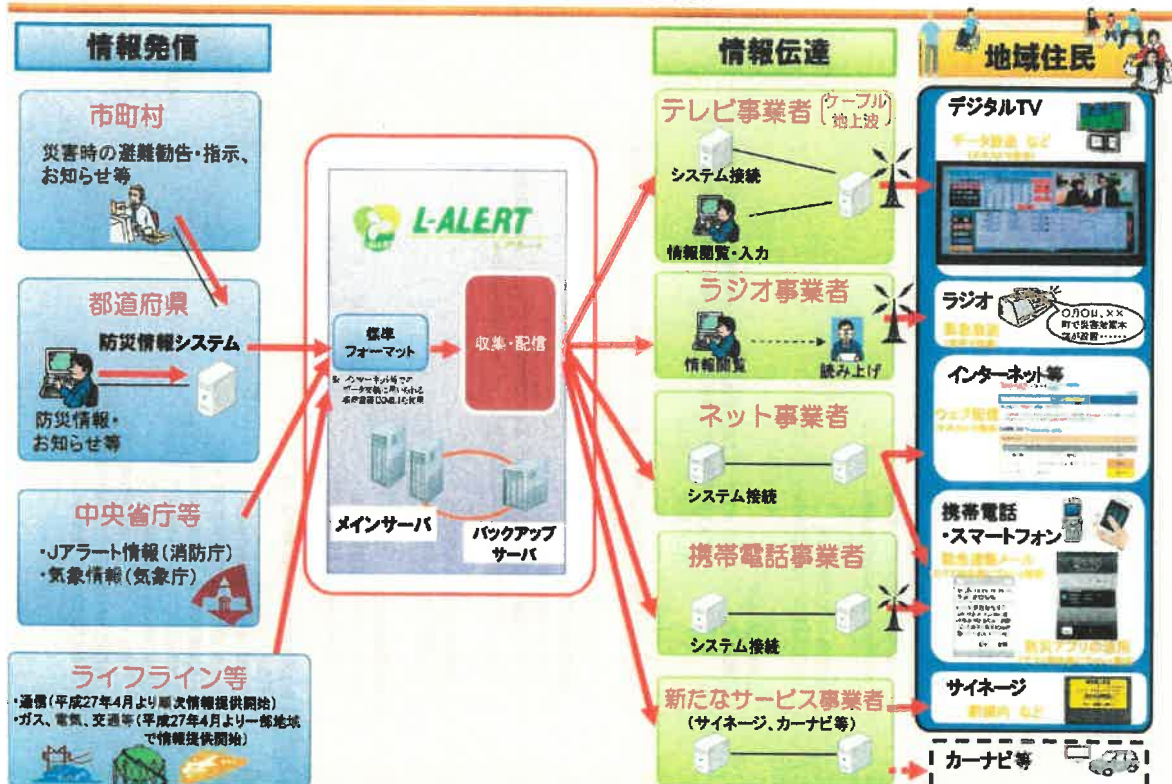
## 避難指示などが発令されたときの 新神田校下防災役員の動き

新神田校下防災委員会 30.10.18初稿  
30.10.18改訂



\* 「Lアラート」と「エリアトーク」

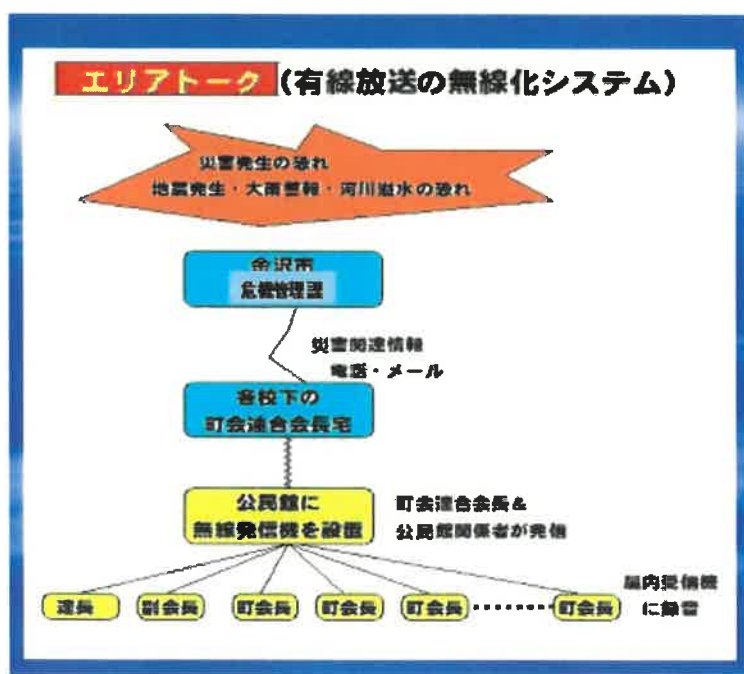
Lアラートの概要



**総務省が推進する災害情報の一括配信システム**  
**地方公共団体が発する災害情報を集約し、インターネットやテレビ、ラジオなどのさまざまなメディアに配信している**

※ 一般財団法人マルチメディア振興センターが平成23年6月より運営  
 ※ 総合防災情報システム(内閣府)とも接続予定

↓ 有線放送の無線化システム。各町会長宅に設置し、新神田公民館から一斉配信している。



## ② 新神田校下 豪雨災害タイムライン

某月某日の朝5時からの災害対応のイメージ		
Timeline 経過時間	Information	Activity
いつ	気象庁からの情報 台風上陸情報による風雨の予測	防災行動 何を
5:00	大雨注意報、洪水注意報  低い土地の浸水や河川(犀川、伏見川)の増水に注意してください。	注意報を確認し、対応する
13:30	大雨警報、洪水警報  土砂災害、低い土地の浸水や河川(犀川、伏見川)の増水に警戒してください。	警報の確認
14:00	ニュース 1時間に60mm以上の豪雨に激しい雨が降る所があります。低い土地の浸水、土砂災害、河川(犀川、伏見川)の急な増水、冠水などに留意な警戒をしてください。	避難準備情報・高齢者等避難開始
14:30	記録的短時間大雨情報  降り続く大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。市から発表される避難勧告などの情報に注意してください。	大雨情報の継続的確認
17:10	大雨特別警報	避難勧告
17:15	臨時ニュース  17時10分に大雨特別警報が発表されました。これまで経験のないような大雨となっています。今後、さらに広い範囲で大雨が続く恐れがあります。最大限に警戒して下さい。	避難指示(緊急)
発生時 17:30	避難所開設 (新神田小学校、新神田公民館、高岡中学校)	
直ちに	避難所の運営  金沢市発行の「避難所運営マニュアル」とよび「多言語対応版」に基づく運営	

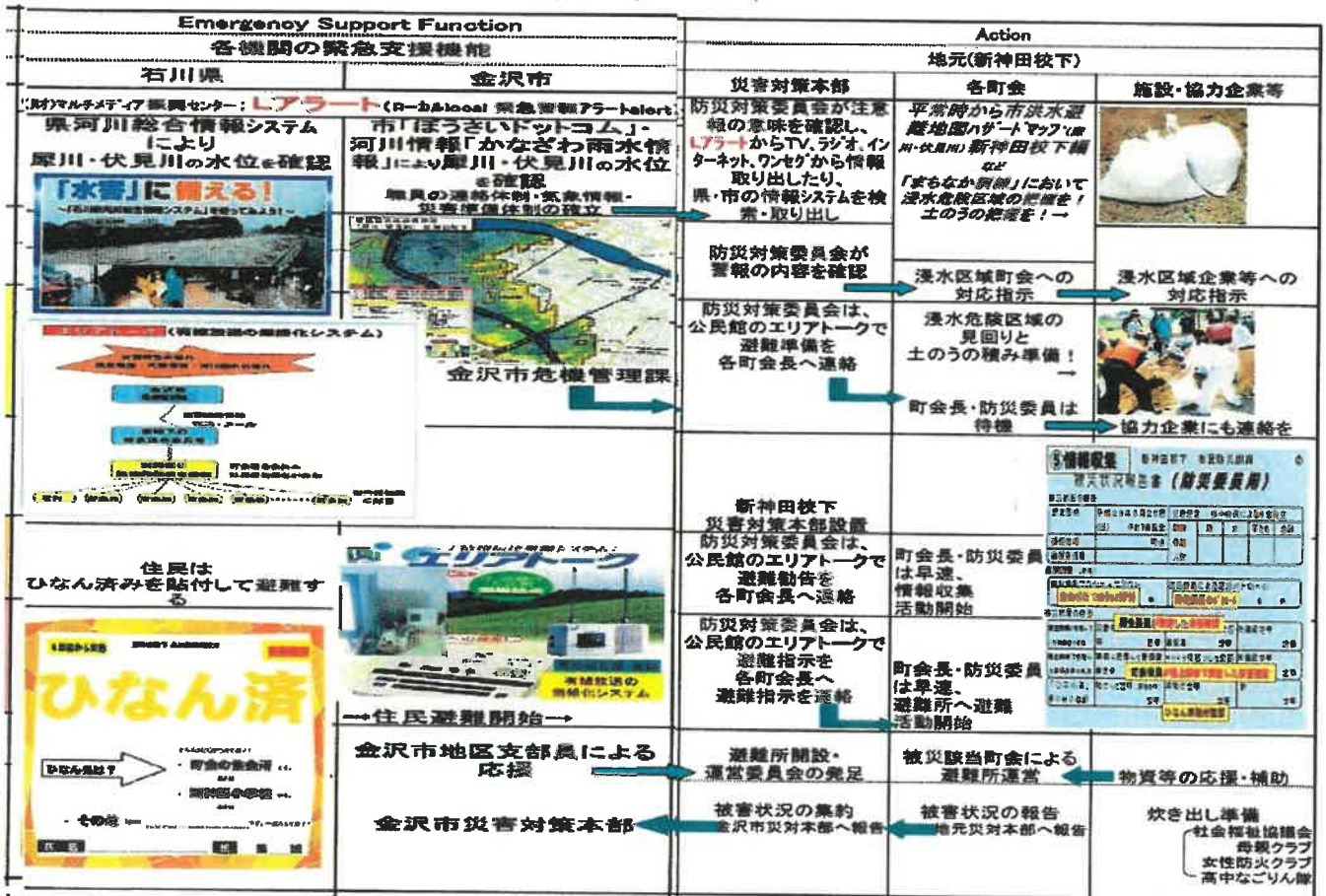
アメリカ発祥のハリケーンの教訓から防災計画を日本型タイムライン式に考えたもの。

北陸地方に台風が上陸し、大雨災害(集中豪雨)が発生したと想定して、新神田校下の防災行動計画を事前にイメージし、避難行動をタイムライン式に考えてみた。

ここでは紙面の都合上、

- ①情報 (Information)、
- ②各機関 (Emergency Support Function)、
- ③地元 (Action)

の3つの要素を列記したが、参考資料に詳細を添付したので、各町会でタタキ台として活用して欲しい。

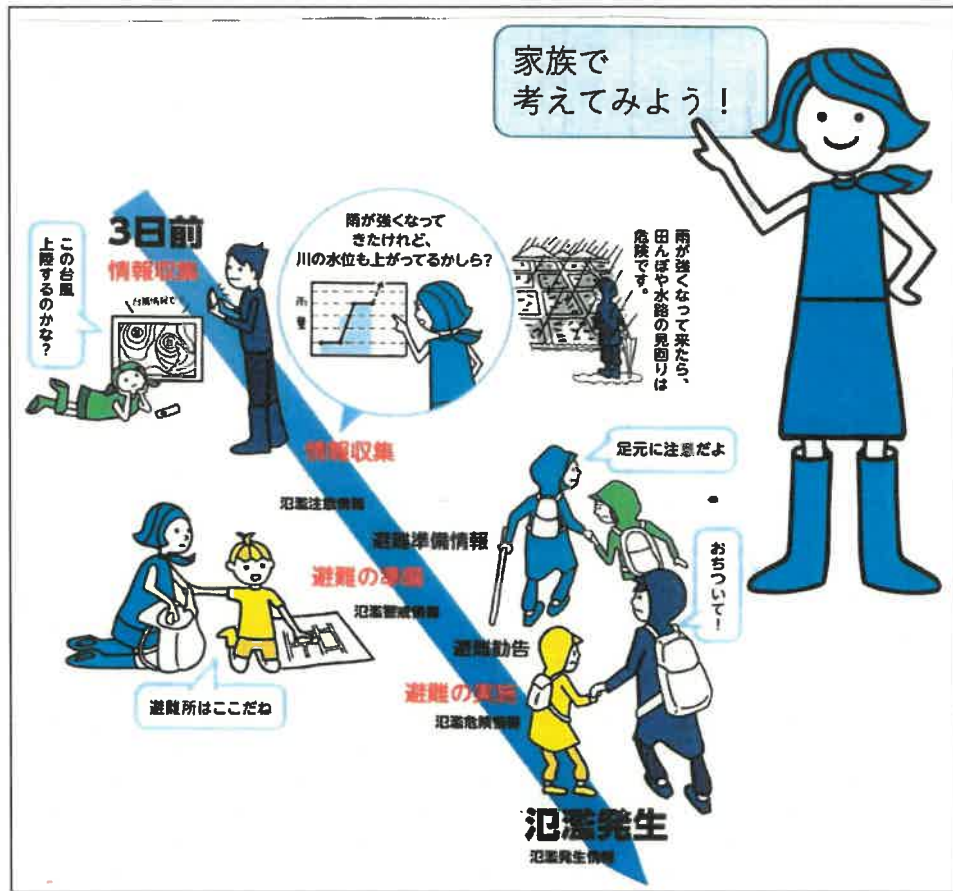


用語説明 タイムライン：災害が発生した際の時間経過に応じて、どのような警戒行動をとるべきかを

事前に考えて決めておく地域の防災行動計画をいう。

### ③ 新神田校下 マイ・タイムライン

国土交通省下館河川事務所「逃げキッド」から引用



↑ 上図は、

私の避難行動(マイ・タイムライン)作成の例で、国交省のサイト「逃げキッド」に詳細に説明している。

← 左図も参考に考えて欲しい。

なお、新神田バージョンのマイ・タイムラインは参考資料に添付してある。

#### マイタイムラインの作成例

災害発生までの時間	私の行動
3日前	<ul style="list-style-type: none"> <li>警戒レベル1</li> <li>台風・大雨予報</li> <li>台風の進路や雨の予報を調べる</li> <li>家族同士で予定を確認</li> <li>家の周りに風で飛ばされるものがないか点検</li> </ul>
2日前	<ul style="list-style-type: none"> <li>警戒レベル2</li> <li>大雨・洪水注意報</li> <li>避難する時に持って行くものをチェック</li> <li>避難所の場所、避難手段を再確認</li> </ul>
1日前	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雨洪水警報等</li> <li>雨量や川の水位を調べる</li> <li>近所の親戚と連絡を取り合う</li> </ul>
半日前	<ul style="list-style-type: none"> <li>警戒レベル3</li> <li>避難準備・高齢者等避難開始</li> <li>避難しやすい服装に着替える</li> <li>携帯電話の充電</li> </ul>
5時間前	<ul style="list-style-type: none"> <li>警戒レベル4</li> <li>避難勧告、土砂災害警戒情報</li> <li>安全な場所へ移動する</li> <li>避難完了</li> </ul>
<b>災害発生!</b>	

用語説明 マイ・タイムライン:

住民一人ひとりのタイムラインである。台風の接近によって河川の水位が上昇する時間的な制約が厳しい洪水発生時に自分自身がとるべき標準的な防災行動を時系列的に整理しまとめたもの。



## (4) 災害時の活動

行政の支援や救助（公助）が届かない、または間に合わない状況では、特に自助、共助、近所による助け合いが重要となる。想定外の事態に備えて、新神田校下の防災対策委員会が主体的に動き、地域の力で生き延びる体制づくりが必要である。

### ① 避難誘導

#### ・避難誘導の指示

防災対策委員長（町連会長）は、金沢市長の避難指示が出たときまたは、

会長が必要であると認めたときは、避難誘導班（町会長および防災委員）に対し住民の避難誘導の指示を行う。

#### ・避難誘導

避難誘導班は、金沢市防災計画の新神田編の避難計画書（指定避難所：新神田小学校、高岡中学校、新神田公民館）に基づき、その都度、市が開設指示した指定避難所に住民を誘導する。

平成30年9月・台風21号の際の新神田小学校での避難所開設の例あり。

なお、防犯委員は、住民が避難中の地域内の安全確認のため、巡視する。



### ② 救出救護活動

建物の倒壊、落下物等により救出救護を要する者が生じたときは、直ちに

救出救護活動を行う。この場合、現場付近の者は救出救護活動に積極的に協力する。



### ③ 避難所開設、運営など

#### ・避難所の管理・運営

災害時における避難所の管理・運営については、防災会の自主運営が原則であるが金沢市（地区支部員）と密接に協力運営する。

なお、コロナ感染症対策のための配慮を十分に行う必要があり、以下、令和2年7月豪雨の際の、熊本県人吉市の避難所の例を挙げる。



← →  
ダンボールで仕切られた避難所



十分な間隔をあけた集会所→

### 問診票

受付番号 \_\_\_\_\_  
 記入日時 令和 年 月 日 時 分 体温 \_\_\_\_\_ 度  
 氏名 \_\_\_\_\_ 年齢 (\_\_\_\_歳) 性別 (男・女)  
 連絡先 (携帯) \_\_\_\_\_ 車両ナンバー \_\_\_\_\_

あてはまるものの数字に○をつけてください。

#### <現状>

- 1 妊娠している
- 2 通院している (通院理由: \_\_\_\_\_)
- 3 日常的に薬を服用 (薬名: \_\_\_\_\_) ※薬手帳がある場合提示
- 4 該当なし

#### <濃厚接触の有無等>

- 1 新型コロナウイルス患者との接触があった  
最終接触時期 令和 年 月 日 頃
- 2 感染が確認されて自宅療養中だった  
療養開始時期 令和 年 月 日 頃

#### <症状>

- 1 熱がある (\_\_\_\_日前から\_\_\_\_度程度)
- 2 風邪のような症状などがある  
(該当するものに○: 咳、鼻汁、頭痛、のどの痛み、その他 \_\_\_\_\_)
- 3 息苦しさがある
- 4 強いだるさがある
- 5 味覚、嗅覚に異常を感じる (\_\_\_\_日前から)
- 6 寒気、関節痛・筋肉痛などがある
- 7 咳があり、血がまざった痰がでる
- 8 からだにぶつぶつ (発疹) が出ている <口かゆみや痛みがある>
- 9 唇や口の周りにぶつぶつ (発疹) が出ていて、痛みがある
- 10 下痢便 (水のような便、柔らかい便、形のない便、噴出するような便等) が出た
- 11 吐いた、または吐き気がする
- 12 おなかが痛く、便に血がまざっている
- 13 目が赤く、目やにが出ている
- 14 その他 (\_\_\_\_\_) )
- 15 該当なし



## ・避難者の受け入れ

避難所名: 新神田小学校

### 避難者名簿 (本部避難者全員記入用)

整理番号	1			
氏名	年齢	性別	男・女	
住所		リュック持参の有無	有・無	
所属町会名	その他の 以下・地区			
その他 (自由記述)	資格の取得: 医師、看護師、保健師、監査・介護福祉士、保育士・福祉士、管理栄養士、薬剤師など			

\*本件内は、必ず記入して下さい。

\*この名簿は、新神田小学校の避難所に来られた方、全員記入して下さい。

\*この名簿に記載した情報は、避難所運営以外の目的に使用しません。

受け入れに当たっては、避難者名簿 (本部避難者全員記入用) や コロナ対策のため「問診票」等に記入して貰う。



↑ 受付時の検温など

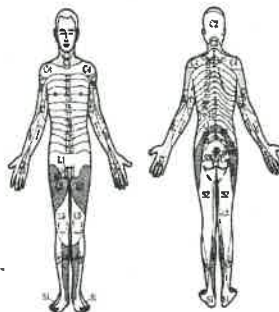
また、障害部位のある人には「救護対応票」により、避難者の体調・障害等について十分配慮する。

感染症対策のため受付には次の備品を新たに用意しておく必要あり

救護者対応表

資料④  
新神田校下自主防災会

本人のみ		同行者あり		受付日・時間	月	日	時
受付番号	氏名	年齢	町会名(住所)				
		男					
		女					
	連絡先 なし ・ あり ( )						
救護区分	<input type="checkbox"/> ケガ	<input type="checkbox"/> 病気	同居者	あり	なし		
症状	麻痺 あり ・ なし						
服薬内容	現在、薬を飲んでますか	はい	いいえ	血液サラサラの薬			
治療中ですか	はい ・ いいえ						
処置内容	<input type="checkbox"/> 救護所にて対応 血圧 / 会話 可 ・ 不可 処置後の経過観察 必要 ・ 不要 <input type="checkbox"/> 医療機関へ搬送 連絡時間 時 分						
<small>※持病の場合には、避難所での生活上、必要な情報を聞き取り本部へ報告</small>							



- ★ 処置の開始・終了は医療従事者に確認の上行う
- ★ ケガの場合、左の絵の当てはまるところに○印をして下さい
- ★ 特に病気の場合、病名などの個人情報を十分に配慮する
- ★ この用紙は本人に持たせて下さい

対応者	責任者確認
-----	-------

感染症対策に必要な物資・資材の備蓄



・避難所において、感染症対策に有効と考えられる以下の物資・資材を備蓄する。

(避難者用)

マスク、非接触型体温計、アルコール消毒液、ウェットティッシュ、ペーパータオル、石鹸 等

(スタッフ用)

マスク、使い捨て手袋、フェイスシールド(ゴーグル)、防護服 等

(その他資材)

パーティション(間仕切り)、ビニールシート、段ボールベッド、簡易テント、仮設トイレ、養生テープ 等



☞ 避難所における感染症対策に有効な物資等について、備蓄品目・備蓄量・保管場所などに関する情報(備蓄品リストなど)を、事前に把握し共有化しておく。

・医療機関への連絡

救出救護班は、負傷者が医師の手当を要するものであると認めたときは、防災関係機関と協議して最寄りの医院などの応急救護所に搬送する。

④ 給食給水（炊き出し）、物資配分

・給食の実施

給食給水班および物資配分班は市から配布された食糧、地域内の家庭または事業所などから提供を受けた物資の配分、炊き出しにより給食活動を行う。

・給水の実施

給食給水班および物資配分班は市から提供された飲料水、水道、井戸等により確保した飲料水により給水活動を行う。

・アレルギー体質の方

ハラール食品については十分な配慮が必要である。

**アルファ米の  
カレーについて**

・カレールーには、**アレルギー物質が含まれています。**

・アルファ米には、**アレルギー物質はありません。**

・今回使用するカレールーは「**グリコ・カレー職人・中辛**」「**ハウス 加屋 コゲミル・中辛**」を使用しています。

いずれも、アレルギー物質**小麦・牛肉・大豆 鶏肉・ゼラチン**が含まれています

**アレルギー体質の方は  
食べないで下さい!!**

**ハラール食品とは？**

- ・現在、世界には16億人以上のイスラム教徒（ムスリム）が存在
- ・ハラール(英語：halal、アラビア語:حلال-Halal)とは、イスラムの教えで「許されている」を意味するアラビア語
- ・ハラール食品は、イスラム教徒が食べる食べ物。観光客などが増える日本国内での飲食に対応が求められている
- ・ハラール食品で全面的に禁じられているのは、「豚肉」と「アルコール」
- ・豚肉については厳しく全面NG  
そのものを食べなければOKというような単純なものではなく、豚から派生した全てのもの、豚と接触した食品も全てNG  
例えば、  
豚から抽出したエキスが含まれる調味料や出汁の入ったスープ  
豚を調理した道具を使って調理された食材  
豚を運んだトラックや豚を入れた冷蔵庫で保管された食材  
豚が配合されている餌を食べた家畜  
豚由来のタンパク質や酵素が使われている医薬品や化粧品など
- ・アルコールは、飲料としては全面NG
- ・イスラム教徒にとって食べ物は、ただの好き嫌いの問題ではなく、ハラールでないものを食べることは罪であり、神に背くということ。生き方そのもの
- ・厳密なルールがあるので、イスラム教徒がハラール対応でない日本の飲食店で食事をすることは先ず無理
- ・彼らが店選びの目安としているのが「ハラール認証」。「ハラール認証」とは、宗教と食品科学の2つの面から、専門家が、ハラールであることを保証する制度
- ・ハラール食品には、もう一つの側面、それは「清潔かつ安全に管理された、高品質・高栄養価で健康的な食べ物」である。ハラール食品は、神の教えに基づく食べ物なので、身体に悪いものなどそもそもあり得ない
- ・ハラール食品は業界としてはまだ新しく、世界が注目し始めたばかりの市場。規制や制度、認証制度の面でもまだ変化が激しく、最新の情報収集

## ⑤ 災害時要支援者対策

### 防災避難支援マップの作成

避難支援等関係者間で話し合い、避難行動要支援者などの対象者を、支援区分別に色分けして表示します。

支援区分（例）

区分	色	対象者の目安
A	赤色	寝たきりなど自力での避難ができない方
B	黄色	杖などを利用することで自力避難できる方
C	青色	自力で避難ができる方



### ・災害時要支援者台帳・マップなどの作成

災害時に避難状況を把握するため、災害時要支援者台帳・マップなどを作成し、行政、民生・児童委員、まちぐるみ福祉活動推進員、訪問介護員、災害ボランティア、町会長などと連絡を取り合って定期的に更新する。

### ・災害時要支援者の避難誘導、救出救護方法等の検討

災害時要支援者に対する円滑な避難誘導や効果的な救出救護活動等について予め検討し訓練などに反映させる。

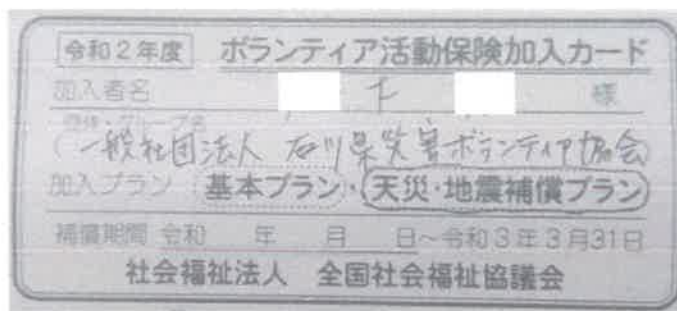
## ⑥ 情報収集、安否確認、伝達（広報）

情報班は、各町会の災害情報、防災関係機関、報道機関等の提供する情報を収集把握すると共に、必要と認める情報を住民、防災関係機関等に衛星電話（新神田小学校体育館、高岡中学校2階体育館に設置）、エリアトーク（新神田公民館設置）などで伝達（広報）する。

## ⑦ 他組織との連携



防災訓練や災害時の応急活動については、地元の米丸消防分団はもとより他の自主防災組織や石川県災害ボランティア協会等と連携を図るものとする。



## ⑧ 避難所開設運営会の班別アクションカード

- ・ 避難所運営委員会の組織図は、先の「防災活動の体制」のとおり。
- ・ 以下、5班体制（総務、情報、被災者管理、食料物資、衛生救護）の内容・仕事について、運営スタッフが具体的に行動・運営できるアクションカードを作成し、スタッフの負担を軽減できるよう工夫した。

# 班別災害時アクションカード

## ★ 総務班

災害時アクションカード

**総務班** 班長

(1) 5人

—総務班を総括—

- ・総務担当班の下記の仕事内容を確認しておく。
- ・必要の都度、他班と連絡調整をすること。
- ・常に、班員に的確に指示すること。

- ・市災害対策本部との連絡調整
- ・避難所の管理運営全般
  - 事務局 衛星電話のチェック
  - 居住空間設営・割り振り
  - 女性専用室等の張り紙・周知
  - 避難所ルールづくり
- ・報道機関対応
- ・テレビ・ラジオの設置
- ・外国人への対応
  - 避難所多言語対応冊子の活用
- ・学生、子ども消防の対応

災害時アクションカード

**総務班** 班員A

(2)

—総務班長を補佐—

- ・総務担当班の全体の仕事内容を確認しておく。
- ・班長の指示の下、
  - 市災害対策本部との情報伝達・衛星電話のチェック
  - 連絡調整をすること。

- ・市災害対策本部との情報伝達・連絡調整
  - 衛星電話のチェック
  - 避難者情報(情報班からの情報等)
  - 居住空間設営に関する各班からの要望等
- ・報道機関対応

災害時アクションカード

**総務班** 班員B

(3)

—総務班長を補佐—

- ・総務担当班の全体の業務内容を確認しておく。
- ・班長の指示の下、
  - 避難所の管理運営全般に関すること。

- ・避難所の管理運営全般に関すること
  - 事務局
  - 居住空間(ダクト・机)設営・割り振り
  - 女性専用室等の張り紙・周知
  - 避難所における共通理解ルールづくり・張り出し
- ・テレビ・ラジオの設置

災害時アクションカード

**総務班** 班員C

(4)

—総務班長を補佐—

- ・総務担当班の全体の業務内容を確認しておく。
- ・班長の指示の下、
  - 外国人の対応に関すること。

- ・外国人の対応に関すること、
  - 避難所多言語対応冊子の活用



# 女性の視点から見た避難所運営（総務班）

～ ロ メ モ ～

30. 6. 24

## 日常生活から用意しておくの良いもの

- ・タオルケット、バスタオル…シーツ代わりにする
- ・タオル…各家庭で用意
- ・オムツ…乳幼児用、年配者用
- ・薬…何時も使っている薬、常備薬 毎日薬を服用している方は薬を持ち歩く
- ・パンティライナー…何時、下着が到着するか分からないため。男性や女性にも使える

## 避難所

- ・町会、ブロックごとに座らせる
- ・知っている人も多いから、安否確認が容易

## 目、耳が不自由な人

- ・震災時、メモ紙を持って訪ねる
- ・誰が行くか本人と打ち合わせる
- ・災害時に家に訪問するよと認識してもらう
- ・数人が当たると良い

## 乳 幼 児

- ・紙おむつ、ミネラルウォーター、お尻ふきを～4日大丈夫な量を用意してもらう
- ・被災時3～4日、支援品が届かないため自分で用意

## 本部 近くの 場所

- ・外国人観光客用にスマホ翻訳機を用意

## 小中学校にお願いする事

- ・プロパンガス、調理室の被災時の利用
- ・柔道場…体調が悪い人用
- ・保健室…心の病の方用
- ・遺体安置所…別の所に設置  
訪ねて来る人が多いのでブルーシートを敷いて、大や小のブルーシートをかける
- ・被災時のプールの水利用
- ・プールの水をトイレまでバケツで運ぶルールづくり

## 地域のカリインスタンドにお願いする事

- ・被災時のスタンドとしての登録
- ・タンクの容量が多いカリインスタンドはその旨、災害救援用として表示して貰う
- ・まかないくん用の灯油調達（煮炊き用の契約）
- ・ポリタンクを預けておく

## 部 屋

- ・大部屋から小部屋への移動は不可能に等しい
- ・公民館は、畳があるので年配者や子ども向き

## トイレ

- ・ポータブルトイレの寄付をお願いする
- ・日常生活において紙や段ボールを集めておく
- ・色つきナイロン袋、ゴミ袋を集めておく

## 仮設トイレ

- ・男性トイレと別の場所
- ・トイレの場所はもちろんトイレまでの道に明かりを

## 別途 必要な場所・ルームの説明

- ・乳幼児ルーム
- ・男女別更衣室
- ・男女別仮設トイレ
- ・女性専用物干し場
- ・女性専用ルーム
- ・子どもルーム
- ・DV被害女性支援ルーム

災害時アクションカード

総務班

班員D

(5)

—総務班長を補佐—

- ・総務担当班の全体の業務内容を確認しておく。
- ・班長の指示の下、  
学生、外国人、子ども消防の対応に関する  
こと。

- ・学生、子ども消防の訓練案内など

地震体験車

ハシゴ車

炊き出し訓練

水消火器訓練など

災害時アクションカード

総務班・施設管理

チーム

(1)

4人

—施設管理班を総括—

- ・食料物資班の下記の仕事内容を確認しておく。
- ・必要の都度、他班と連絡調整をすること。
- ・常に、班員に的確に指示すること。

・トイレに関する対応・管理

・施設の管理、防火・防犯パトロール

・洗濯・物干場の設置・管理(男女別)

・ごみ集積場に対する対応・管理

・室内生活環境の清掃管理

・風呂やシャワーの利用・男女別計画

情報担当と協力し、地域の公衆浴場の利用  
が可能か確認



災害時アクションカード

総務班・施設管理

班員A

(2)

4人

ー施設管理チームを補佐ー

- ・被災者管理班の全体の仕事内容を確認しておく。
- ・班長の指示の下、  
トイレに関する対応・管理  
ごみ集積場に対する対応・管理

- ・簡易式のトイレの組み立て、ペットボトルのダンボールでの組み立てなど実演する。

- ・ゴミ集積場の案内掲示をする。



災害時アクションカード

総務班・施設管理

班員B

(3)

ー施設管理チームを補佐ー

- ・被災者管理班の全体の仕事内容を確認しておく。
- ・班長の指示の下、  
ダンボールでの居住空間づくり  
簡易ベッドづくり



災害時アクションカード

総務班・施設管理

班員C

(4)

ー施設管理チームを補佐ー

- ・被災者管理班の全体の仕事内容を確認しておく。
- ・班長の指示の下、  
女性避難者のあり方コーナーの設置  
洗濯・物干場の設置の男女別の設置など



災害時アクションカード

総務班・施設管理

班員D

(5)

ー施設管理チームを補佐ー

- ・被災者管理班の全体の仕事内容を確認しておく。
- ・班長の指示の下、  
市役所の障害福祉課の  
手話通訳体験コーナーの補助 テーブル1個  
椅子20脚 用意

2F体育館

手話通訳  
体験コーナ

←入口

災害時アクションカード

### 情報班

班長

(1)

4人

—情報班を総括—

- 情報班の下記の仕事内容を確認しておく。
- 必要の都度、他班と連絡調整をすること。
- 常に、班員に的確に指示すること。

- 情報掲示板の設置
- 避難者へ伝達する情報の管理・提供
- テレビ、ラジオ等からの様々な外部  
(県、市等)情報の収集・お知らせ
- 近隣避難所と相互情報共有
- 生活情報(物資配給、入浴、給水)

災害時アクションカード

### 情報班

班員A

(2)

—情報班長を補佐—

- 情報掲示板の設置
- 班長の指示の下、被災情報の掲示・お知らせ

- 避難者へ伝達する情報の管理・提供
- 被災者管理担当班からの本部訓練避難者の集計結果
- 施設管理担当班からのトイレ、風呂、ゴミ、洗濯場等の使用開始報告など
- 衛生・看護担当班からの衛生管理などの伝達

災害時アクションカード

### 情報班

班員B

(3)

—情報班長を補佐—

- 総務担当班の全体の業務内容を確認しておく。
- 班長の指示の下、  
まちなか訓練の安否確認、被災状況のとりまとめ集計に関すること。

令和元年	都庁職員センター				地域別								各事業所													
	甲	乙	丙	丁	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
入江																										
立寄																										
警署前																										
上江崎1																										
上江崎2																										
上江崎3																										
上江崎4																										
上江崎5																										
上江崎6																										
上江崎7																										
上江崎8																										
上江崎9																										
上江崎10																										
上江崎11																										
上江崎12																										
上江崎13																										
上江崎14																										
上江崎15																										
上江崎16																										
上江崎17																										
上江崎18																										
上江崎19																										
上江崎20																										
上江崎21																										
上江崎22																										
上江崎23																										
上江崎24																										
上江崎25																										
上江崎26																										
上江崎27																										
上江崎28																										
上江崎29																										
上江崎30																										
上江崎31																										
上江崎32																										
上江崎33																										
上江崎34																										
上江崎35																										
上江崎36																										
上江崎37																										
上江崎38																										
上江崎39																										
上江崎40																										

災害時アクションカード


### 情報班

班員C

(4)

—情報班長を補佐—

- 総務担当班の全体の業務内容を確認しておく。
- 班長の指示の下、  
まちなか訓練の被災状況を図面に落とし込む



災害時アクションカード

**被災者管理班** 班長

(1) 7人

—被災者管理班を総括—

・被災者管理班の下記の仕事内容を確認しておく。  
 ・必要の都度、他班と連絡調整をすること。  
 ・常に、班員に的確に指示すること。

・避難者受付・集計  
 ・避難者名簿の作成・管理  
 ・子どもたちへの保育等

(遊び場、勉強部屋)の支援

・安否確認問い合わせへの対応  
 ・郵便物・宅配便等の取り次ぎ  
 ・入退所管理

災害時アクションカード

**被災者管理班** 班員A

(2)

—被災者管理班長を補佐—

・被災者管理班の全体の仕事内容を確認しておく。  
 ・班長の指示の下、 整理番号 1~100 番順に配布  
 避難者受付・集計をすること。

避難者名簿は本部避難者全員に記入して貰います。  
 整理番号1~100、101~200、201~300、301~400、401~500番の5グループで配布、記入して貰います

避難者名簿 (本部避難者全員記入用)

整理番号	1 ~ 100 番			
氏名	年齢	性別	男・女	
住所	UICの 所属の 有無			
所属団体の名	その他の 住下・施設			
その他 (自由記述)	住居の有無、家族、家族数、年齢、性別、介護が必要な者、病状、要介護等、管理職職名、通 関状況			

※本表は、必ず記入して下さい。  
 ※本表は、町会での避難者管理にのみ使用して下さい。本部避難者用の2種類に記入して下さい。  
 ※本表は、避難者名簿の作成にのみ使用して下さい。

災害時アクションカード

**被災者管理班** 班員F

(7)

—被災者管理班長を補佐—

・被災者管理班の全体の仕事内容を確認しておく。  
 ・避難者名簿の作成・管理  
 ・安否確認問い合わせへの対応  
 ・郵便物・宅配便等の取り次ぎ  
 ・入退所管理  
 ・子どもたちへの保育等

(遊び場、勉強部屋)の支援

・避難者名簿の回収・管理  
 (町会の一時的避難所団体用、  
 本部避難者用の2種類)を  
 町会ごとの管理し、情報班へ連絡する。  
 ・子どもたちへの遊び場、勉強部屋の張り紙

2019年度 第23回 新神田校下・市民防災訓練 資料①

令和元年8月25日(日)実施

～町会の集合場所(一時避難所)に集合した人、全て記入し自治会まで本部へ提出する～

**避難者名簿 (本部提出用)**

町会名

名前(姓のみ)	居れが○印をしてね			名前(姓のみ)	居れが○印をしてね		
	男	女	子ども		男	女	子ども
1				21			
2				22			
3				23			
4				24			
5				25			
6				26			
7				27			
8				28			
9				29			
10				30			
11				31			
12				32			
13				33			
14				34			
15				35			
16				36			
17				37			
18				38			
19				39			
20				40			

災害時アクションカード

### 食料物資班

班長

(1)

10人

—食料物資班を総括—

- ・食料物資班の下記の仕事内容を確認しておく。
- ・必要の都度、他班と連絡調整をすること。
- ・常に、班員に的確に指示すること。

- ・食料・物資の要請、受け入れ、管理
- ・食料・物資の配給等

食料の炊飯(炊き出し)

食料制限等、災害時要配慮者に対する配慮

- ・物品の受け払い

災害時アクションカード

### 食料物資班

班全員

(2)

—食料物資班長を補佐—

- ・被災者管理班の全体の仕事内容を確認しておく。
- ・班長の指示の下、  
食料の炊飯(炊き出し)に関すること。  
α米によるカレー  
α米の具材によるスープ



災害時アクションカード

### 食料物資班

班全員

(3)

—食料物資班長を補佐—

- ・被災者管理班の全体の仕事内容を確認しておく。
- ・班長の指示の下、  
食料の炊飯(炊き出し)に関すること。  
α米によるカレー  
α米の具材によるスープ



災害時アクションカード

### 衛生救護班

班長

(1)

5人

—衛生救護班を総括—

- ・衛生救護班の下記の仕事内容を確認しておく。
- ・必要の都度、他班と連絡調整をすること。
- ・常に、班員に的確に指示すること。

- ・負傷者への対応  
応急手当、トリアージ、医療機関への連絡
- ・高齢者、傷者のある人などへの介護支援
- ・衛生管理・食中毒予防等
- ・避難者の感染症・健康管理  
手洗い、うがいの励行
- ・ペット対策  
同行避難を呼び掛け、屋内の持ち込みは原則禁止  
ペット台帳、糞の始末、飼育用品の原則自動・張り紙

災害時アクションカード

**衛生救護班** (2) **班員A**

—衛生救護班長を補佐—

・被災者管理班の全体の仕事内容を確認しておく。  
 ・高齢者、傷害のある人などへの介護支援

この班員は、避難者受付場所にて、予め決めてある傷害等のある方(特異事案者)は救護所へ行くように案内する。

・予め、各町会で特異事案者を決めるので、救護所で対応する。

・医療関係者がいる場合は、その指示による。

通折使用者	避難輸入使用者
車いす使用者	人工肛門使用者
視覚障害者	聴覚障害者
ぜんそく患者	認知症患者

災害時アクションカード

**衛生救護班** (3) **班員B**

—衛生救護班長を補佐—

・被災者管理班の全体の仕事内容を確認しておく。  
 ・班長の指示の下、  
 負傷者への対応:救護者対応票による  
 応急手当、トリアージ、医療機関への連絡

・受付からきた特異事案者は、この救護者対応票により対応する。

・応急手当が出来ない場合は迅速に医療機関に連絡する。

・医療関係者がいる場合は、トリアージによる。

**救護者対応票**

氏名	性別	年齢	住所
職業	家族構成	既往歴	アレルギー
現在の病状	傷の状態	出血	その他
搬送希望	搬送先	連絡先	備考

救護者部位連絡票

傷病者情報 No1

**左肘打撲**

受傷状況:	転倒して左肘を打つ
主症状:	左肘の疼痛・皮下出血
避難所まで:	自力歩行

傷病者情報 No2

**左下腿部打撲擦過傷**

受傷状況:	倒れていた欄につまづいて
主症状:	左下腿部の腫脹・疼痛、擦過傷による出血
避難所まで:	自力歩行

傷病者情報 No3

**腹腔内出血**

受傷状況:	コピー機と欄に挟まれ、腰部を強打
主症状:	顔面蒼白、冷汗、腹痛、腹部刺激症状
避難所まで:	担架で搬送

傷病者情報 No4

**顔面打撲、前額部擦過傷**

受傷状況:	欄から滑り落ちてきた広辞苑が顔面を直撃
主症状:	右目腫脹、右前額部擦過傷からの出血
避難所まで:	自力歩行

傷病者情報 No5

**左肘脱臼**

受傷状況:	避難時に転倒して、左肘が逆に曲がった
主症状:	左肘の疼痛・腫脹
避難所まで:	自力歩行

傷病者情報 No6

**右鎖骨骨折**

受傷状況:	避難中、角を曲がって来た人とぶつかり転倒
主症状:	右鎖骨の圧痛・変形・腫脹
避難所まで:	自力歩行

傷病者情報 No7

**両下肢熱傷**

受傷状況:	料理中、大鍋に入っていた油を両足にかけた
主症状:	両下肢の発赤・疼痛・水疱
避難所まで:	担架

傷病者情報 No8

**気管支喘息発作**

受傷状況:	炭が舞う中、避難していたら呼吸苦出現
主症状:	呼吸苦・ヒューヒュー喘鳴音
避難所まで:	自力歩行

予め、避難者の一部に救護部位のある方を8種類から1つ選び「救護者部位連絡票」を胸に張り出して貰う。

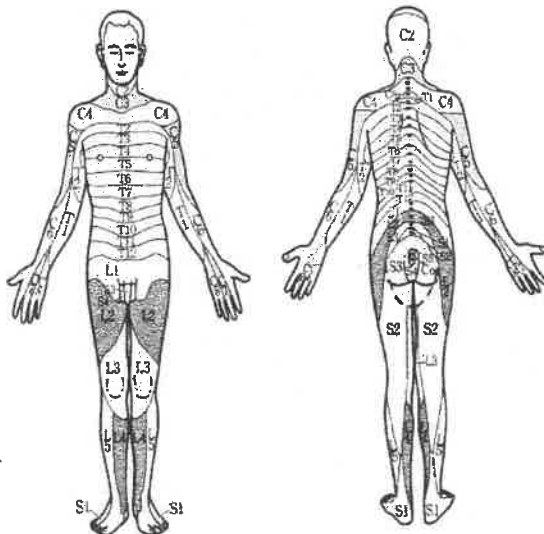
衛生救護班は、この連絡票を見て「救護者対応表」に記入して対応する。

### 救護者対応表

資料⑪

新神田校下自主防災会

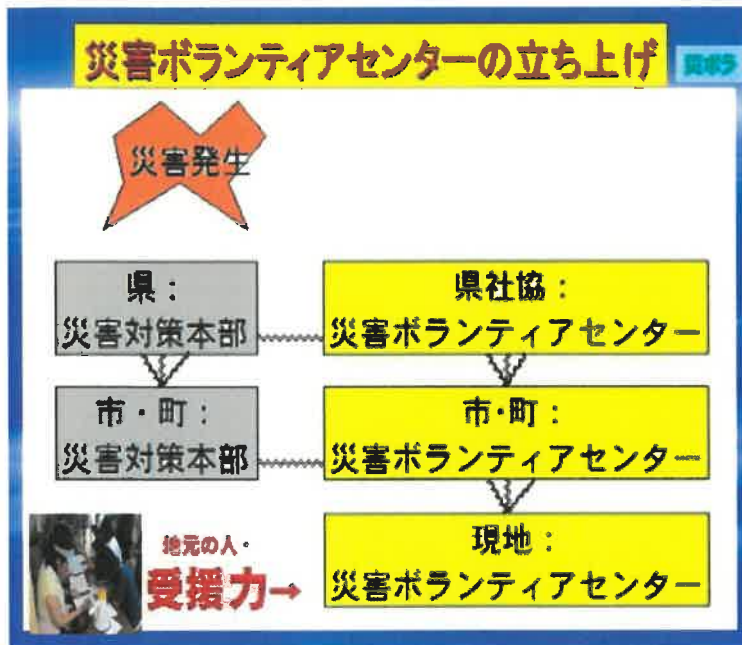
本人のみ		同行者あり		受付日・時間			月	日	時
受付番号	氏名	年齢	町会名(住所)						
		男							
		女							
		連絡先 なし ・ あり ( )							
救護区分	<input type="checkbox"/> ケガ	<input type="checkbox"/> 病気	同居者	あり ・ なし					
症状	麻痺 あり ・ なし								
服薬内容	現在、薬を飲んでいますか	はい ・ いいえ	血液サラサラの薬						
治療中ですか		はい ・ いいえ							
処置内容	<input type="checkbox"/> 救護所にて対応 血圧 / 会話 可 ・ 不可 処置後の経過観察 必要 ・ 不要 <input type="checkbox"/> 医療機関へ搬送 連絡時間 時 分								
※持病の場合には、避難所での生活上、必要な情報を聞き取り本部へ報告									



- ★ 処置の開始・終了は医療従事者に確認の上行う
- ★ ケガの場合、左の絵の当てはまるところに○印をして下さい
- ★ 特に病気の場合、病名などの個人情報に十分に配慮する
- ★ この用紙は本人に持たせて下さい

対応者		責任者確認	
-----	--	-------	--

## ⑨ 災害ボランティア受付の流れ



- 大規模な災害が発生すると、県・市の社会福祉協議会に災害ボランティアセンターが立ち上がる。場合によっては被災現場にも現地災害ボランティアセンターが設置される場合もある。
- そこで現地の受援力が大事となるので日頃から訓練しておく必要がある。



## ☆災害ボランティアの心構え

**ボランティアが出来る作業**

- 家財道具(家具・家電)の移動運び出し
- 家の内外の整理・清掃(車庫・倉庫・蔵の片付けは、後になります)
- 家のまわりの壊れたブロック塀の片付け
- 傾聴ボランティア
- プロットでの屋根は上りません

**ボランティアさんは、自己完結!**

ボランティアは、すべて自己負担!

- 食事・飲料水も、自分で持参 (ごみ持ち帰り)
- 交通費も
- 宿泊施設も自分で探し、費用も (テントは自備する!)
- 仕事がなく待たされても文句を言わない
- 好き嫌いで、作業を選ばない
- ボランティア保険・県内は石川県が負担

**災害の種類によって 違うの?**

**水害の場合 ⇒ 短期決戦 (約20日間)**

- 床下の泥が固まるまでに、多数で対処
- 浸水地域 全域が対象

**地震の場合 ⇒ 長期継続型 (約2ヶ月間)**

- 自治体全体が被害、近隣市町も被災
- 余震の危険、道路被害、車両渋滞
- 被災者ショック⇒依頼が すぐに出ない

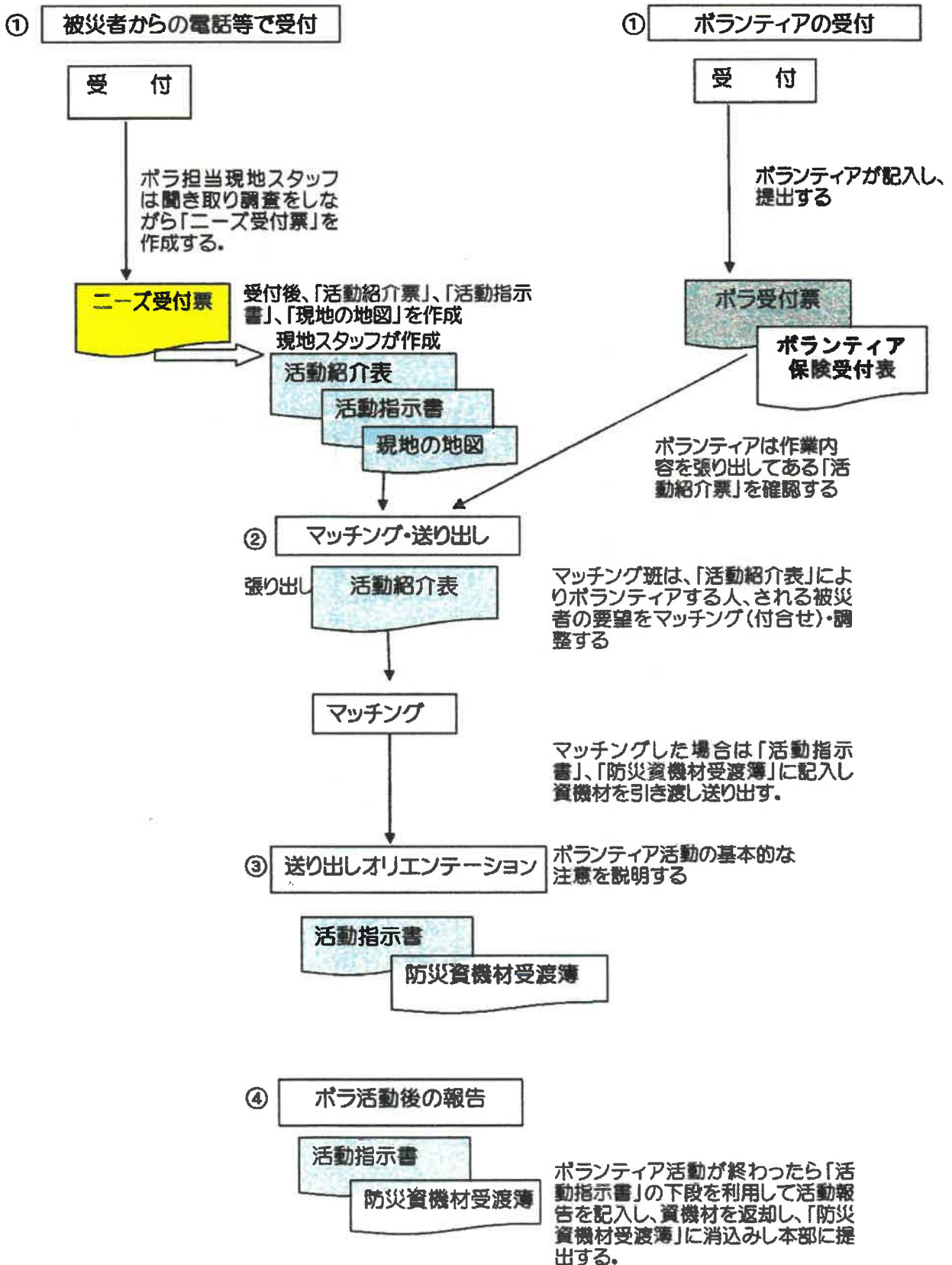
**被災者宅で ボランティア活動!**

- 帰るまでグループで行動。(単独行動不可) グループリーダーがまとめる。
- 依頼者に挨拶してから、作業を始める。
- 「がんばって」は更にストレスをかけるので禁句!
- 作業内容が違ったら、シフトに報告する。
- 片付ける物を、確認しながら作業する。
- 30~40分単位で 休憩を取る。
- 時間になったら、中断し挨拶して帰る。

# ☆現地災害ボランティアセンターの流れ

新神田校下 災害ボランティア受付訓練

## 受付等のフローチャート





避難所運営委員会のボランティア班（現地スタッフ）は、避難者宅にボランティアが必要な場合、事前に次のことをしておく。依頼内容を「ニーズ受付票」に

- ▲被災状況：全壊、半壊、床上浸水、床下浸水、その他（ ）
- ▲依頼内容：室内清掃、家具等の移動（内容 ）、ゴミ出し、割れたもの等の片付け、介護、話し相手、炊き出し、泥の除去（床上・床下・家の周り・庭・共同溝）その他留意点（ ）
- ▲必要資材：バケツ、ほうき、ちりとり、雑巾、スコップ、一輪車、土のう袋、モップ、たわし、デッキブラシ、パール、軍手、水切りワイパー、ゴム手袋、鋤簾（ゾロ）、その他（ ）

記載し、それに合わせ、「活動紹介票」「活動依頼書」「現地の地図」を作成しておく。

## ☆ニーズ受付票

依頼内容の受付

1 完了・積み残し

6月 / 27日 NO 2

受付時間 14時30分 受付者氏名 西村

### ニーズ受付票

受付方法	<input type="radio"/> 窓口・電話・FAX・郵便・E-mail・その他		
依頼者氏名	ふりがな あらき いちろう 荒木 一郎	<input type="radio"/> 男・女	<input type="radio"/> 当事者・代理人
住所	〒921-8012 糸田1丁目 5-23		
TEL等	(自宅) 076-291-1234 (携帯) 090-1234-5678		
①依頼内容	(作業は、ボランティアでできることが、行政などが担当すべきものか要確認) 内容: 床下の泥上げと撤出		
②依頼人数	男性 2 人・女性 2 人 合計 4 人 (注: 1人では派遣しないこと)		
③活動場所	<input checked="" type="radio"/> 上記住所 別の場所 (下欄に記入してください) 住所 (ふりがな)		
④活動日時	6月 28 日 ( 日 曜日) <input type="radio"/> AM <input checked="" type="radio"/> PM 9 時~ 運日依頼 月 日 ( 曜日) ~ 月 日 ( 曜日)		
活動内容及び注意事項			

- ・ 窓口受付・電話受付で不十分な場合は、現地調査を行い「ニーズ受付票」を完成させる。
- ・ 太枠内を「2. 活動紹介票」「3. 活動依頼書(報告書)」に転記し、活動紹介書へ引き継ぐ。

## ☆活動紹介票

待機している災害ボランティアの行き先を案内するおおよその紹介票

2

6月 / 28日 No 2  
受付者氏名 西村

### 活動紹介票

活動内容 作業概要: 床下の泥上げと撤出  
1階の全部の部屋など

人数 男: 2 人 女: 2 人 計: 4 人

場所 糸田1丁目 荒木 様宅  
(丁目番地は書かない) (姓名の姓だけを書く)

時間 集合 9:30 ~ 9:50

・ (ボランティアの活動希望者は、下の枠内に名前を書いたがらがら(お)を貼付して下さい。)

・ (スタッフが、ボランティアのがら-名に○印を付け、携帯電話番号を記入、がら-に活動依頼書と地図を渡し、注意事項を説明した後、出発していただきます。)


がら-の携帯電話番号:      -      -

・ 伝票の流れ: ニーズ受付票→活動紹介票(指示、読み上げ)→ボランティア派遣一冊→活動報告と閉会

## ☆活動依頼書

「ニーズ受付票」の内容に、活動に必要な資機材を追加記入

3		NO 2	
<b>活動依頼書</b>		山形時刻 9時 30分	旧町名 西村
注：作業依頼場所の地図を持って出勤して下さい。			
①依頼内容	内容： <b>床下の泥上げと撤出</b> 詳細内容および注意事項 作業量：1階の全部の部屋など 用意する物：角スコップ 2個 刺先スコップ 1個 一輪車 2台 土のう 20袋 バケツ 4個		
②依頼人数	男性 2人 ・ 女性 2人 合計 4人		
③活動場所	住所 赤田1丁目 5-23 氏名(ふりがな) あらき いちろう 栗木 一郎様 屋号( )宅		
到着時・作業中	時 分 ・到着時や作業中に依頼書と異なる作業を依頼された場合や、けが人が出たり、問題が発生した場合は、直に現地本部に連絡をお願いします。 ・(災害対策ラッパ)現場本部 電話 ( )へ		
活動報告	活動した内容 指示通り ・ 指示以外あり ・ 全く違った ・ 無かった 違った内容を記入してください 完了状況 (完了 ・ 未完了)		
その他、問題点や意見などを記入してください			
活動者氏名	グループ全員の氏名を記入		帰着時間
リーダー名			時 分
グループ員			

活動が終了したら本表内を記入し、327へお返し下さい。  
 ・仮票の渡し：>X 受付票→災害対策ラッパが現場へ持参・帰着受付→活動報告  
 (災害対策ラッパは、報告の内容を確認し、未完了のものは単引継ぎとして新規に依頼書等を作成する。)

## ☆活動依頼書

### ボランティア受付票

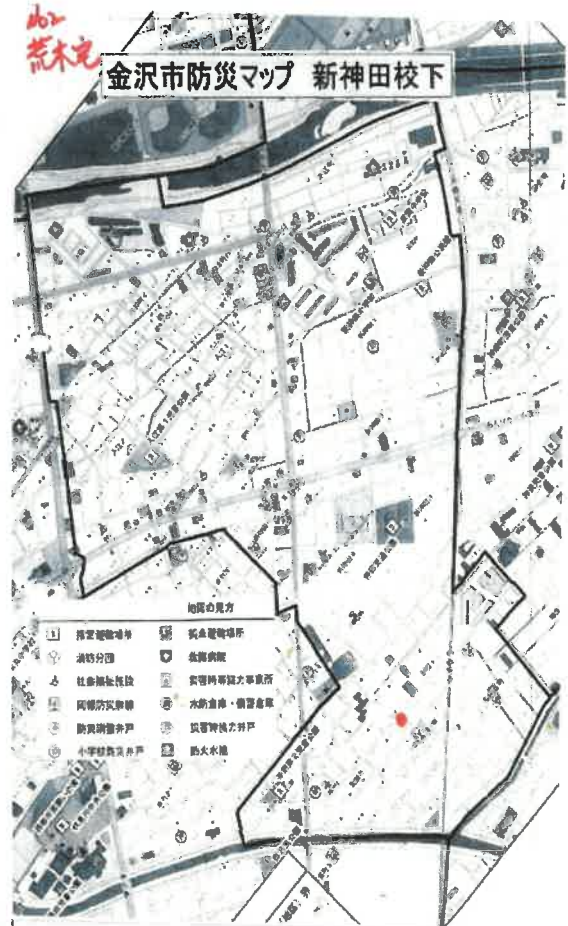
(個人・団体兼用) 本表内を記入してください

月 / 日		NO	
受付時刻		受付者氏名	
受付の状況	初めて ・ 回目 (前回の活動した日)		
氏名	姓 名		男 ・ 女 姓
住所	県 市 町 字 丁目 番 号 路 地		
TEL等	(自宅) ( ) - ( ) (携帯) ( ) - ( )		
災害ボランティア保険	加入済 ・ 未加入 (注:通常のボランティア保険ではなく、災害ボランティア保険です。今年度4月から、国内のどこかで保険手続きをすればOKです。)		
活動期間	本日のみ ・ 月 日から 月 日まで(日間可能)		
備考(資格・特技等)	保甲士 ・ 看護士 ・ 介護福祉士 ・ 手話 ・ 大型免許		
その他特記事項			

受付で1日を一両席並、問い合わせなどに対応し、活動終了時に無許する。  
 ・団体受付の場合は、代表者に本票を1枚記入してもらい、「団体名簿」を別添にする。

## ☆現地の地図

災害ボランティアに地図を持たせる。そのとき、リーダーを決めて、帰着後、報告させる。



☆送り出しオリエンテーション（送り出し班→グループリーダーに手渡し）  
グループリーダー手持ち用

新神田校下ボランティアセンター

★★★★活動上の注意★★★★

- ① 活動では、依頼者（被災者）の気持ちを尊重して下さい。  
\*やらせていただくという”気持ち”  
\*被災者の気持ちに寄り添い声かけ・コミュニケーション・傾聴を  
\*被災者に「頑張って!」は禁句
- ② 危険な場合（屋根に上るなど）や自分の手に負えない場合は、  
断るか、センターに連絡（相談）して下さい。
- ③ 営利行為や特定の政治的・宗教的活動へのお手伝いは、断って下さい。
- ④ 休憩は多めに、水はいっぱいとること  
\*昼ご飯、飲み水は自分で用意  
\*自分で出したゴミは持ち帰り

★★★★活動終了後★★★★

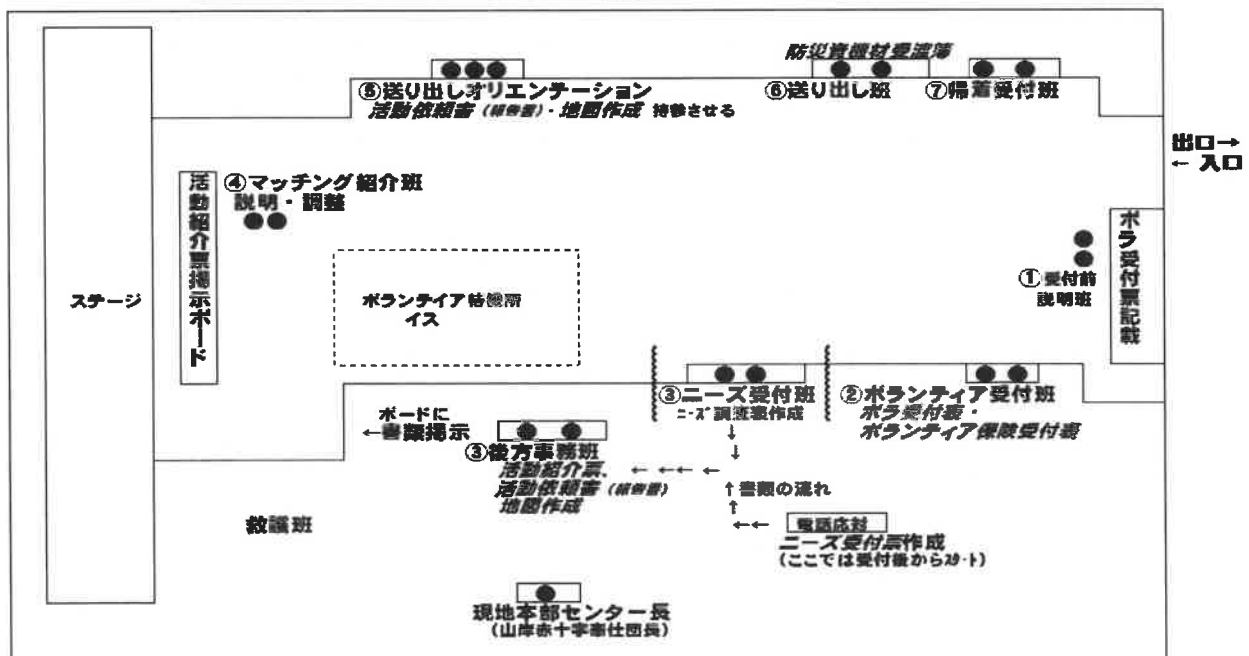
- ① 活動を終わったら、必ずセンターに戻り、そのことを伝えて下さい。
- ② グループリーダーはメンバーの意見をまとめ「活動依頼書」の黒枠の「活動報告欄」に記載して、担当者に渡して下さい。
- ③ 帰宅→自宅に帰るまでがボランティア活動です。責任ある行動を

★問題やわからない事があったら★

新神田校下ボランティアセンター TEL 291-0000まで

独断での判断はしない

災害ボランティア・新神田現地本部 人員配置図 (公民館内想定)



## (5) 復旧・復興期の活動

避難所生活が長期化する場合、金沢市を始めとする自治体やその他の支援組織との連携が大変重要である。

避難所の運営を担う「新神田校下避難所運営委員会」は、食料を始め避難者が必要としている物資を可能な限り入手するために避難者の情報を的確に把握して対処する必要がある。

また、避難所に運ばれてきた物資の受付や保管、管理や配給に関しては、「避難所運営委員会」が中心になるものの、避難者一人一人に仕事を分担し、出来る限り協力して貰う事が必要である。

なお、避難者宅の後片付けなど復旧作業は膨大な作業量であり、被災者のニーズを把握し、災害ボランティアを的確に配置する、いわゆる受援力高めておく必要がある。

## (6) 市町等、消防団、各種地域団体、ボランティア等との連携

番号	連絡先	電話番号
1	金沢市 危機管理課	076-220-2366
2	金沢西警察署	076-266-0110
3	金沢西警察署 入江交番	076-292-1151
4	金沢中央消防署	076-280-5016
5	米丸消防分団	076-291-4966
6	金沢市立新神田小学校	076-291-3821
7	金沢市立高岡中学校	076-291-3177
8	新神田公民館	076-291-0025
9	金沢市 企業局（コールセンター）	0120-328-117
10	金沢市 住宅政策課（空き家）	076-220-2136
11	金沢市 生活支援課（申請援助者宅の雪下ろし）	076-220-2292
12	金沢地方气象台（業務・危機管理担当）	076-260-1461
13	NTT西日本（故障担当）	0120-444113 局番なしの「113」
14	緊急情報電話案内サービス （同報防災無線の放送内容を電話で確認する）	0180-99-77-171
15	石川県社会福祉協議会 （一般社団法人 石川県災害ボランティア協会）	076-234-1616

## 5 実践と検証

### (1) 防災訓練の実施・検証

新神田校下の防災訓練は、1996年（平成8年）から実施している。毎年、訓練終了後直ちに反省会をして次年度に繋いでいる。ここでは、平成27年度からの反省会の内容を掲載する。

#### ① 平成27年度 第19回 市民防災訓練後の反省会の内容

27. 6. 28訓練後の反省会

26年度反省 26. 6. 29実施	27年度反省 27. 6. 28実施
<p>■全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期、時間配分も良かった。</li> <li>・効率的に無駄なく避難者が全員訓練体験できた。</li> <li>・班別にし、各班の町会長がプログラムに従いリーダーシップをとり引率。</li> <li>・終了も10時半にぴったりと終る。</li> <li>・学生リーダー塾の参加、外国人の参加。工夫が見られた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期は問題なし。時間配分も良かった。ただし、雨の影響で参加者が少なかった。</li> <li>・起震車の故障のため、ハシゴ車が活躍。小中生に体験して貰った。良かった。</li> <li>・毎年工夫をしている。ひなん済（裏に非常持ち出し品リスト）、災害時安心シート、防災覚書シートなどを今年全戸配布した。にもかかわらず</li> <li>・反省会に町会長、防災委員の来ない町会有一些。これではひなん済貼付率低下は避けられない！！</li> </ul>
<p>■ひなん済張り紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年のひなん済の貼付率は62%と微増。</li> <li>・ひなん済ちらしにシェイクアウトのコメントを入れず、シンプルにした。</li> <li>・ひなん済の貼付率がダウンした町会は来年はアップさせて欲しい。コツコツと貼付率をアップさせたい。</li> <li>・各戸にひなん済を配布するタイミングを考える必要あり。前日の夕方の配布例があつた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校下全体でひなん済の貼付率が62%から54%とダウンしている。このマンネリを打破したい。防災意識の向上のため、何が必要か？コツコツの啓発不足か？ 町会長は防災委員に丸投げしていないか？ もっと防災委員に全面的な協力を！</li> <li>・前日の朝、配布する町会もあった。防災委員の町役員への啓発および町役員の防災意識の高揚を！</li> <li>・貼付率がUPしたのはガ-デ-と玉鉾親交会のみ。</li> <li>・まちなか訓練では、各戸のボードを利用し、ひなん済み貼付率もアップ（66%）した（ガ-デ-）。</li> <li>・ひなん済の用紙の下に、班長などが回った証拠にチェックがあれば良かった（新神田）。</li> </ul>
<p>■シェイクアウト訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年初で、各町会の集会所でのシェイクアウトを実施。しない町会も数件あり。課題残る。</li> <li>・初の防犯パトロールは良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年2回目、各町会の集会所でのシェイクアウトを実施。しない町会1件のみ。</li> <li>・防犯パトロールもしない町会1件のみとなった。</li> </ul>
<p>■情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員等の情報収集訓練は定着した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が把握している要支援者90人、別途町役員が把握</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が赤いジャンパーを着て、町内を回っていたのが心強かった。</li> <li>・室内で情報収集をし、マッピング出来たのは外より良かった。</li> <li>・パソコンの集計は良かった。ギリギリで持ってきた町会に対応出来た。なお、防災委員用の報告書を使用していない 町会が数件あった。</li> </ul>	<p>握した要支援者は84人と、殆ど近似してきた。良いことである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後の情報収集の終了が10時を回った。もう少し防災委員の記録提出を早くして欲しい。</li> <li>・なお、8時にある町会が本部に集まるのは早すぎる。もっと時間調整して欲しい。</li> <li>・情報班としてはスーパーサブがいて安心している。給食給水班には必要と思う。</li> <li>・今年は防災委員用の報告書を全員使用した。</li> <li>・久しぶりに参加して、被災状況報告書から被災状況を図示するなど実践的で身近な訓練であった。</li> <li>・衛星電話について事前準備が必要であった。</li> </ul>
<p>■多言語表示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人のために市本部からの食糧配給ではハラール食品に気配りを。 (Halal Food とは、イスラム教の法律にのっとった食べ物のこと。イスラム法の下では豚肉を食べることは禁じられているが、その他の食品でも加工や調理に関して一定の作法が要求される。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は韓国、中国の方の参加であった。中国の方は、マナーモードの表示は中国では異なるとの指摘があった。改善の必要あり。</li> <li>・更に、外国人の救護に対する質問項目が多項目あるため、悪い箇所がぼやけ、救護する医師・看護師がどう対処して良いか分かり難かった（今回は安田内科病院が待機していた。）。もっと分かり易いくする必要あり。</li> </ul>
<p>■進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行プログラムを全員に渡したので、人の流れがスムーズであった。</li> <li>・避難者の座る位置を予め指定してあったのでスムーズであった。</li> <li>・開会式の数分間座った程度で直ぐに体験訓練を開始した。</li> <li>・今年は来賓に、最後に講評をいただき、更に、関係団体の皆さんに感謝の言葉も添えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年も進行プログラムを全員に渡したので、人の流れがスムーズであった。</li> <li>・座る場所の指定、進行、訓練の空き時間なくスムーズに流れた。なお、足の不自由な人のため、座椅子か壁際に椅子を用意するなどして欲しい</li> <li>・開会時間が少し長引いたが、予定通り進めることが出来た。</li> <li>・来賓の講評、関係団体の労いのお礼は良かった。</li> </ul>
<p>■給食給水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年も炊きだし訓練での高中生徒の頑張りが大変良かった。体育部の応援も良かった。</li> <li>・炊き出し訓練では事前にベテランの女性が2名、先にダンドリしてくれたのでスムーズに行えた。高中なごりん隊で昨年参加した生徒もあり、今年はスムーズに行ったねと言われた。</li> <li>・小学校の「まかないくん」も利用したので良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この件は、一昨年の課題であったので、昨年は、ベテランの女性がいたので助かったが、今年は一昨年に戻った。給食給水班で一番忙しい時期に開会式で宣誓したため、現場がお留守になり、ムタムタになっていた。</li> <li>・給食給水班としては、班長の次に恒久的なスーパーサブの養成が必要であると言っているのに。</li> <li>・高中なごりん隊での男子生徒が黙々と頑張っていた。感謝する。学生ボランティアが下りてきたときには殆ど終わっていた（学生は外国人受付をしていた。）。</li> <li>・炊き出しの数が300パックとしていたが、足りなかった。事前の人数把握が必要。</li> <li>・物資スペースが本部の奥（市のマニュアルどおり）は、不</li> </ul>

<p>■訓練内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• AED訓練の説明が良かった。ただし、マイクがあればなお良かった。</li> <li>• 室内での土のう積み訓練は、市でも初めて。工夫して訓練していた。ひもの結び方も勉強になった。</li> <li>• 今年初めて実施した外国人の受け入れではボランティア通訳の必要性が課題として残った。</li> <li>• 救護訓練（三角巾）がいつの間にか無くなっていた。修正前のちらしのままであった。</li> </ul>	<p>都合であるので、入口付近にして欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 外国人は訓練内容について勉強できて良かったと言っていた。</li> <li>• 来年の本部訓練に参加する町会が事前に本部訓練の内容を見ることが出来て参考になった。</li> <li>• 初めて参加した。犀川に近いので、土のう積み訓練は参考になった。</li> <li>• 運営組織の立ち上げ時、各部門担当チーフを選んだ。今後も組織責任者の必要性を訴えていきたい。</li> <li>• 民生委員の要保護者の確認率はやや下がったが、町会の外の人も含めて今後の課題である。</li> <li>• 避難所のダンボール組み立てを自由にさせたところ、皆んな工夫して組み立てていた。外国人の居住空間の取り方は考えさせられた。面白かった。</li> <li>• 子ども消防クラブとしては、土のう積み、水消火器、ハシゴ車、災害ボランティア受付など全てを体験出来たの良かった。ただし、子ども達の訓練への自覚をどのように高めるかが課題である。</li> </ul>
<p>■災害ボランティア受付訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害ボランティアの受付訓練では、全体の説明をしながら誘導する人がいなかったの少し混乱があった（公民館委員の説明時に班長の参加が必要）。</li> <li>• 災害ボランティアの地図を地元版にすれば。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今回から山岸赤十字奉仕団長に全体を誘導して貰った。スムーズに流れた。</li> <li>• 災害ボランティア受付訓練に公民館委員として参加しているが、今年が一番良かった。年々良くなっている。ただし、練習時と異なることがあり、少し戸惑った。</li> <li>• ニーズ受付も必要かも知れない。（このことはだんだんと訓練内容が進化している証である。）</li> <li>• 今年は日本赤十字に見学して貰い、災害ボランティア受付訓練を大変興味深く見て貰った。</li> <li>• 避難しに来たのに、災害ボランティア訓練とは？ の質問あり。</li> </ul>
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年は、前日に組み立てして確認した。</li> <li>• 更に発電機の操作訓練もした。</li> <li>• まちなか訓練後に、本部訓練に参加。全体訓練を見られて良かった。参考になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本部訓練に赤ん坊を含め参加させて貰い、子ども達もハシゴ車に乗れたのが良かった。</li> <li>• 年1回の貴重な訓練。今回は天候が悪かったので少なかつたと思う。もっと、天候が良ければ。</li> <li>• 初めて参加して規模内容の充実にびっくりした。</li> <li>• まちなか訓練では、電話による緊急連絡網の確認、自己で行うAED訓練、ひなん済貼付率も雨の中、まあまあであった（糸田新）。</li> <li>• まちなか訓練、本部訓練は思ったより多くの参加があった。強いて言えば、跡片付けの公民館前のテーブルの置き場は、崩れない様な工夫が必要。</li> </ul>

- ・一昨年に本部訓練に参加した。進化しているのにびっくりした。帰って町会に伝えたい。
- ・役員の手慣れた運営に感心した。もっと多くの人が経験してくれたら実際に間に合うと思った。

## ② 平成28年度 第20回 市民防災訓練後の反省会の内容

28. 6. 26訓練後の反省会む

27年度反省 27. 6. 28実施	28年度反省 28. 6. 26実施
<p>■全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期は問題なし。時間配分も良かった。ただし、雨の影響で参加者が少なかった。</li> <li>・起震車の故障のため、ハシゴ車が活躍。小中生に体験して貰った。良かった。</li> <li>・毎年工夫をしている。ひなん済（裏に非常持ち出し品リスト）、災害時安心シート、防災覚書シートなどを今年全戸配布した。にもかかわらず</li> <li>・反省会に町会長、防災委員の来ない町会がある。これではひなん済貼付率低下は避けられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年は611人、今年は天候も良く649人の参加。</li> <li>・地震、水害。どの災害に対しての訓練か不明確。自分は地震と大水害が発生したとの考えで訓練に参加したと思っている。</li> <li>・各種の災害に特化して絞り込んだ訓練をしてみは？ 検討結果：5年に1度、本部訓練に参加する町会のため、新神田地区の災害の特殊性から津波、崖崩れより、地震・大雨・火災被害の想定で実施しないといけない。今後も大雨時に地震が発生。</li> </ul> <p>堤防が決壊、更に火災が発生との想定での本部訓練が望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練項目タイムスケジュール表は2階よりピロティに置いて配布したら良かったのでは。</li> <li>・マスコミ、視察者など対応する本部を設置して欲しい。</li> <li>・通常は煙中訓練して2階体育館へ行くのが、順序が逆になり、流れがスムーズでなかった（煙中訓練が開会式前に設置出来なかったため）。</li> </ul>
<p>■ひなん済張り紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校下全体でひなん済の貼付率が62%から54%とダウンしている。このマンネリを打破したい。防災意識の向上のため、何か必要か？ コツコツの啓発不足か？ 町会長は防災委員に丸投げしていないか？</li> <li>・貼付率がUPしたのはひなんボードを利用したガーデンと玉鉾親交会のみ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会のひなん済張り紙貼付率がアップした。班長に頑張ってもらった。良かった。（9町会）</li> <li>・全体的に貼付率が54%から59%にアップした。</li> </ul>
<p>■シェイクアウト訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年2回目、各町会の集会所でのシェイクアウトを実施。しない町会1件のみ。</li> <li>・防犯パトロールもしない町会1件のみとなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年3回目、しない町会1件のみ。（しなかった町会：来年の課題と受け止めていると反省している。）</li> <li>・防犯パトロールは、全町会実施。</li> </ul>
<p>■情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が把握している要支援者90人、別途町、役員が把握した要支援者は84人と、殆ど近似してきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6/20全体の合同会議で図上訓練での要援護者の数を確認すべきだった。</li> <li>・被災状況の張り紙（負傷者、道路の状況、家屋の状況、停電の状況）の貼付率が低下している。</li> </ul>



<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全ての情報収集の終了が10時を回った。もう少し防災委員の記録提出を早くして欲しい。</li> <li>• なお、8時にある町会が本部に集まるのは早すぎる。もっと時間調整して欲しい。</li> <li>• 情報班としてはスーパーサブがいて安心している。給食給水班には必要と思う。</li> <li>• 今年は防災委員用の報告書を全員使用した。</li> <li>• 久しぶりに参加して、被災状況報告書から被災状況を図示するなど実践的で身近な訓練であった。</li> <li>• 衛星電話について事前準備が必要であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 民生委員が把握している要支援者139人、別途、町役員が把握した要支援者は78人と前年より乖離した。町会の外の人も含めて今後の課題。</li> <li>• また、町役員が把握した要支援者の見守り%が大きくダウン(93%から71%)。今後の課題。</li> <li>• 情報収集の提出が比較的早く、スムーズであった。しかし、遅い町会が毎年2町会ある。きちりと守って欲しい。</li> <li>• 災害状況を図示するのに油性マジックを使用すると、シンナーなどで消せないなので、水性マジックにして欲しい。来年も使用するので。</li> <li>• 衛星電話については上手くいった。</li> </ul>
<p><b>■多言語表示</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 今回は韓国、中国の方がメインであった。中国の方は、マナーモードの表示は中国では異なるとの指摘があった。改善の必要あり。</li> <li>• 更に、外国人の救護に対する質問項目が多数あり、ぼやけていて、受ける医師・看護師の方がどう対処して良いか分かり難かった(今回は安田内科病院が待機していた。)。もっと分かり易く悪い部位の説明が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 多言語の外国人の受付表示がなかったこと。</li> <li>• 外国人救護について今年は、救急隊の多言語救急アプリで対応したので分かり易かった。しかし、外国人受付から救護コーナーにいる病院関係者に渡す、外国人の被災部位を示した連絡票&amp;メモがないため対処が不十分であった。課題あり。</li> <li>• 折角、外国人の救護について安田内科の院長先生が待っている空白の時間があるので、何か血圧計を置くなど一般人の救急コーナーとしての役割も考える必要あり。</li> </ul>
<p><b>■進行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 座る場所の指定、進行、訓練の空き時間なくスムーズに流れた。なお、足の不自由な人のため、座椅子か壁際に椅子を用意するなどして欲しい</li> <li>• 開会時間が少し長引いたが、予定通り進めることが出来た。</li> <li>• 来賓の講評、関係団体の労いのお礼は良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 司会進行を担当した。スムーズであった。訓練内容によっては15分以上かかるものもあり、以内に抑える工夫が必要。集団で移動する時間も見てタイムスケジュールを組み立てる必要あり。</li> <li>• 子ども消防、なごりん隊、外国人、学生などある程度人数が分かるものについては、事前に訓練タイムチャートに組み込む必要あり。空いているところに自由参加はムタムタになる。</li> </ul>
<p><b>■給食給水</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• この件は、一昨年課題であったので、昨年は、ベテランの女性がいたので助かったが、今年は一昨年に戻った。給食給水班で一番忙しい時期に開会式で宣誓したため、現場がお留守になり、ムタムタになっていた。</li> <li>• 給食給水班としては、班長の次に恒久的なスーパーサブの養成が必要であると言っているのに。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年は、給食給水班に恒久的なスーパーサブとして、児童館の母親クラブ(山岸、西田さん)の協力のもとで実施。スムーズであった。来年もそうしたい。</li> <li>• 参加町会は人数は前もって分かっていたが、外国人、なごりん隊、子ども消防、視察者(加賀市、</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・高中なごりん隊での男子生徒が黙々と頑張っていた。感謝する。学生ボランティアが下りてきたときには殆ど終わっていた（学生は外国人受付をしていた。）。</li> <li>・炊き出しの数が300パックとしていたが、足りなかった。事前の人数把握が必要。</li> </ul>	<p>瑞樹団地ほか）など人数が不確定であり、アルファ米を配る必要もあるので事前に分かれば教えて欲しかった（事務局の連絡ミス）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物資スペースを、ピロティにしたため配布がスムーズであった。</li> </ul>
<p>■訓練内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人は訓練内容について勉強できて良かったと言っていた。</li> <li>・来年の本部訓練に参加する町会だが事前に本部訓練の内容を見ることが出来て参考になった。</li> <li>・初めて参加した。犀川に近いので、土のう積み訓練は参考になった。</li> <li>・運営組織の立ち上げ時、各部門担当チーフを選んだ。今後も組織責任者の必要性を訴えていきたい。</li> <li>・避難所のダンボール組み立てを自由にさせたところ、皆んな工夫して組み立てていた。外国人の居住空間の取り方は考えさせられた。面白かった。</li> <li>・子ども消防クラブとしては、土のう積み、水消火器、ハシゴ車、災害ボランティア受付など全てがスムーズに行ったのは良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が日本語を理解出来るので説明が簡単で避難所のダンボールの組み立てはスムーズであった</li> <li>・簡易ベッドは好評であった。しかし、簡易トイレは2、3人が腰掛けたら壊れた。子ども用か？今後の課題。</li> <li>・避難所運営組織の立ち上げを今年も作った。毎年実施しているので誰がその任かが分かるようになった。私の後継者の育成も必要となった。</li> <li>・今年は、北陸大学の留学生20人参加。ハシゴ車、地震体験車、ダンボール組み立て、土のう積み訓練など初めてのよい経験。とても喜んでた。</li> </ul>
<p>■災害ボランティア受付訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回から山岸赤十字奉仕団長に全体を誘導して貰った。スムーズに流れた。</li> <li>・災害ボランティア受付訓練に公民館委員として参加しているが、今年が一番良かった。年々良くなっている。ただし、練習時と異なることがあり、少し戸惑った。</li> <li>・ニーズ受付も必要かも知れない。（このことはだんだんと訓練内容が進化している証である。）</li> <li>・今年は日本赤十字に見学して貰い、災害ボランティア受付訓練を興味深く見て貰った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年で3回。スタッフもボランティア役も慣れてきているのかスムーズに出来た。なお、全く知らない隣接校下の人達にも実施したら如何か。</li> <li>・今年は事前にニーズ受付をし、活動紹介、活動依頼票作成して、公民館委員で事前にシュミレーション訓練をした。</li> <li>・今年も日本赤十字に見学して貰い、災害ボランティア受付訓練を見て貰った。</li> </ul>
<p>■AED</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は日赤のご厚意でAED20体お借りして実施。初めての大規模なAED訓練。戸惑いもあり、25分待ちなど最初はスムーズに流れず心配したが、後半は順調に流れた。</li> <li>・しかし、最初のロスタイムが全体の流れに影響があり、全体的にはギクシャク感があつた。</li> <li>・AED訓練の場は狭かった。もっと集合場所へ拡張したかったが最初の設置場所ですべて固定化したため狭かった。</li> <li>・そのため、人で密集したため勿体ないが常に5体程度余っていた。今後の課題。</li> <li>・地元の日赤奉仕団員3名含めて指導したが、指導員の数が足りなかった。今後は地元の経験者も含めて1体3人などマニュアルを作って指導するほうが良い。</li> <li>・マイクの音量が大きく、割れていたため聞きにくかった。</li> <li>・初めての経験で大変良かった。なお、校下のAED設置箇所を周知して欲しい。</li> </ul>	
<p>■その他</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回の貴重な訓練。今回は天候が悪かったので少なかったと思う。もっと、天候が良ければ。</li> <li>・初めて参加して規模内容の充実にはびっくりした。</li> <li>・まちなか訓練、本部訓練は思ったより多くの参加があった。</li> <li>・役員の手慣れた運営に感心した。もっと多くの人が経験してくれたら実際に間に合うと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AED訓練のみの参加町会（本江、新神田、玉鉾親交会）はそのまま帰らずに、訓練項目の空いているものにも参加して欲しかった。</li> <li>・なお、飛び入りで空いている訓練に参加させたため、正規の町会が待ち時間や撤収の早いのもあり、時間通りに訓練できなかった。</li> <li>・地震体験車にダンボールのタンスを設置して訓練した。ダンボールなどの支えの必要性が理解出来た。</li> </ul>
--	--

### ③ 平成29年度 第21回 市民防災訓練後の反省会の内容

29. 6. 25訓練後の反省会

<p>■全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米丸の防災士も見に来ていた。きめ細かい訓練は大変参考になったと言っていた。準備8割、実施2割、つくづく思った（入江）。</li> </ul>
<p>■ひなん済張り紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小雨降る中、玉鉾親交会のひなん済の貼付率は91%と過去最高。良かった。</li> <li>・ひなん済の貼付率もダンダンと伸びている。町会の皆様の力があつた。来年も頑張りたい。（入江1中）</li> <li>・ひなん済を100%にするため当日も班長が回りチェックしてお願いした。しかし、9世帯は連絡が付かず、93%となった。非常に悔しい（本江町）。</li> </ul>
<p>■シェイクアウト訓練等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年で4回目、各町会の集会所でのシェイクアウト。しない町会1件のみ。</li> <li>・防犯パトロールもしない町会1件のみとなつている（以上、玉鉾1）。</li> </ul>
<p>■情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10時までの情報収集が9時45分で閉めることが出来た。昨年より徹底した。</li> <li>・情報収集において床上浸水、道路陥没などの情報が年々減ってきている。むしろ各町会から地図に書いて持って来て欲しい。情報班で図面に落とすにもその方が良いと思う。</li> <li>・民生委員や町役員の要支援者の把握の方法を徹底して欲しい。内数か外数か？</li> </ul>
<p>■多言語表示から救護へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年は20人も外国人がいて傷害部位を示した連絡票&amp;メモがないとの指摘があり、今年是对処した。</li> <li>・しかし、今年の外国人は4人と少なく、折角、外国人の救護について安田内科の担当が待っている空白の時間があつた。何か血圧計を置くなど一般人の救急コーナーとしての役割も考える必要ありと言っていたのに。今年もなかつた。</li> </ul>
<p>■進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にタイムスケジュールを組みスムーズに流れていた。</li> <li>・年配の人が多くなり、開会式で2階、ピロティでの各種訓練、また、閉会式での2階は疲れるとのこと。</li> <li>・全員用のパンフに閉会式が10時15分となっている。しかし、アナウンス原稿は10時30分であり、タイムラグがあり待ち時間の無駄があつた。</li> </ul>
<p>■給食給水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の炊き出し訓練は良かった。缶詰、パン、カレーなどバラエティに富んでいた。</li> <li>・炊き出し補助2年目。アルファ米は150食。少ない中で工夫した。パン、カレーなどお湯があれば何でも出来ることを知った。中学生のなごりん隊のガンバリや初めて担当する町会の皆さんも良かったと言っていた。</li> </ul>

- ・カレー食に人気があった。好評でありもっと数を増やしたい。
- ・対策本部での予算化を。パック@100円、カレー@100円 来年の課題。

#### ■訓練内容

- ・子ども消防担当。男10人、女6人、大人4人、計20人で参加。  
防災倉庫の点検、ハシゴ車、地震体験車、簡易トイレ、土のう積み訓練、木造家屋耐震診断、避難所運営など一通り訓練出来た。ハシゴ車で傘、帽子を忘れた子どももいたが、体験出来て良かった。
- ・初めて子ども消防と体験出来た。良かった（子ども消防担当）。
- ・水消火器、救護の簡易担架のコーナーが手持ちぶさただった（情報班、女性の視点班）。

#### ■女性の視点からみた避難所運営コーナー

- ・今年初めてのコーナー。ガーデンパレス、本江第2、消防、金沢市の担当者に見て貰った。大変好評だった。もう少し何町会も来て欲しかった（石黒）。
- ・アンケートのコーナーは良かった。ガーデンパレスが参加者の胸にネームホルダーを付けていた。良い事だと思った。来年、本江にもしようかな？（加藤）

#### ■災害ボランティア受付訓練

- ・赤十字の山岸さんが担当して今年で4年目。スタッフもボランティア役も慣れてきているのかスムーズに出来ていた（山岸、河原）。
- ・コツが掴め、最初に全体の流れを説明。これで事前研修を思い出し、スムーズに流れていた。なお、マッチング、活動紹介、オリエンテーションなど文言の整理が必要と思われる（畑下）。
- ・終了後、各種帳票を整理したところ上手く流れているのが帳票で確認できた（畑下）。

#### ■AED訓練

- ・AEDの補助担当。赤十字の人と一緒にしたので教え方が分かった。初めての人は喜んでいて。
- ・最初のAEDでは、説明に時間が掛かり、進行に時間がかかった。
- ・AED訓練は昨年より今年は最高に良かった。20名の操作補助員をつけてマンツーマンで操作訓練出来た。
- ・最初のAEDでは日赤の説明に時間が掛かり進行に時間がかかったので、2巡目から日赤の方に操作補助員の力量に任せて黙ってとお願いしたもの。このことがバラバラになったもよう。

#### ■その他

- ・訓練当日、葬儀もあり参加者は例年より少なかった。
- ・今後の課題は、ひなん済み貼付率のアップと民生委員の把握している保護世帯（災害時要支援者）と町会役員が図上訓練で把握している要支援者の数が同数となるよう努力したい。
- ・本部訓練に参加し大変勉強になった（以上、糸田新）。
- ・まちなか訓練でのシェイクアウト、防犯パトロールが唯一徹底しなかった。避難所運営が分かる人が増えることは大変大事だと訓練で分かった（玉鉾1）。
- ・イトウチューでの炊き出し訓練。今までは町会の役員のみ。今年は役員以外のいろいろな人達が参加していた（新神田南）。
- ・防災訓練は楽しくやりたい。我が町会は73人参加している。午後は火おこし訓練兼バーベキュー大会をします。
- ・訓練後の大和町防災倉庫への返却は閉会式中に行うため専任担当が必要。

#### ■総括

- ・救護コーナーの充実（血圧計？）
- ・消火器訓練、簡易担架など救護コーナー、女性の視点からの避難所運営など万遍なく回すことを考えたい。空いたコーナーのないように工夫を！！
- ・情報収集ででは被災地図を書いて提出を！！

- ・学生の参加を（今年はゼロ）何か工夫出来ないか？
- ・女性の視点では来年は現物（簡易スリッパ、簡易トイレ（今年展示）、乳幼児の必要物品、女性の必需品など）の展示を！

## ⑤ 平成30年度 第22回 新神田校下市民防災訓練 反省会の内容

30. 6. 24訓練後の反省会

<p>■全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年はまだなか訓練、本部訓練合わせて659名参加。（28年度：611人、29年度：581人）</li> <li>・ほかに米丸、長土塀、犀川、三和、加賀市の防災士・防災リーダーに来て頂いた。きめ細かい訓練は大変参考になったと言っていた。</li> <li>・加賀市の防災士は、災害ボランティア受け付け訓練にびっくりしていた。（以上：事務局）</li> </ul>
<p>■ひなん済張り紙（28年度：59%、29年度：64%、30年度：64%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひなん済の貼付率をもっとアップしたかった。企業さんへ回覧していたのが、止まって周知が遅かった。来年は工夫したい。（玉1）</li> <li>・避難訓練参加者は若干増えて良かった。ひなん済みの貼付率をアップさせたい。（玉鉾親交会）</li> <li>・ひなん済の配布は、早すぎず、遅すぎずのタイミングが必要と思った。（新神田南）</li> </ul>
<p>■シェイクアウト訓練等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年で5回目、全町会の集会所でのシェイクアウト実施。防犯パトロールも全町会が実施。（事務局）</li> </ul>
<p>■情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集班は10時締め切りは遅い。もっと早く閉めたい。（情報班）</li> <li>・情報収集において床上浸水、道路陥没などの情報が年々減ってきている。各町会から地図に書いて持って来て欲しい。情報班で図面に聞き取りして落とすよりその方が良い。AEDの設置箇所は把握できた（別紙参照）。危険と思われるブロック塀は喫緊の課題。（事務局）</li> <li>・民生委員が把握している保護者の見回り確認率がアップしたことに喜んでいる（28年度：63%、29年度：61%、30年度：73%）。特に今回の大阪北部地震ではあまり機能しない都市ががあったので。（浦田）</li> </ul>
<p>■多言語表示から救護へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は外国人・学生がそれぞれ10人程度の来て救急アプリや傷害部位を示した連絡票で対処した。</li> <li>・今年も救護について安田内科の担当が持っている空白の時間があった。コースに入れたものの今後の課題が残る。（以上：女性防火クラブ）</li> </ul>
<p>■進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は防災倉庫の点検をしなかったため、比較的にスムーズに各種目の訓練に参加出来た。（こども消防クラブ）</li> <li>・開会式には来賓の紹介を入れ、閉会式は短めに来賓の講評のみとすべき。今回講評が長いとの指摘があった。</li> <li>・全体の動きを見ていた。良く流れていたと思う。地震体験車、ハシゴ車、水消火器もコースに入れた方がよいと思う。（以上：総務班）</li> </ul>
<p>■給食給水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食給水班のサブの母親クラブが来年は、班長になって欲しい。今年は高中のなごりん隊の補助がなかったので、作りながらの説明はちょっと厳しかった。ミニカレーは好評であった。（鍋木）</li> <li>・今年は高中は試験の週のため部活のない日曜日で参加出来なかったもの。来年の防災訓練が6月30日であるなら参加できるとのこと。（事務局）</li> <li>・母親クラブとして協力した。来年は班長としてですが、いろいろな質問があった。例えば、アルファ米</li> </ul>

は何処にあるか。初歩的な質問もあり、勉強しておく必要あり。今まで、高中なごりん隊の戦力は強力であった。今年はいないのでつくづく厳しかった。(母親クラブ)

#### ■訓練内容

- 毎年の土のう積み訓練は大変良い。参加者も40人程度いる。(糸田)
- ダンボール組み立てを体験して貰い、TVなどで見ているより狭いと実感していた。
- ペットボトルの箱で簡易ベットを組み立てて貰った。好評であった。
- 今回サブを充てて実施したので大変スムーズで良かった。(以上：浦田)
- ダンボール組み立てを担当。町会に加入していない要配慮者への周知方法。ひなん済の貼付率も病院、施設に入院、入所している人のカウント方法の検討を。(宮倉)
- まちなか訓練における水消火器はスムーズであった。(入江1中)

#### ■女性の視点からみた避難所運営コーナー

- 女性の目から見た避難所のあり方コーナー、今年は簡易コップ、簡易スリッパの実演。5年持つ水、水のいらぬシャンプーなど展示。好評だった。
- 大人の食いつきは悪かったが、子どもたちは興味を持ってやってくれた。それで大人もつられて実演していた。良かった。
- 民生委員として、本江、本江第2町会の保護者全員、空きやも入れて把握できた。(以上：加藤)

#### ■災害ボランティア受付訓練

- 災害ボランティア受付訓練の機の配置を変えたので流れが良くなった。入口に全体の流れを図示したパネルで一括説明出来たので良かった。テーブルがもう1つあればなお良かった。(川原)
- 班別のグループ行動にプラカード(うちわによる班表示)は良かった。グループリーダーが分かるので災害ボランティアの説明もし易かった。(山岸)

#### ■AED訓練

- AED訓練で3つ壊れていたことと、説明の声が小さいとの指摘あり。(新神田南)
- AEDについては早速、日赤に伝え善処することのこと。(事務局)

#### ■危険と思われるブロック塀について

- 昭和57年の校下のブロック塀調査が張り出してあった。今後、これと、現在の状況が分かる工夫が必要である。(扇子)
- 危険と思われるブロック塀について今後、地図に落とし込みしようと思っている。(新神田)

#### ■その他

- 今年は、学生、外国人の引率をしたが、集合時間が徹底していなかった。ハシゴ車、地震体験車、救急アプリなどグループを細分化して、訓練に参加して貰った。概ね好評だった。(石黒)
- 参加者は少なくなっている。大勢参加させる工夫をしたい。ひなん済み貼付率もアップさせたい。(糸田新)
- 少なくとも参加者はコンスタントに来ているが、皆さん仕事、用事などで途中から抜けていった。仕方がないか。避難ずみ貼付率は過去最高であった。(けやき台)
- 防災倉庫の点検も行ったが固形燃料の必要性が疑問。再検討の必要有り。
- 発電機コーナーを期待していたが今年は無かった。何故？(以上：女性防火クラブ)  
発電機は小学校の備蓄であったのに出すのを失念していたもの。(事務局：ごめんなさい)
- ひなん済の貼付はマンションの階によって異なるので、独自に工夫したい。AEDの設置を検討している。(ガーデンパレス)
- 日本青年団協議会のパネル展示、折角の良いパネル、PRに工夫が必要だった。(扇子)
- 子ども消防クラブ員の誓いの言葉は大きい声でしっかりしていて良かった。(入江)
- 住民への説明不足。反省のみ。(本江第2)

## ⑥ 令和元年 第23回 市民防災訓練 反省会の内容

令和元年8月25日訓練後の反省会

### ■全体

- ・今年の新神田校下の防災訓練は、金沢市民防災訓練・3カ所（西校下・新神田・米泉）の1つとして実施。市長も巡視の中、注目の訓練であった。
- ・町会の一時的避難所へは492人、新神田小学校の本部へは、学生（15人）、外国人（14人）、区域外（20人）を含め、448人が参加し、大規模な密度の濃い防災訓練であった。
- ・今年初めてリュック持参を呼び掛けたところ、本部訓練へは85%（382人）の着用率であった。今後の習慣づけが必要と思う。
- ・シェイクアウト訓練はステージで模範演技する人が必要だった。

### ■ひなん済張り紙

- ・全世帯配布の「防災訓練のちらし」は「ひなん済張り紙」と「広報チラシ」両面刷りであった。しかし、別々にすべきであった。このため8月20日頃に広報しても周知徹底しなかった。（入江、東入江）
- ・参加者数、「ひなん済張り紙」の貼付率は昨年並み。もっと工夫したい。（玉鉾親交会・入江1中）
- ・まちなか訓練は、町会の役員会で班長に細かく説明して、責任を持たせて動いている。8.25は、大分前から周知徹底している。7月には土のう積みや各種訓練を行っている。「ひなん済貼付率」100%目指している。今回は99%で非貼付は1件のみであった。校下全体が下がっているのは、ガッカリした。（本江）
- ・ひなん済貼付率がアップした。良かった。（本江第2）
- ・ひなん済貼付率がダウン。班長などへの貼り付けを徹底したかった。（けやき台・新神田南）
- ・「防災訓練のちらし」を回覧で回した。そのためか貼付率がダウンしたか。（糸田）

### ■総務班

- ・今回の避難所開設運営訓練は、より臨場感を出すため、公民館委員が各町会から集団避難してきた後に、避難所の各種ラミネート案内表示（外国語表示など）を各自で考えて、必要な箇所に張り出して貰った。事前に張っておくよりより現実の動きに近づいたように思った。（総務班）
- ・本部避難者が記入する「避難者名簿」を2階体育館で記入したが、記載場が混雑していた。もう少し工夫が必要。
- ・ゴミの指示、箱の設置は良好であった。
- ・学生、外国人を優先にして、ハシゴ車、地震体験車に回した。良かった。喜んでた。救護班の簡易ベッドづくり、手話通訳コーナーも非常に良かった。

### ■情報班

- ・防災委員が、情報班に提出する「状況報告書」の提出が忘れていたりして混乱した。毎年行っている事なのに初歩動作が抜けている。忘れないで欲しい。

### ■被災者管理班

- ・受付で本部訓練参加者に渡す、「避難者名簿」「本部訓練タイムチャート」「下足入れビニール袋」の3点セットは停滞なくスムーズに渡せ、とても良かった。  
→被災者管理班の仕事は、ピロティでの作業のみとしたため。（事務局）

### ■食料物資班

- ・カレー食に人気があった。好評でありもっと数を増やしたい。なお、アルファ米のカレー食を知らない人もいた。（新神田南・長土堀防災士・一般参加者）

・カレーを350食用意した。思ったより多くの避難者が参加したので。アルファ米をプラスした。みんなが美味しいと言ってくれた。代表者が取りに来るように徹底したい。

#### ■衛生救護班

・最初から救護の必要な人の動線が不明確であった。ピロティの「被災者の受付」から2階の避難者名簿を記入してから下へ下りるのはナンセンス。

→今後は、「被災者の受付」から直接、救護に行き、避難者名簿を記入してもらい、これを代理が2階に持って行く。本人はそのまま救護を続けることとしたい。(事務局)

・動線の矢印が必要であった。(押野の防災士からの伝言)

・救護の対象者は40人近かった。簡易ベッドをつくる事も良かった。

・そろそろ、車いすの対応訓練も必要である。(衛生救護班+東入江・新神田・長土塀防災士)

・避難所の衛生救護班の動きを見ていた。動線が不明確なため混乱があった。今後は車イス対応、トイレ対応も含めて来年はもう少し具体的に考えてみては？(長土塀防災士)

・ヘルプマークの対応も必要であった。(総務班)

#### ■進行

・事前にタイムチャート全員に渡したのでスムーズに流れていた。

・衛星電話の会場内に伝え方にトラブルあり。何度も確認していたのに。(事務局)

#### ■訓練内容

・参加した人達は訓練内容は良かったと言っていた。(入江)

・ドローン展示は、2階体育館ベランダやグラウンドに下りて多くの人が見物していた。良かった。(東入江)

・手話通訳コーナーは良かったし、分かり易かった。(長土塀防災士)。しかし、マイクの声が小さく聞きづらい声もあった。(一般参加者)

#### ■その他

・消火器訓練の位置が、案内図面と違っている。(東入江)

→これは当日、ピロティ前の水道工事のため急遽変更したもの。(事務局)

・町会の一時避難所へは41人、本部訓練には30人が参加。乳飲み子を抱えた若い夫婦も本部訓練に参加してくれた。良かった。(糸田新)

#### ■総括(事務局)

・今年は避難所の運営に力点を置いたため、訓練は限られたものとなり、1町会1つの訓練とした。暑い中での熱中症も考えられ1時間半程度で終えることが出来た。関係機関のご協力に心から感謝する。

・ところでいつも反省会で話題になる「ひなん済張り紙」の貼付率。反省会では、各防災委員は今後は工夫をしたいと言っているが、毎年、下がる一方。マンネリになっていませんか？

・本江町の例を参考に出来ないか提案します。まず、防災委員が町会の役員会に参加していますか？是非参加して説明して下さい。各班長にどれだけ伝えたかによります。回覧するだけでは誰も動きません。貼付を促し、無ければ「ひなん済」の予備を上げますので、班長自らが張るよう仕掛けて下さい。そうすれば次の年は各家が貼付するでしょう。

・もう一つの提案。今年はチラシの両面に「ひなん済張り紙」と「広報チラシ」が一緒になって周知が遅くなったと思います。来年は、校下の盆踊りのチラシのように大型判のチラシを各町会の掲示板に掲示するなど、出来ないか考えます。



## (2) 防災意識の普及啓発

校下全体に於いては、少なくとも毎年一度の防災訓練を実施して「ひなん済張り紙」「訓練ちらし」を全戸配布するなどして防災意識が途切れる事のないようにしている。

防災委員会のメンバーである各町会の防災委員やコミュニティ防災士に対し、通年で防災学習に努めている。例えば、「まちなか訓練」では各町会の力量に応じて、1年間通じて行っている。町会の夏祭りでの炊き出し訓練、雨期前の金沢市出前教室の土のう積み訓練、AED訓練などである。毎年開催される公民館行事の社会体育大会では「シェイクアウト訓練」なども行っている。

新神田公民館のホームページにも防災の内容をアップしている。

訓練ちらし

広報紙

～新神田 校下住民の皆様へ～  
**第23回 市民防災訓練**に参加しましょう！

**日時：8月25日(日)**  
**午前7時10分から9時30分**

**場所：各町会の一時避難場所 ⇒ 新神田小学校へ**  
**持ち物：リュックに飲み水、食料、懐中電灯など入れて**

今年は今沢市の市民防災訓練です。  
 校下の皆さん家族そろって避難訓練に参加しましょう

**訓練の流れ**

(1) 自宅に「ひなん済」を張り出し



(2) リュック担いで!!



(3) 町会の一時避難所へ

入江1中	三角公園	入江	入江会館
東入江	東入江会館	玉鉾1	玉鉾公園
玉鉾親交会	杉本運送館	新神田南	イトーチュー
新神田	第4公園	糸田	糸田第1公園
本江	本江町会館	糸田新	糸田親会館
本江2	小公園		
けやき台	三角公園		
ガーデン	玉子橋		
自治会	運動場		

安全確認後

(4) 新神田小学校へ集団ひなん  
 町会別の本部集合時間

<b>7時45分集合</b>	入江1中、東入江 玉鉾親交会、新神田 本江、本江2、けやき台 ガーデン、自治会
<b>8時00分集合</b>	入江、玉鉾1、新神田南 糸田、糸田新

(5) 新神田小学校の本部訓練

- ・ 煙中訓練
- ・ 避難者受付訓練
- ・ 炊き出し訓練 (97-Zなど)
- ・ 開会式
- ・ シェイクアウト訓練
- ・ はしご車体験 (高中約)
- ・ 放水出し訓練
- ・ 懐中電灯ハンゴ体験
- ・ 放水出し訓練
- ・ 水消火器訓練
- ・ 企業用の給水車
- ・ 地面体験車
- ・ 防災ヘリ飛来
















その他

- ・ 外国人多言語コーナ
- ・ 手話通訳コーナ
- ・ 開会式

新神田校下  
 防災対策委員会  
 TEL 291-0025

### (3) 計画の見直し (Plan Do See)

平成8年(1996年)から毎年実施してきた新神田校下の防災訓練は、災害想定を地震・水害としたうえで、発生後に各町会で取り決めた一時避難場所に住民が集合し、情報収集し、安否確認後、拠点避難所である新神田小学校に集合している。

阪神淡路大震災後に立ち上がった新神田校下の自主防災組織は、毎年少しずつ内容を変えながら、地域の防災力向上を図ってきた。

この間、地球温暖化の影響もあり、全国で大規模災害が毎年のように発生し、災害の内容も多岐にわたっている。その上、コロナ感染対策の避難所運営も考えなくてはならない。その対応の難しさが倍加している。

防災情報も毎年変化してきている。1000年に1度の水害ハザードマップ、避難行動要支援者の安否確認などに適宜に対応しなくてはならない。近々、避難指示・避難勧告を統一した呼称とすべき動きがあり、注視する必要がある。

分散型避難(マルチ避難)、新しい避難所の選定、3密を防ぐ避難所のスペースの取り方など難問が山積している。

今後も、新しい情報を取り入れながら地道に進むべきと考えている。

### 今後の検討課題を列挙する

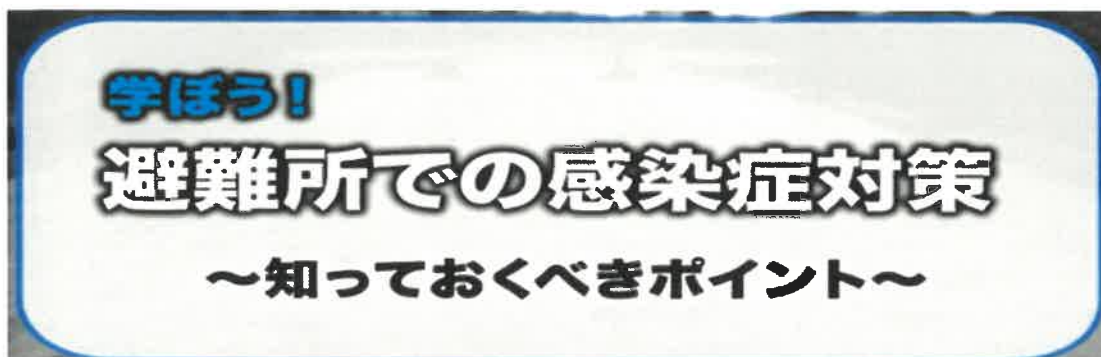
1	避難のあり方	分散型避難(マルチ避難)、在宅避難、車中泊、親戚や知人の家
2	地域の新しい避難所	ホテル・旅館、公共施設(新神田合同庁舎)、民間施設(北陸電力体育館)?
3	高岡中学校	新神田小学校のほか避難訓練として高岡中学校の利用を!
4	3密を避けた避難所	「スフィア基準」を考慮、さらにコロナ感染対策をした避難所のあり方研究・実践
5	周知・啓発活動	タイムライン、マイ・タイムライン 「避難指示」・「避難勧告」の統一の動き→防災情報の啓発
6	避難行動要支援者	安否確認はもとより、避難行動のサポート体制の確立

## ■今後の具体的な検討課題

令和2年8月 金沢市が作成した避難所の感染対策（DVD）と  
最近の全国各地の避難所状況

市DVD

2020. 10. 21



この資料は市が作成したDVDと全国各地の事例を一覧にしたもの。

By:Hata

市DVD

避難所受付



熊本県人吉市の避難所受付風景



### 受付時でのチェック

- ・避難者カードの記入
- ・発熱、咳等、体調の確認
- ・要配慮者等の確認 など

### 用意するもの

- ・体温計（非接触型）
- ・マスク
- ・アルコール消毒液（手指用）
- ・次亜塩素酸溶液
- ・ハンドソープ、ウェットティッシュ
- ・フェイスシールド
- ・ビニールシート
- ・使い捨て手袋 など

市DVD こんな感じ!!



3密を避けた

- ・ダンボールで仕切った居住空間
- ・飛沫感染を考慮した屋根付きテント

## ■避難所に持って行くもの

- ①マスク
- ②アルコール消毒液
- ③体温計

## ■避難所での座り方

- ①背を向けて座る
- ②段ボールなどで間仕切り

市DVD



## ■避難所での過ごし方

- ①体温測定など体調の変化を継続的にチェック
- ②変化があったら避難所の運営者に知らせる

## ■手洗い・消毒の徹底を

- ①食事の前・トイレに行った後
- ②ドア・手すりなどに触れた後

## ■スフィア基準

**スフィア基準**

1990年代 冷戦終結後  
各地で内戦が起こり多数の難民が発生  
人権、生命を守るための最低限の基準として国際赤十字などが設定

**水**  
Three water bottles.

**トイレ**  
Toilet with a roll of paper.

**スペース**  
Illustration of a person sitting on the floor in a shelter with boxes and supplies.

熊本県人吉市の例



避難所設営のための国際的なルール「スフィア基準」の学習を！！

人道援助の最低基準を定めたもので内閣府（防災担当）「避難所運営ガイドライン」の中に定めている。

## ■分散型避難（マルチ避難）



従来の市指定の避難所への避難のほか  
分散型避難の考え方が出てきた

感染を恐れ、自宅に止まり現実の災害  
に犠牲になってはいけなないので、躊躇す  
ることなく避難することを考えておく。  
市指定の避難所にこだわるべきでない。

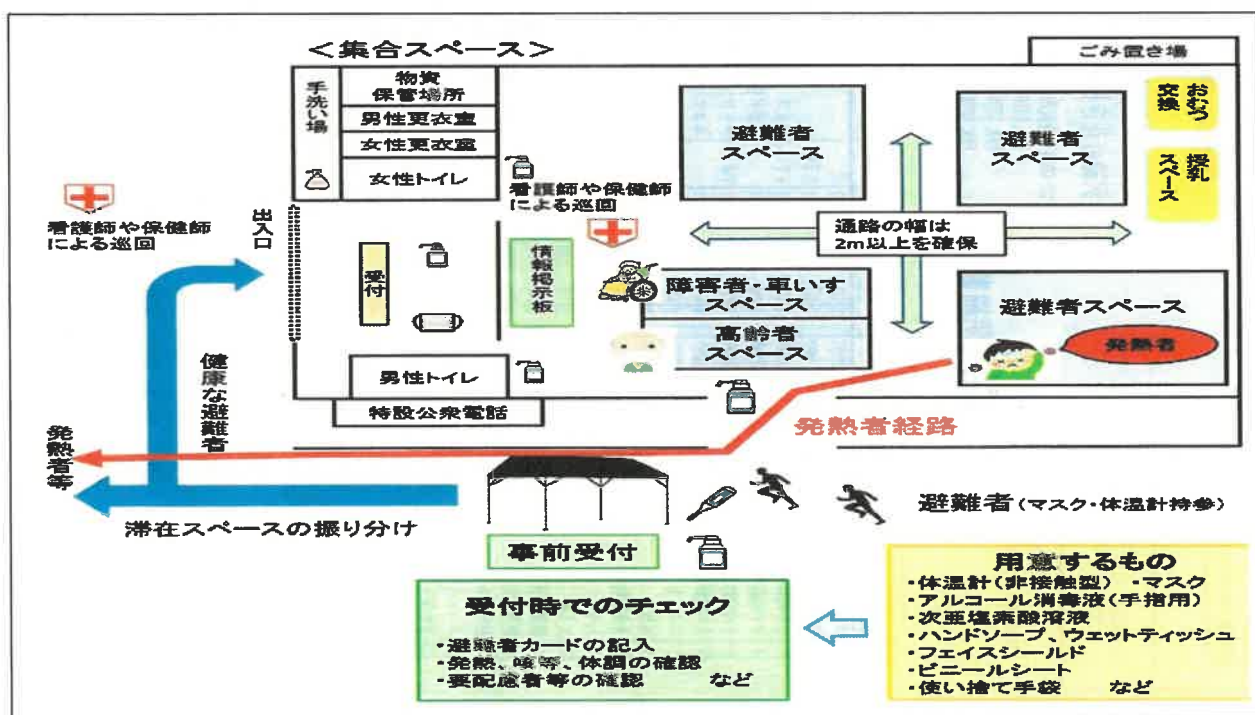
### 分散型避難の内容

自宅がマンションの上層階や安全な地  
域にある場合は在宅避難、低層階の人は  
避難所へ。



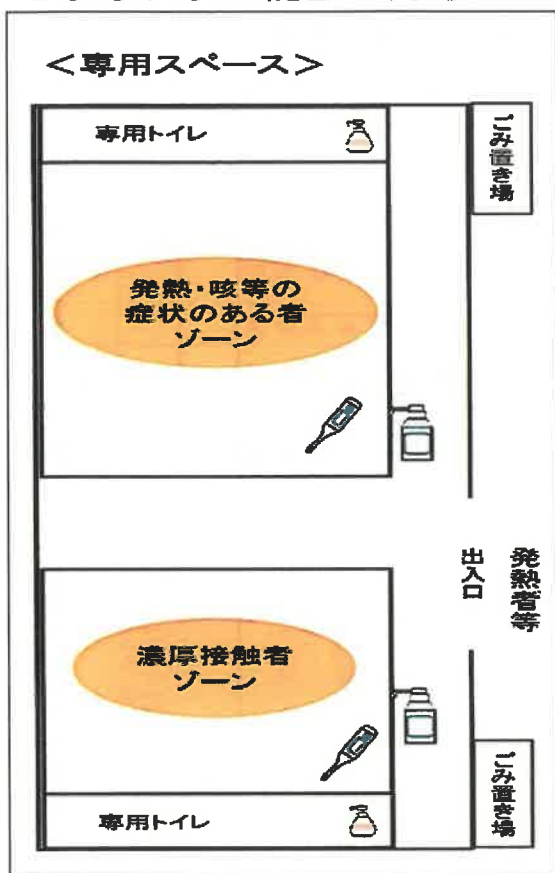
従来の市指定の避難所への避難のほか、  
在宅避難、車中泊、親戚や知人の家、ホ  
テル・旅館、公共施設・民間施設（新神  
田合同庁舎、北電体育館など何れも今後  
の検討要）への避難を考えておく。

コロナ感染対策避難所のイメージの例  
を参考に新神田バージョンの検討が必要。



石川県が作成したコロナ感染対策避難所のイメージ図

## ■クラスター防止のため



クラスターを大きくしないための工夫が必要。家族単位で過ごしてもらったり、避難所では1人が4㎡必要で、ダンボールでの仕切りするなど。

クラスターをなるべく小さく切り分ける必要がある。例えば、部屋を3つに分けることも

- ①保護する部屋、中間的な部屋、元気に過ごしてもらえる部屋
- ②症状のある人、少し調子の悪い人、元気な人  
など、1つの避難所に病院のような仕組みを作ることも。

新神田バージョンは、ピロティを受付で使用。コロナかどうか確認して、別途の専用教室、健常者は2階体育館へ……レイアウトは今後の検討課題である。

## ■警戒レベル

警戒レベルの意味を正しく理解してもらうこと

レベル3：避難に時間がかかる高齢者とその支援者が避難

レベル4：危険な場所にいる全員が避難

|～現実には、周知徹底していない！！～

大雨防災情報の5段階区分				
危険度	警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	危険度別に区分された主な情報
↑ 高い ↓ 低い	5	命を守る最善の行動	災害発生情報	大雨特別警報 氾濫発生情報
	4	<b>全員避難</b>	避難勧告 避難指示(緊急)	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
	3	<b>高齢者らは避難</b>	避難準備・高齢者等避難開始	大雨・洪水警報 氾濫警戒情報
	2	避難行動の確認	—	大雨・洪水注意報 氾濫注意情報
	1	心構えを高める	—	数日中に警報級の大雨が降るとの予報

今後、避難指示・避難勧告を統一した呼称とすべき動きがあるので注視し、啓発が必要である。

→呼称の一本化!!

最後に、この地区防災計画のサマリー編（要約版：一般向け広報誌）は、参考資料の最後に添付してあり、今後速やかに普及したい。

## 6. 参 考 資 料

### 金沢市新神田校下 防災対策委員会 規 約

平成30年4月12日

#### (名称)

第1条 本会は、新神田校下防災対策委員会（以下「防災会」という。）と称する。

#### (事務所の所在地)

第2条 本会の事務所は、新神田公民館（金沢市新神田1-1-18）に置く。

#### (目的)

第3条 本会は、「住民は、地域の安全は自分たちで守る」の精神に基づく自主防災活動を行うことにより、地震、火災、風水害、その他の災害（以下「災害」という。）による被害の防止と減災を図ることを目的とする。

#### (事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 災害・減災に関する知識の普及
- (2) 災害に対する予防
- (3) 防災委員の防災士資格取得などを含む活性化および支援
- (4) 災害の発生時における情報収集、安否確認、避難誘導、初期消火などの応急対策
- (5) 前号に関する訓練
- (6) 資機材などの整備
- (7) その他本会の目的を達成するために必要な事項

#### (会員)

第5条 本会は、新神田校下町会連合会（以下「町連」という。）に加入する世帯を以て構成する。

#### (役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長（本部長） 1名
- (2) 副会長（副本部長） 若干名
- (3) 班長 若干名
- (4) 監事 若干名

2 会長は町連会長を、副会長は町連副会長および公民館長を以て充て、班長および監事は町会長および校下の役職員などを以て充てる。

3 役員任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

#### (防災計画)

第7条 本会は、第4条に定める事業を実施するため、防災計画を作成する。

**(役員の仕事)**

第8条 役員は、前7条の防災計画に基づき職務を行う。

**(顧問等)**

第8条 本会は、事業の実施に当たり専門的なアドバイスを受けるため、顧問または専門員を設置することが出来る。

**(総会および防災会)**

第9条 総会は、町連の総会と同時に開催する。

2 防災会は会長が随時招集する。

3 会長は、必要に応じ防災会に役員以外の者の出席を求めることが出来る。

**(会費等)**

第11条 本会の会費および運営に要する経費は、町連会費その他の収入を以て充てる。

**(その他)**

第12条 この規約に定めのない事項については、防災会で協議して定める。

附 則 この規約は、平成16年(1997年)4月1日から施行する。

一部改正 平成25年(2013年)11月11日





- (13) 災害ボランティア受付班(被災者のニーズ受付、災害ボランティアのマッチング)  
：社会福祉協議会、赤十字奉仕団委員長)

- (14) 物資配分班 (避難所運営班と共に災害時に活動：子ども消防クラブ 会長)

#### 4 防災知識の普及・啓発

住民の防災意識を高揚するため、次により防災知識の普及・啓発を行う。

##### (1) 普及・啓発の内容

- ① 防災知識および防災計画に関すること
- ② 地震、火災、風水害、雪害等についての知識に関すること
- ③ 各家庭における防災上の留意事項に関すること
- ④ 地震発災後72時間(助かる命の限界)における活動の重要性に関すること
- ⑤ 食糧等を3日分確保することの重要性に関すること
- ⑥ その他防災・減災に関すること。

##### (2) 普及・啓発の方法

- ① 広報誌、パンフレット、リーフレット、ポスターなどの配布
- ② 子どもを育む会、講演会、研修会などでの啓発
- ③ 防災訓練時のパネルなどの展示

##### (3) 実施時期

新神田校下市民防災訓練、火災予防運動期間、防災の日等防災関係諸行事の行われる時期に行うほか、文化祭、社会体育大会などの催し物に付随する形式で随時実施する。

#### 5 地域の災害危険箇所の危険度チェック

地震、風水害、雪害など災害種別に地域固有の災害危険度チェックを行う。

##### (1) 危険度チェックの内容

- ① 地域の実体把握(河川、用水、道路、建物、空き地、駐車場、広見、プール、ため池、コンクリートブロック塀、老朽家屋、空き家など)危険地域、区域等の把握(図上訓練)
- ② 地域の防災施設、設備(AED)の実態把握
- ③ 地域の災害履歴、災害に関する伝承調査(こんな地震、津波、水害など)

##### (2) 把握の方法

災害危険の把握方法は、次のとおりとする。

- ① 金沢市地域防災計画の新神田編、ハザードマップなどを参考に
- ② 子どもを育む会(新神田校下子どもを育み住みよいまちづくりの会)、講演会、研修会等の開催
- ③ 災害記録の収集、編集

#### 6 市民防災訓練

毎年行う新神田校下の自主防災訓練(以下、(市民防災訓練)という。)は、次に

より実施する。

#### (1) 訓練の種別

訓練は、まちなか訓練（町会の個別訓練（図上訓練含む）、本部訓練（新神田小学校）とする。

#### (2) まちなか訓練

- ① 図上訓練（我が町の現状把握、市防災マップの点検（災害時協力事業所等）、危険度チェック、災害時要支援者の把握・マップ化）
- ② 情報収集・安否確認訓練  
（シイクアウト、ひなん済張り紙、被災状況張り紙、防犯パトロール）
- ② 消火訓練（水・泡消火器）
- ③ 避難訓練（なお、防犯委員は、避難訓練中の地域内の安全確認のため巡視する。）
- ④ 救出救護訓練
- ⑤ 土のう積み訓練
- ⑥ 給食給水訓練（炊き出し訓練）  
など、町会の力量に応じて種類を増やす。

#### (3) 本部訓練

- ① 新神田小学校で情報収集・安否確認・伝達（広報）、シイクアウト、土のう積み、災害ボランティア受付、避難所組織立ち上げ・運営訓練、簡易トイレ組立、炊き出し、衛星電話など、まちなか訓練などを入れ総合的に行うものとする。
- ② 新神田校下の町会を5ブロックに分けてあるので、毎年このうち1つのブロックに該当する町会が本部訓練に参加することとなる。

### 7 情報収集、安否確認、伝達（広報）

情報班は、各町会の災害情報、防災関係機関、報道機関等の提供する情報を収集把握すると共に、必要と認める情報を住民、防災関係機関等に衛星電話、インターネットなどで伝達（広報）する。

### 8 避難誘導、避難所開設、運営など

#### (1) 避難誘導の指示

防災会長は、金沢市長の避難指示が出たときまたは、防災会長が必要であると認めるときは、避難誘導班に対し住民の避難誘導の指示を行う。

#### (2) 避難誘導

避難誘導班は、金沢市防災計画の新神田編の避難計画書に基づき、住民を指定避難場所に誘導する。

なお、防犯委員は、住民が避難中の地域内の安全確認のため、巡視する。

#### (3) 避難所の管理・運営

災害時における避難所の管理・運営については、防災会の自主運営が原則であるが、金沢市と密接に協力運営するものとする。

## 9 出火防止策の啓発

地震発生時においては、火災の発生により被害を大きくするので、出火防止の徹底を図るため、毎年行う市民防災訓練の日を「防災の日」とし、各家庭においては、主として次の事項に重点をおいて点検整備するよう防災関係機関と協議して啓発する。

- ① 火気使用設備器具の整備およびその周辺の整理整頓状況
- ② 可燃性危険物品等の保管状況
- ③ 消火器等消火資機材の整備状況
- ④ その他建物等の危険箇所の状況

## 10 救出救護など

### (1) 救出救護活動

建物の倒壊、落下物等により救出救護を要する者が生じたときは、直ちに救出救護活動を行う。この場合、現場付近の者は救出救護活動に積極的に協力する。

### (2) 医療機関への連絡

救出救護班は、負傷者が医師の手当を要するものであると認めたときは、防災関係機関と協議して最寄りの医院などの応急救護所に搬送する。

## 11 給食給水（炊き出し）、物資配分

### (1) 給食の実施

給食給水班および物資配分班は、市から配布された食糧、地域内の家庭または事業所などから提供を受けた物資の配分、炊き出しにより給食活動を行う。

### (2) 給水の実施

給食給水班および物資配分班は、市から提供された飲料水、水道、井戸等により確保した飲料水により給水活動を行う。

## 12 災害時要援護者対策

### (1) 災害時要援護者台帳・マップなどの作成

災害時に避難状況を把握するため、災害時要支援者台帳・マップなどを作成し、行政、民生・児童委員、まちぐるみ福祉活動推進員、訪問介護員、災害ボランティア、町会長などと連絡を取り合って定期的に更新する。

### (2) 災害時要援護者の避難誘導、救出救護方法等の検討

災害時要援護者に対する円滑な避難誘導や効果的な救出救護活動等について予め検討し訓練などに反映させる。

## 13 他組織との連携

防災訓練や災害時の応急活動については、他の自主防災組織や災害ボランティア団体等と連携を図るものとする。

附 則 この防災計画は、平成16年(1997年)4月1日から施行する。

一部改正 平成30年(2018年)4月12日

# 金沢市新神田校下 防災委員会 要 綱

平成30年4月12日

## (目的)

第1条 この要綱は、新神田校下防災対策委員会（以下「防災会」という）の下に、新神田校下防災委員（以下「防災委員」という。）を置く。

防災会の実施する防災計画の円滑な運営のため、防災・減災についての知識・経験および技術を習得し、住民の防災意識の高揚を図ることを目的とし、以下必要な事項を定める。

## (定数および資格)

第2条 防災委員は、各町会から1名選出するものとする。町会長は防災委員を兼務することは出来ない。なお、防災会副会長、赤十字奉仕団委員長、民生児童委員会長、社会福祉協議会長および防災士は自動的に防災委員会の委員になる。

## (委嘱)

第3条 防災委員は、防災問題について公正適切な判断力と行動力を有し、出来るだけ長期にわたり地域活動が可能な町会員の中から町会長が推薦し、新神田校下町会連合会長（以下、（町連会長）という。）が委嘱するものとする。

## (役割)

第4条 防災委員は第1条の目的を達成するため、次の各号に掲げる役割を担う。

- (1) 県および市の実施する防災研修会、講演会などに参加し、得られた知識情報を新神田校下の防災・減災活動に役立てる。
- (2) 防災会の会長、副会長の要請に応じ、その職務を補佐・補完するなど、持っている知識・経験を十分活用する。
- (3) 災害時には、素早い地元の安否確認などの情報を収集し、現地災害対策本部に連絡をする。更に、落ち着いたら避難所の立ち上げ・運営や在宅被災者の支援などを行う。
- (4) 平常時には、まちなか訓練の図上訓練、安否確認訓練の実施、本部訓練の場合の住民の誘導など企画立案し実施する。

## (役員および会議)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 若干名  
委員長、副委員長は町連会長が防災委員および防災士の中から委嘱する。
- (3) 市民防災訓練の事前協議や「育む会」で防災関係の議題のある場合など年8～

9回程度の会議となる。なお、会議を欠席する場合は、副町会長等の代理をたてること。

#### (防災会の防災委員に対する責務)

第6条 防災会は、防災委員の知識・経験を効果的に活用するよう配慮すると共に、防災会の組織の活動に対して防災委員に適切な役割を付与するなど、組織の活性化に役立って貰うよう努めること。

#### (任期)

第7条 防災委員の任期は3年とし、再任は妨げない。ただし、任期途中の辞任は残り任期は次の人がすること。

#### (費用弁償等)

第8条 防災委員の活動などに対して費用弁償は支給しないものとする。ただし、防災委員がその資質向上のために必要とする資料などの入手については、出来る限り便宜を図るものとする。

#### 附 則

この要綱は、平成25年(2013年)11月11日から施行する。

一部改正 平成29年(2017年)4月12日 現状に合わす

#### あ と が き

2018年(平成30年)、災害対策基本法に地区防災計画制度を導入すべきとなりました。、新神田校下は、その策定については毎年実施する自主防災訓練に忙殺され、伸び伸びとなっていません。

今年も年始めから、6月実施予定の通算23回目の自主防災訓練の準備を進めてきました。しかしながらコロナ禍で自主防災訓練のほか、多くの防災委員会等の会合が中止となりました。

この間、少し時間の余裕が出来たので長年の防災訓練の実績を集大成することが出来、タタキ台を作り防災委員・役員会に諮り、ようやく新神田校下の地区防災計画が出来上がりました。

この地区防災計画の特徴は

- ① 本編(本文)と資料編を合体し、どこから読んでも理解出来るように、また用語の解説も欄外に注記したこと
- ② 地区防災計画の中には、災害時要支援者の安否確認の充実を図るため、市・地区社協と連携を密にして細かな手順を入れて進めていること などです。

なお、この資料の配付先は、校下の町会長、各種団体長、コミュニティ防災士、防災委員ほか関係機関の皆様で、今後はリニューアルしながら進化していきたいと思えます。

皆様、ご一読の上、何かご指摘いただければ幸甚です。

令和2年11月26日 防災委員長：By Hata

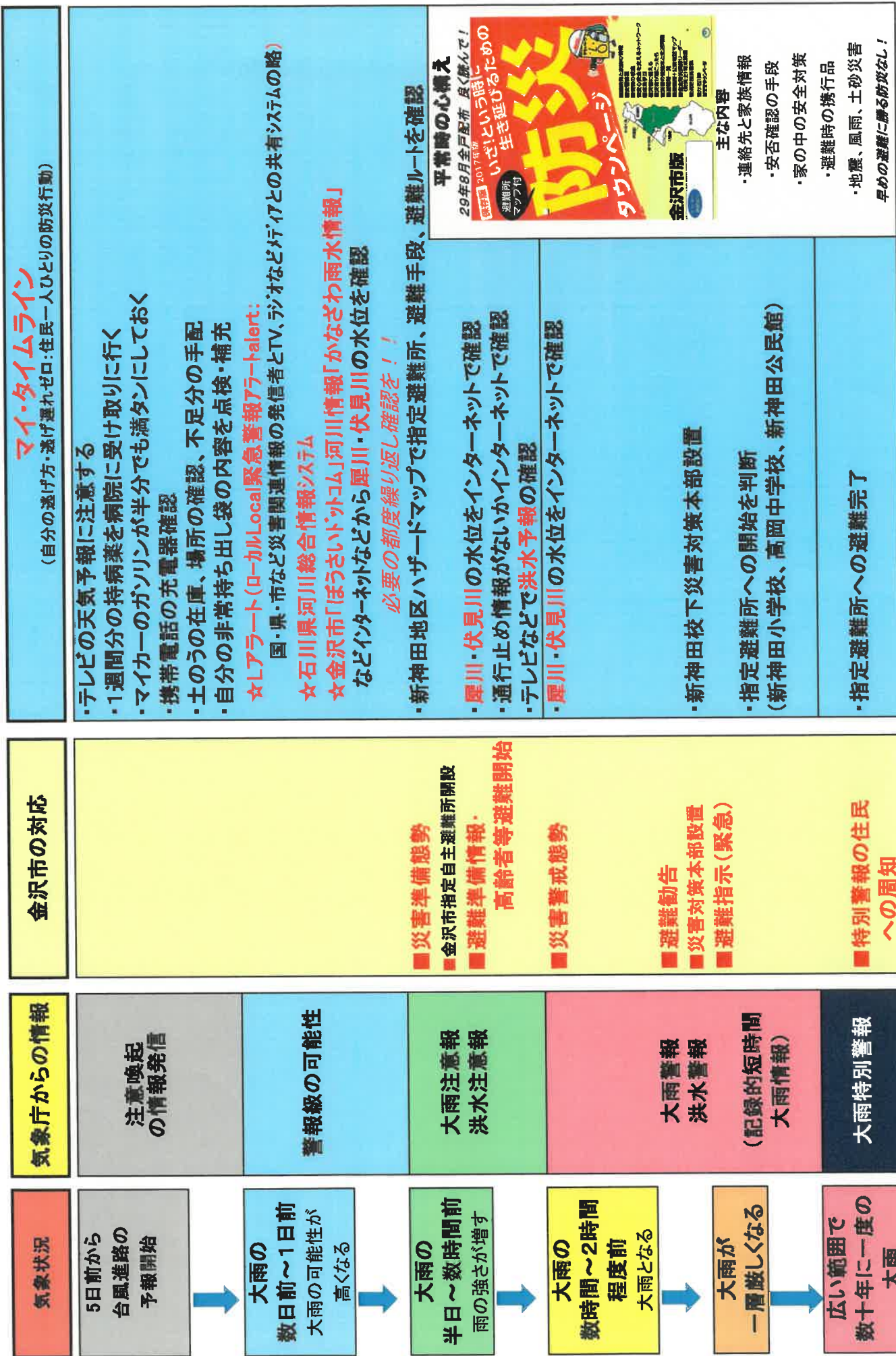
# 新神田校下防災計画 台風・豪雨災害タイムライン

アマガハ発祥のハリケーンの教訓から防災計画(縮災計画)を日本型タイムライン式に考え、北陸地方に台風が上陸し、大雨災害(集中豪雨)が発生したと想定し、新神田校下の地区防災行動計画を事前にイメージし、避難行動をタイムライン式に考えてみた(各町会の防災計画としてのタキ台:今年度中に成案としたい)。

Timeline 基準時間	象状況	Information 気象庁からの情報	Activity 防災行動	Emergency Support Function 各機関の緊急支援機能	Action 地元(新神田校下)
いつ	大雨の 数時間~1日 大雨の 数時間	気象庁からの情報 台風上陸情報による風雨の予測	何を	石川県 各機関の緊急支援機能 金沢市	各町会 平常時から市洪水避難地図ハサートマップ(厚川・伏見川)・新神田校下編など 「まちなか訓練」において浸水危険区域の把握を!土のうの把握を!→
5:00	大雨の 数時間	大雨注意報、洪水注意報 低い土地の浸水や川の河川(厚川、伏見川)の増水に注意してください。	注意報を確認し、対応する	石川県 市「ぼうさいドットコム」・河川情報「かなざわ両水情報」により厚川・伏見川の水位を確認 職員は連絡体制・気象情報・災害準備体制の確立	浸水区域町会への 対応指示 浸水危険区域の 員回りと 土のうの積み準備! 町会長・防災委員は 待機
13:30	大雨の 数時間~1日 豪雨の 数時間	大雨警報、洪水警報 土砂災害、低い土地の浸水や河川(厚川、伏見川)の増水に警戒してください。	警報の確認	石川県 市「ぼうさいドットコム」・河川情報「かなざわ両水情報」により厚川・伏見川の水位を確認 職員は連絡体制・気象情報・災害準備体制の確立	浸水区域町会への 対応指示 浸水危険区域の 員回りと 土のうの積み準備! 町会長・防災委員は 待機
14:00	大雨の 数時間~1日 豪雨の 数時間	ニュース 1時間に60mm以上の非常に激しい雨が降る所があります。低い土地の浸水、土砂災害、河川(厚川、伏見川)の急な増水、浸水などに厳重な警戒をしてください。	大雨情報 の継続的 確認を	石川県 市「ぼうさいドットコム」・河川情報「かなざわ両水情報」により厚川・伏見川の水位を確認 職員は連絡体制・気象情報・災害準備体制の確立	浸水区域町会への 対応指示 浸水危険区域の 員回りと 土のうの積み準備! 町会長・防災委員は 待機
14:30	大雨の 数時間~1日 豪雨の 数時間	記録的短時間大雨情報 降り続く大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。(1時間に100mm以上)市から発表される避難勧告などの情報に注意してください。	避難勧告	石川県 市「ぼうさいドットコム」・河川情報「かなざわ両水情報」により厚川・伏見川の水位を確認 職員は連絡体制・気象情報・災害準備体制の確立	浸水区域町会への 対応指示 浸水危険区域の 員回りと 土のうの積み準備! 町会長・防災委員は 待機
17:10	大雨の 数時間~1日 豪雨の 数時間	大雨特別警報	避難勧告	石川県 市「ぼうさいドットコム」・河川情報「かなざわ両水情報」により厚川・伏見川の水位を確認 職員は連絡体制・気象情報・災害準備体制の確立	浸水区域町会への 対応指示 浸水危険区域の 員回りと 土のうの積み準備! 町会長・防災委員は 待機
17:15	大雨の 数時間~1日 豪雨の 数時間	臨時ニュース 17時10分に大雨特別警報が発表されました。これまでに経験のないような大雨となつています。今後、さらに広い範囲で大雨が降り続くと恐れがあります。最大限に警戒をして下さい。	避難指示 (緊急)	石川県 市「ぼうさいドットコム」・河川情報「かなざわ両水情報」により厚川・伏見川の水位を確認 職員は連絡体制・気象情報・災害準備体制の確立	浸水区域町会への 対応指示 浸水危険区域の 員回りと 土のうの積み準備! 町会長・防災委員は 待機
発災時 17:30	大雨の 数時間~1日 豪雨の 数時間	避難所開設 (新神田小学校、新神田公民館、高岡中学校) 避難所の運営 金沢市発行の「避難所運営マニュアル」および1多言語対応冊子に基づき運営	避難所開設	石川県 市「ぼうさいドットコム」・河川情報「かなざわ両水情報」により厚川・伏見川の水位を確認 職員は連絡体制・気象情報・災害準備体制の確立	浸水区域町会への 対応指示 浸水危険区域の 員回りと 土のうの積み準備! 町会長・防災委員は 待機
直ちに	大雨の 数時間~1日 豪雨の 数時間	避難所の運営 金沢市発行の「避難所運営マニュアル」および1多言語対応冊子に基づき運営	避難所の開設	石川県 市「ぼうさいドットコム」・河川情報「かなざわ両水情報」により厚川・伏見川の水位を確認 職員は連絡体制・気象情報・災害準備体制の確立	浸水区域町会への 対応指示 浸水危険区域の 員回りと 土のうの積み準備! 町会長・防災委員は 待機

# 新神田校下 台風・大雨時の気象情報の流れに基づく「マイ・タイムライン」

29. 7. 26初稿 29. 9. 4修正: 叩き台





～金沢市新神田校下住民の皆様へ～  
 災害に強い安全安心なまちづくりを目指すため！！

令和2年12月 一般向け広報誌

「新神田校下地区防災計画」をつくりました！！



新神田校下地区防災計画 新神田小学校

金沢市新神田校下地区防災計画

令和2年度版

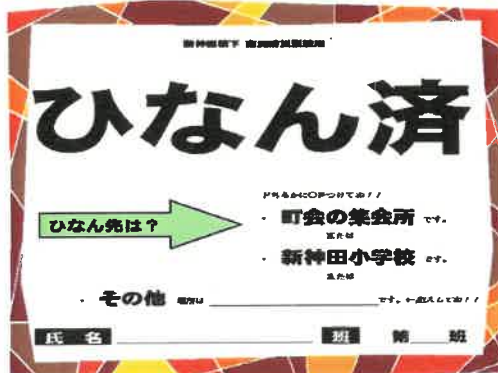
「災害時要支援者の安否確認の充実」

新神田校下防災対策委員会

目次

1. 計画の対象地区の範囲
2. 基本的な考え方
3. 地区の特性
4. 防災活動の内容
  - (1) 防災活動の体制
  - (2) 平常時の活動
  - (3) 発災直前の活動
  - (4) 災害時の活動
  - (5) 復旧・復興期の活動
  - (6) 市町村等、消防団等との連携
5. 実践と検証
  - (1) 防災訓練の実施・検証
  - (2) 防災意識の普及啓発
  - (3) 計画の見直し (Plan Do See)
6. 参考資料
  - タイムライン
  - マイ・タイムライン

(1) 防災訓練では必ず「ひなん済」を張り出しましょう！



(2) 非常持ち出しのリュックを用意しておきましょう！！



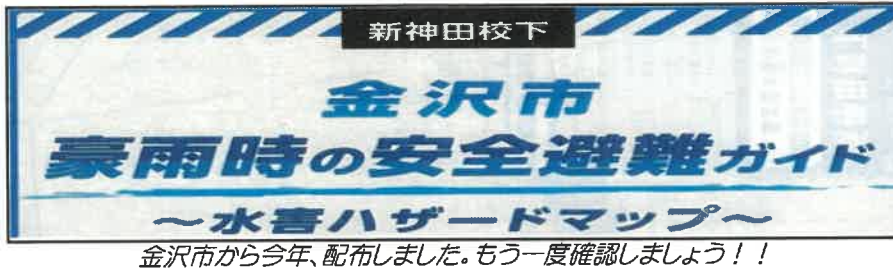
(3) 町会の一時（いっとき）避難場所を覚えていますか？

町会名	避難場所	町会名	避難場所
入江	入江会館	けやき台	三角公園
玉銚1	玉銚公園	自治会	団地集会所
玉銚親交会	杉本運輸前	ガーデン	コミュニティホール
入江1中	三角公園	新神田	第4公園
東入江	東入江会館	新神田南	イトーチュー
本江	本江町会館	糸田	糸田第1公園
本江2	小公園	糸田新	糸田新会館

## ● 新神田校下の 災害特性

・当校下は犀川・伏見川が流れており、1000年に一度の大雨では  
 確実に全域が浸水する恐れがあります。  
 皆さんは事前に、避難場所の確保(分散型避難の考え方など)  
 をしておく必要があります。

・例え、河川が氾濫しなくても校下を流れる中村高畠用水  
 (入江・東力・玉銚・糸田用水)が内水浸水する恐れがあり、  
 マンションでも停電の可能性が十分あります。



## ● マイ・タイムライン(自助)の必要性

- ・台風の進路や雨の予報を調べる
- ・家族同士で予定を確認
- ・家の周りに風で飛ばされるものがないか点検

家族で  
 考えてみよう!



- ・雨量や川の水位を調べる
- ・近所の親戚と連絡を取り合う



- ・避難しやすい服装に着替える
- ・携帯電話の充電

- ・避難する時に持って行くものをチェック
- ・避難所の場所、避難手段を再確認

- ・安全な場所へ移動する
- ・避難完了

新神田校下  
 防災対策委員会  
 TEL 291-0025